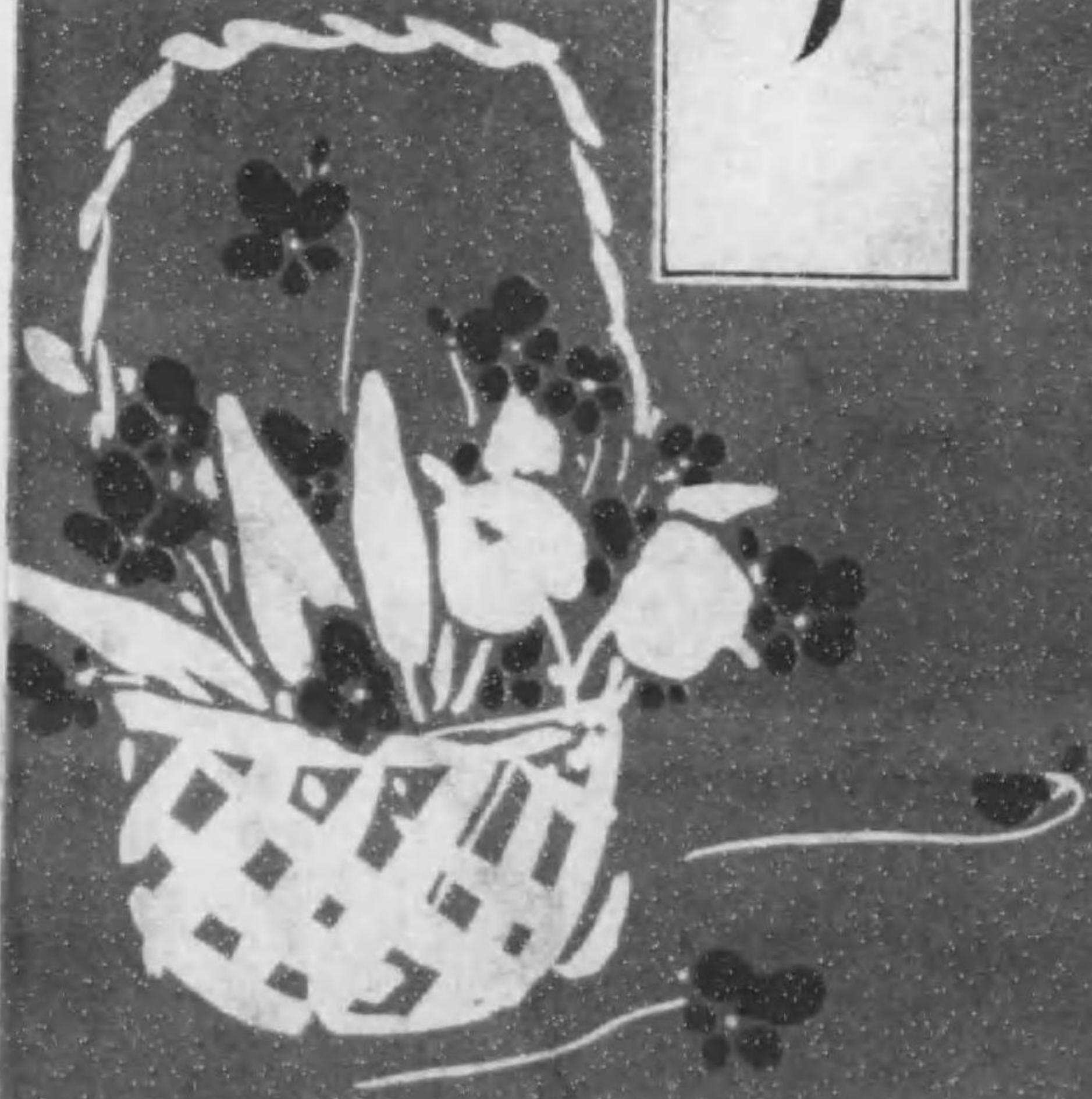


特116

202

裁縫の志をり



始



特116  
202

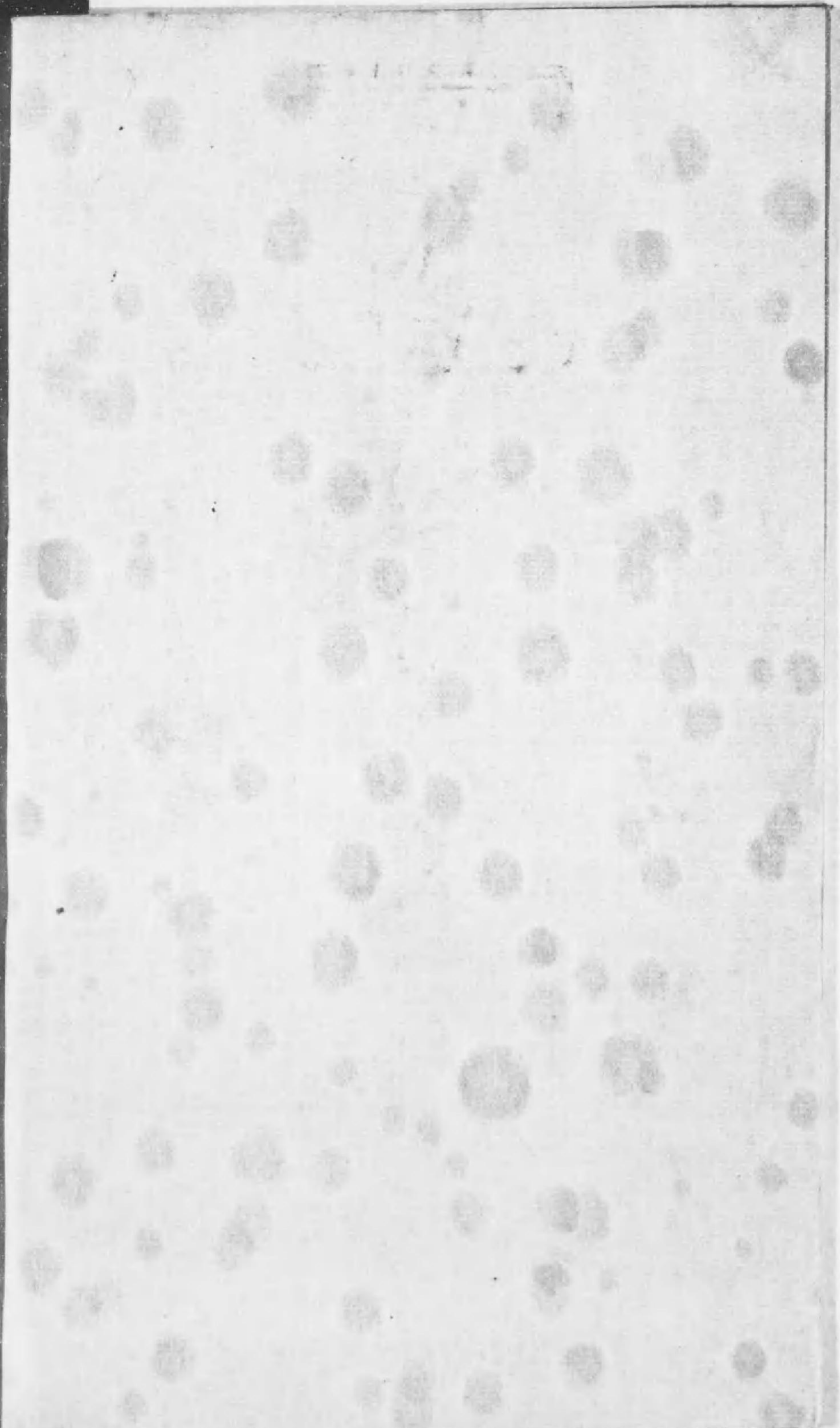


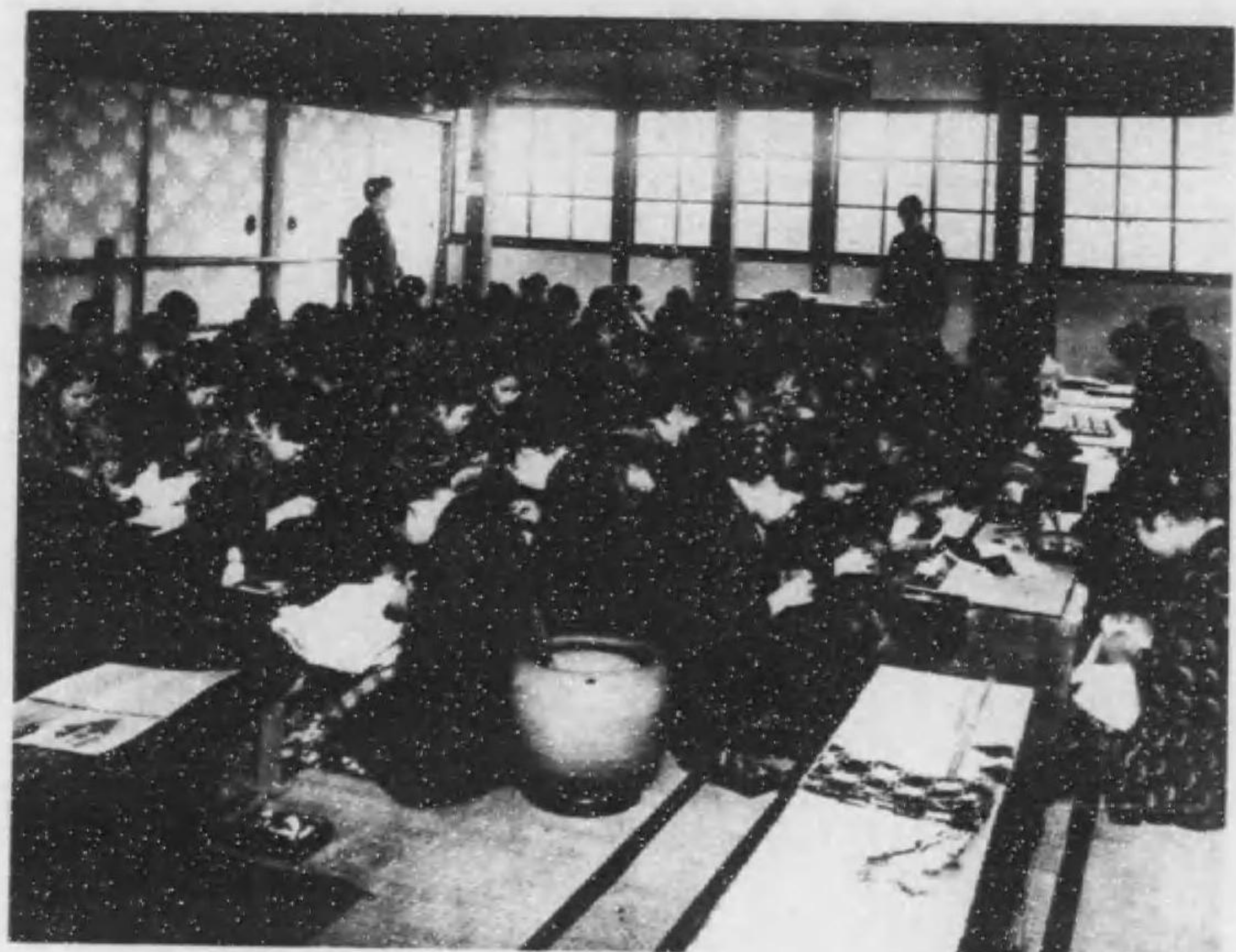
鐘紡京都女學校編

裁縫の志をり

鐘紡京都女學校

大正  
14.5.14  
内交





裁縫専修科實習ノ一部(上ハ三年・下ハ一年)

# 裁縫のしをり目次

第一章 裁縫の基礎的技術	(一)
第一 運針	(一)
第二 各種縫ひ方	(一)
第二章 各種襦袢の裁ち方	(二)
第一 小裁襦袢の裁ち方	(二)
第二 中裁襦袢の裁ち方	(四)
第三 本裁襦袢の裁ち方	(五)
第四 各種襦袢の普通仕立上げ寸法	(七)
第三章 一つ身単衣	(八)
第一 一つ身単衣裁ち方積り方	(八)
一 潤袖裁ち方	(九)
二 筒袖裁ち方	(一〇)
第二 一つ身単衣仕立方	(一一)
一 普通仕立上げ寸法	(二)
二 標附け方	(三)
三 縫ひ方順序	(五)
第四章 二つ身単衣	(一六)
第一 二つ身単衣裁ち方積り方	(一六)
一 袂袖裁ち方	(一六)
二 筒袖裁ち方	(一七)
第二 二つ身単衣仕立方	(一八)

一 普通仕立上げ寸法……………(一八)  
二 標附け方……………(一九)

三 縫ひ方順序……………(二〇)

第五章 四つ身単衣

(二一)

第一 四つ身単衣裁ち方積り方……………(二二)

一 袂袖裁ち方……………(二三)

二 筒袖裁ち方……………(二三)

第二 四つ身単衣仕立方……………(二四)

一 普通仕立上げ寸法……………(二四)  
二 標附け方……………(二五)  
三 縫ひ方順序……………(二六)

第六章 二つ身裕

(二六)

第一 三つ身裕裁ち方積り方……………(二六)

一 袂袖裁ち方……………(二六)

二 筒袖裁ち方……………(二六)

第二 三つ身裕仕立方……………(二九)

一 普通仕立上げ寸法……………(二六)  
二 標附け方……………(二七)  
三 縫ひ方順序……………(二八)

第七章 一つ身綿入

(三一)

第一 一つ身綿入裁ち方積り方……………(三一)

一 調袖裁ち方……………(三一)

二 筒袖裁ち方……………(三一)

第二 一つ身綿入仕立方……………(三四)

一 普通仕立上げ寸法……………(三四)

二 標附け方……………(三四)

第八章 綿布繕ひ方

(三七)

三 縫ひ方順序……………(三五)

四 襷標附け方及び縫ひ方……………(三五)

第一 接ぎ方……………(三七)

第二 継ぎ方……………(三八)

第九章 本裁単衣女物

(四〇)

第一 本裁単衣女物裁ち方積り方……………(四〇)

一 棒衤裁ち方……………(四〇)

第二 本裁単衣女物仕立方……………(四一)

一 普通仕立上げ寸法……………(四二)  
二 鈎衤裁ち方……………(四三)  
三 標附け方……………(四三)  
四 縫方順序……………(四四)

第十章 本裁単衣男物

(四六)

第一 本裁単衣男物裁ち方積り方……………(四六)

一 棒衤裁ち方……………(四六)

二 鈎衤裁ち方……………(四六)

第二 本裁単衣男物仕立方……………(四七)

一 普通仕立上げ寸法……………(四七)  
二 標附け方……………(四八)  
三 縫ひ方順序……………(四九)

第十一章 子供帯

(四九)

第一 寸法……………(四九)

第二 仕立方……………(五〇)

第十二章 本裁女袴.....(五二)

- 第一 裁ち方積り方(胴裏並に裾廻し).....(五二)
- 第二 本裁女袴(仕立方).....(五三)
- 一 普通仕立上げ寸法.....(五四)
- 二 標附け方.....(五四)
- 三 縫ひ方順序.....(五五)

第十三章 本裁男袴.....(五七)

- 第一 本裁男袴裏地裁ち方.....(五八)
- 第二 本裁男袴仕立方.....(五九)
- 一 普通仕立上げ寸法.....(五九)
- 二 標附け方.....(五九)
- 三 縫ひ方順序.....(六〇)

第十四章 本裁女綿入.....(六一)

- 一 普通仕立上げ寸法.....(六一)
- 二 標附け方.....(六一)
- 三 縫ひ方順序.....(六一)

第十五章 本裁男綿入.....(六二)

第十六章 片面物及び中幅大幅物にて中裁小裁の裁ち方.....(六六)

- 第一 片面物にて三つ身の裁ち方.....(六六)
- 第二 中幅物にて小裁中裁本裁の裁ち方(六六)

第十七章 女袴.....(八五)

- 第一 大人女袴裁ち方積り方.....(八五)
  - 一 三尺幅物にて女袴の裁ち方積り方.....(八五)
  - 二 一尺幅物にて女袴の裁ち方積り方.....(八六)
  - 三 女袴の裁ち方、寸法割り出し方.....(八八)
- 第二 大人女袴仕立方.....(八九)
  - 一 普通仕立上げ寸法.....(八九)
  - 二 標附け方.....(九〇)
  - 三 縫ひ方順序.....(九〇)
  - 四 女袴仕立上げ寸法割出し方.....(九二)

第十八章 小裁中裁女袴.....(九二)

- 第一 小裁女袴.....(九二)
- 第二 中裁女袴.....(九五)
- 第三 各種女袴普通仕立上げ寸法表.....(一〇〇)

第十九章 本裁綿入羽織.....(一〇一)

- 第一 本裁女綿入羽織.....(一〇一)
  - 一 裁ち方積り方.....(一〇一)
  - 二 普通仕立上げ寸法.....(一〇五)
  - 三 縫方順序.....(一〇五)
- 第二 本裁男綿入羽織裁ち方積り方.....(一〇六)
- 第三 本裁男綿入羽織.....(一〇七)
  - 一 普通仕立上げ寸法.....(一〇七)
  - 二 縫方順序.....(一〇七)

第二十章 本裁男衿羽織……………(一〇八)

- 第一 裁ち方積り方……………(一〇八)
- 第二 仕立方……………(一〇九)
- 一 標附け方……………(一一〇)
- 二 縫方順序……………(一一〇)

第二十一章 小裁中裁羽織……………(一一〇)

- 第一 袖無綿入羽織……………(一一〇)
- 一 裁ち方……………(一一〇)
- 二 仕立上げ寸法……………(一一一)
- 三 標附け方……………(一一一)
- 四 縫ひ方順序……………(一一三)
- 第二 小裁羽織……………(一一三)
- 一 裁ち方積り方……………(一一三)
- 二 三つ身羽織普通仕立上寸法……………(一一五)
- 三 縫ひ方順序……………(一一六)
- 第三 中裁羽織……………(一一六)
- 一 裁ち方積り方……………(一一七)
- 二 普通仕立上げ寸法……………(一一八)
- 第四 各種羽織普通仕立上げ寸法表……………(一二九)

第二十二章 小裁、中裁、本裁被布……………(一二二)

- 第一 小裁被布各部分名稱……………(一二二)
- 第二 小裁被布……………(一二三)
- 一 裁ち方積り方……………(一二三)
- 二 普通仕立上げ寸法……………(一二四)
- 三 標附け方……………(一二五)
- 四 縫方順序……………(一二七)
- 第二 中裁被布……………(一二八)
- 一 裁ち方積り方……………(一二八)

第三 本裁被布……………(一二〇)

- 一 裁ち方積り方……………(一二〇)
- 二 普通仕立上げ寸法……………(一二一)
- 三 標附け方……………(一二二)
- 四 縫ひ方順序……………(一二三)

第二十三章 片面物及び中幅大幅物にて羽織及び被布の裁ち方……………(一二三)

第二十四章 大人被布合羽女物……………(一二四)

- 第一 裁ち方積り方……………(一二四)
- 第二 仕立方……………(一二五)
- 一 普通仕立上げ寸法(單衣合羽)……………(一二五)
- 二 標附け方……………(一二五)
- 三 縫方順序……………(一二五)
- 四 衿合羽……………(一二五)

第二十五章 女衿長襦袢……………(一二六)

- 第一 裁ち方積り方……………(一二六)
- 一 並幅物にて裁ち方……………(一二六)
- 二 大幅物にての裁ち方……………(一二七)
- 第二 仕立方……………(一二九)
- 一 普通仕立上げ寸法……………(一二九)
- 二 標附け方……………(一二九)
- 三 縫方順序……………(一二九)

第二十六章 腹合帯……………(一三〇)

- 第一 寸法……………(一三〇)
- 第二 仕立方……………(一三一)

第二十七章 絹布毛織單衣仕立方

(一五二)

- 第一 絹布仕立方……………(一五二)
- 第二 毛織仕立方……………(一五二)
- 第三 絹布繕ひ方……………(一五四)

- 一 接ぎ方……………(一五四)
- 二 繕き方……………(一五五)
- 第四 毛織の繕ひ方……………(一五六)

第二十八章 男袴

(一五七)

- 第一 十番馬乗袴裁ち方積り方……………(一五七)
- 第二 並馬乗袴の裁ち方積り方……………(一五九)
- 第三 男袴裁ち方寸法割り出し方……………(一六三)
- 第四 腰立方糸掛の順序……………(一六四)

- 第五 大人男袴仕立方……………(一六四)
- 一 普通仕立上げ寸法……………(一六五)
- 二 繕ひ方順序……………(一六五)
- 三 十番馬乗袴取り方……………(一六六)

第二十九章 小裁中裁男袴

(一六八)

- 第一 小裁男袴……………(一六八)
- 第二 中裁男袴……………(一七四)

- 第三 各種男袴普通仕立上げ寸法表……………(一八三)

第三十章 本裁男單羽織

(一八四)

- 第一 本裁男單羽織裁ち方積り方……………(一八四)

- 一 角襦裁ち方……………(一八四)

- 二 裁違襦裁ち方……………(一八六)
- 第二 本裁男單羽織仕立方……………(一八七)
- 一 普通仕立上げ寸法……………(一八七)

- 二 標附け方……………(一八八)
- 三 縫ひ方順序……………(一八八)

第三十一章 丸帶男帶

(一九〇)

- 第一 丸帶……………(一九〇)

- 第二 男帶……………(一九一)

第三十二章 本裁女小袖

(一九三)

- 第一 裁ち方積り方……………(一九三)

- 第二 仕立方……………(一九五)

第三十三章 女小袖重ね物の説明

(一九六)

- 第一 二枚重ね裁ち方……………(一九七)
- 第二 三枚重ね裁ち方……………(二〇一)
- 第三 模様の種類……………(二〇六)

- 第四 小袖重ね物下著の寸法つめ方……………(二〇七)
- 第五 女小袖重ね物仕立方……………(二〇九)

第三十四章 夜著及び蒲團

(二〇九)

- 第一 夜著裁ち方積り方……………(二〇九)
- 第二 夜著仕立方……………(二二二)

- 一 普通仕立上げ寸法並に綿の分量……………(二二三)
- 二 夜著標附け方……………(二二三)
- 三 夜著縫ひ方順序……………(二三四)



第三 各種夜着蒲團普通仕上げ寸法及び綿の分量……………(二五)

第三十五章 單重……………(二七)

    第一 本重……………(二八)

    第二 半重……………(二九)

第三十六章 比翼……………(三〇)

    第一 本比翼……………(三〇)

        一 裁ち方積り方……………(三〇)

        二 標附け方……………(三一)

        三 縫ひ方順序……………(三五)

    第二 附比翼……………(三七)

附録

安全下穿……………(三八)

メートル法を和服裁縫に實施するに就て……………(三二)

裁縫のしをり 目次(終)

# 裁縫のしをり

鐘紡京都女學校編

## 第一章 裁縫の基礎的技術

### 第一 運針

運針には素縫本縫の二種あり。素縫とは、五寸(十三厘)の短き糸を針に通して布二重となし、成るべく速に縫ひ行く仕方にして、その速さは、二尺五寸(六十五厘)の用布を十五秒乃至二十秒間に一回縫ひ上ぐるを適度とす。本縫とは、用布の長さより三寸(七厘)長き糸を用ひて、針目の大小、縫目の曲り等に注意して、巧みに運針する方法なり。

### 第二 各種縫ひ方

糸の結び方留め方縫ぎ方縫ひ方合せ方躰掛け方縮け方等は、共に裁縫の基礎とな

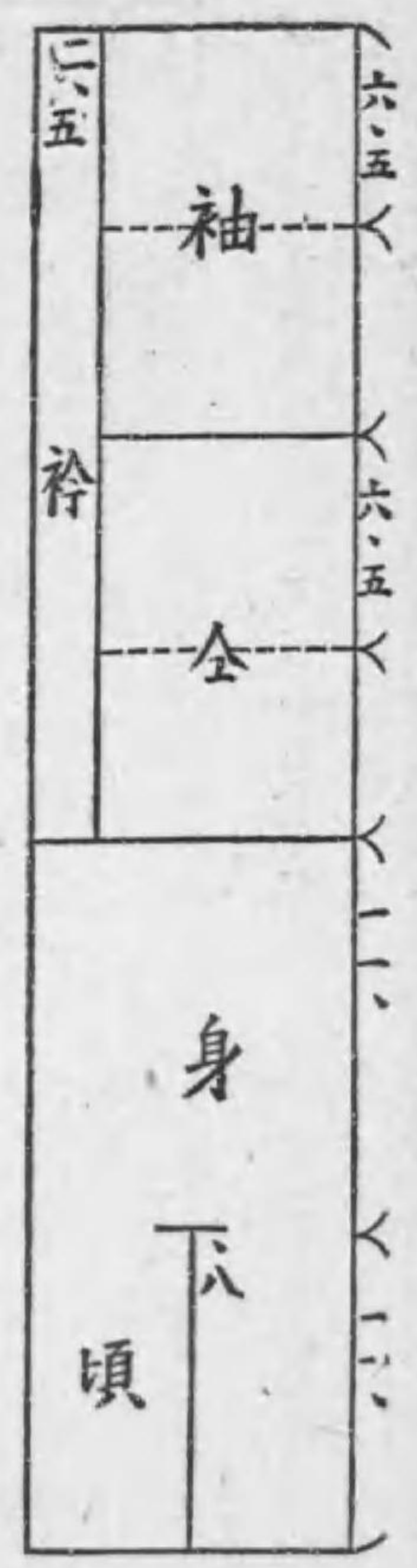
るべき技術にして、總べて衣服は、皆此等の技術を種々に應用して仕立つるものなれば、常によく練習して、十分に熟達せん事を勉むべきなり。  
左に其の名種を擧ぐべし。

- 一、絲の結び方 留め結 細結 機結
- 二、絲の留め方 打ち留 返し留 抄ひ留
- 三、絲の繼ぎ方 重ね繼 結び繼
- 四、縫ひ合せ方 合せ縫 伏せ縫 折り伏せ縫 三つ折り縫 袋縫 重ね縫 膝縫
- 五、袢掛け方 並袢 雌針雄針 縫ひ袢 隠し袢
- 六、紵け方 耳紵 三つ折紵 本紵

## 第二章 各種襦袢の裁ち方

### 第一 小裁襦袢の裁ち方

一、並幅物長さ四尺八寸にて一つ身襦袢の裁ち方

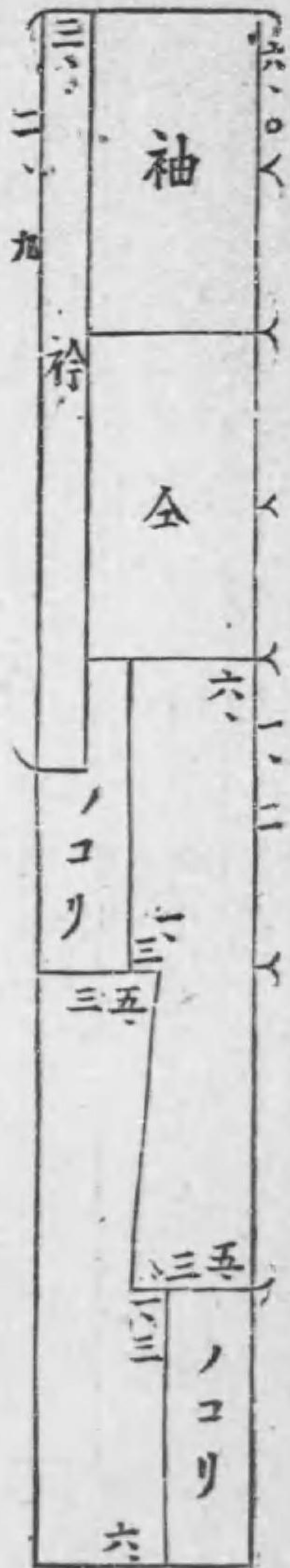


注意 晴れ着に用ふるものは長着の袖丈よりも五分程短く裁つべし

二、並幅八尺の用布にて一つ身襦袢二枚の裁ち合せ方



三、幅一尺長さ六尺の用布にて三つ身襦袢筒袖の裁ち方



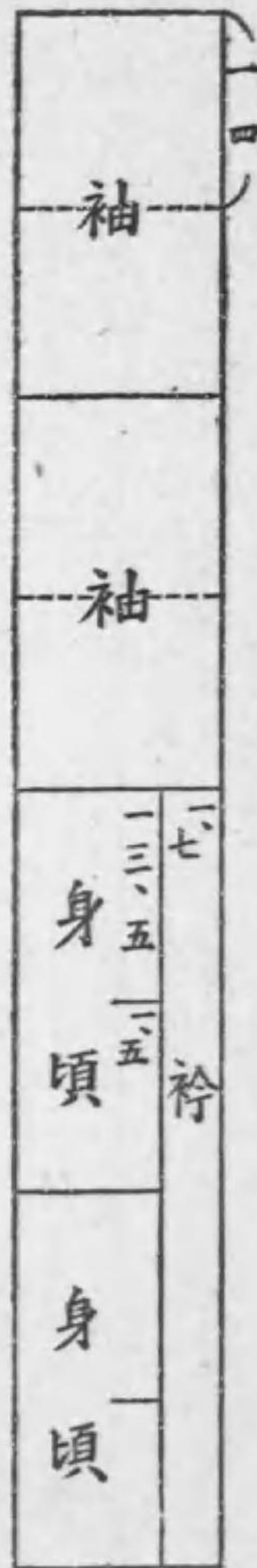
注意 右の裁方において、布幅の狭きもの、若しくはふさりたる子供等には、残りの布を枉さなし、二寸程の衿下をあけて着せしむることあり、此の場合には左圖の如く裁つべし。



注意 袖幅・身幅・衿幅等は布幅の廣狭によりて斟酌するものとす。

### 第二 中裁襦袢の裁ち方

一、並幅物長さ一丈一尺にて車裁襦袢の裁ち方



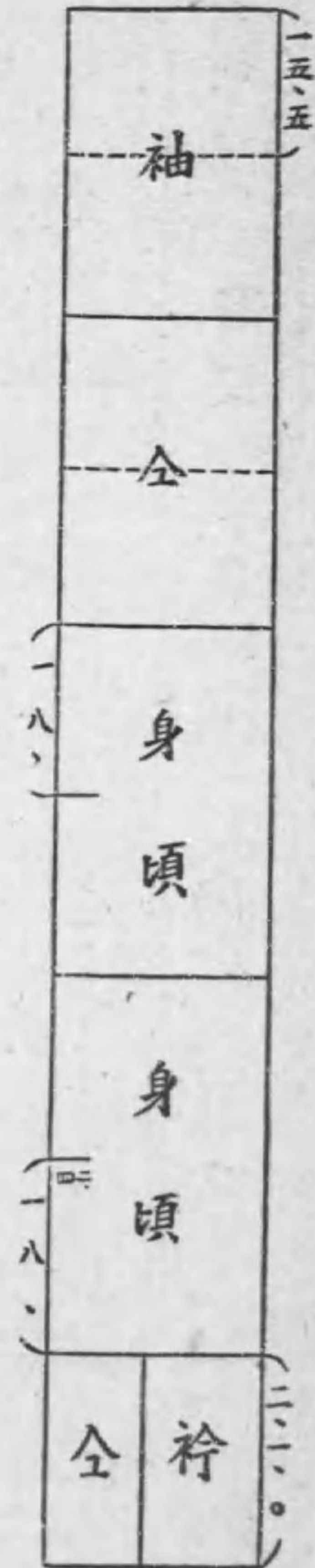
注意 中裁以上の襦袢は、多くは袖を別布さなせども、ここには寸法の割合を示さんが爲めに、合せて記載せり、又衿は衿裏をつく。

二、並幅物長さ一丈二尺にて四つ身襦袢の裁ち方



### 第三 本裁襦袢の裁ち方

一、並幅物長さ一丈五尺五寸にて本裁女襦袢の裁ち方



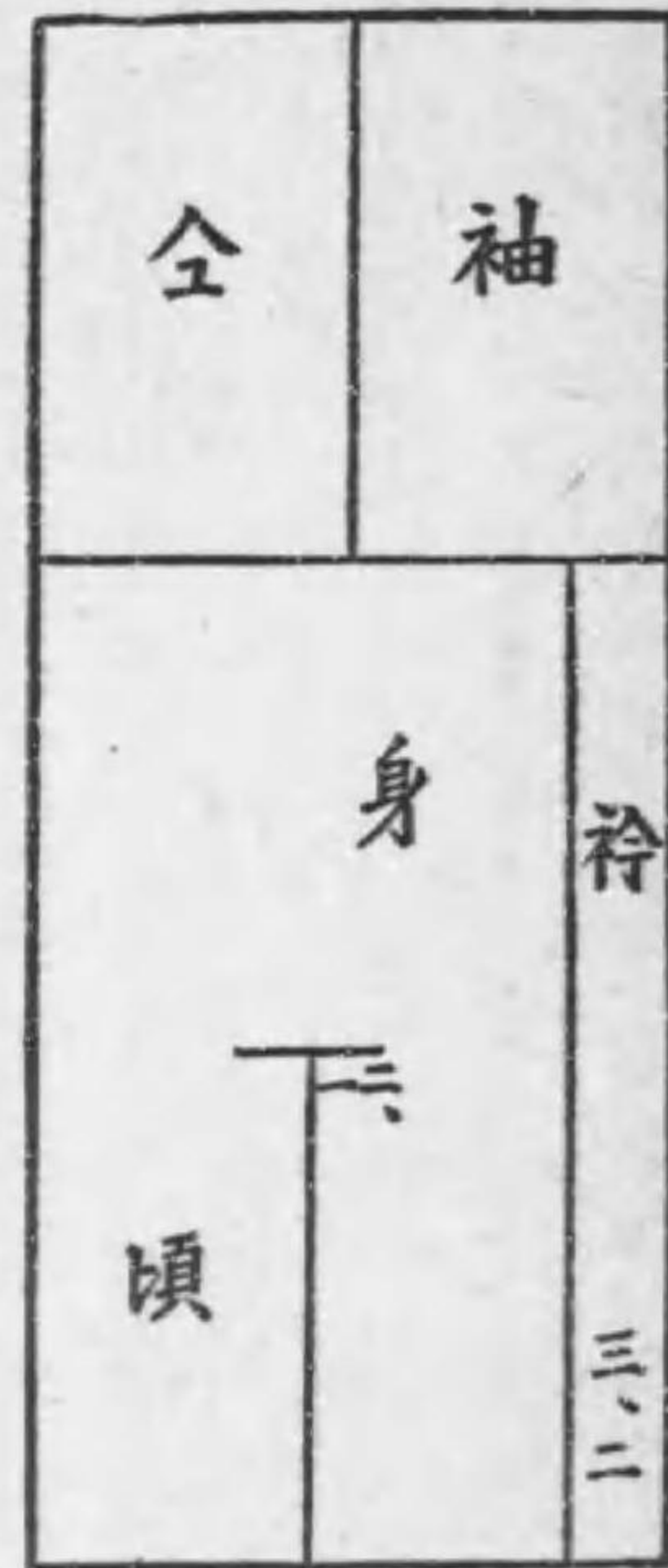
注意 衿は山はぎさす。

二、並幅物長さ一丈五尺八寸にて本裁男襦袢の裁ち方



注意 衿を山はぎする際三寸程縫ひ込みて三つ衿を入れる、代りさす。

三、二尺幅の用布にて本裁襦袢の裁ち方



注意 丈幅等の寸法は男女共並幅物に準じて裁つべし。

第四 各種襦袢の普通仕立上げ寸法

部分の名稱	種類	一寸	三寸	四寸	本裁女物	本裁男物
袖丈	一つ	いつばい	いつばい	いつばい	一尺五寸	一尺二寸五分
袖附	三寸五分	三寸七分	四寸二分	六寸	一尺五分	一尺五分
袖幅	四寸乃至五寸	六寸三分	七寸三分乃至七寸八分	八寸三分	八寸三分	八寸六分
身丈	いつばい	いつばい	いつばい	いつばい	いつばい	いつばい
身八つ口	二寸	二寸五分	二寸五分	三寸三分	三寸三分	三寸三分

衿	前	肩	後	馬	衿肩明
幅	幅	幅	幅	乘	明
八分	いつばい	いつばい	いつばい	二寸	九分
一寸	いつばい	いつばい	いつばい	二寸	一寸二分
一寸二分	六寸	六寸五分	六寸五分	二寸五分	一寸五分乃至一寸七分
一寸四分	六寸五分	八寸二分	八寸五分乃至八寸	二寸五分	二寸二分
一寸五分	七寸	八寸八分	八寸	四寸	同
					上

### 第三章 一つ身單衣

#### 第一 一つ身單衣 裁ち方

裁ち方は標附け方縫ひ方等と異なり、一度誤まればまた改むること能はざるものなれば、よく熟考して誤まりなきを確めたる上ならでは、鉄を入るべからず。其方は、先づ裁つべき反物を解きて總尺をはかり、織斑染斑汚點等の有無を調べ表を

中にして織末より巻きおき、最初に積り方の計算をなし、次ぎに巻きたる反物を己れの右手の方に置き、順次左に延べて、寸法通りに袖身頃衿と裁ち切るべし。

#### 一、襦袢裁ち方

用布 並幅長さ一丈

並通裁ち切り寸法

- |     |      |     |             |     |      |
|-----|------|-----|-------------|-----|------|
| 袖 丈 | 一尺三寸 | 袖 幅 | 五寸五分        | 身 丈 | 二尺四寸 |
| 衿肩明 | 九分   | 衿下り | 一寸五分        | 衿 幅 | 三寸五分 |
| 衿 下 | 八寸五分 | 衿 丈 | 二尺一寸(片身頃ノ分) |     |      |
| 衿 幅 | 一寸七分 |     |             |     |      |

#### 裁ち方の圖



之を公式にて示せば左の如し

$$\text{袖丈} \times 4 + \text{身丈} \times 2 = \text{總丈}$$

(袖丈 - 袖丈 × 4) + 2 = 身丈  
(袖丈 - 身丈 × 2) + 4 = 袖丈

又半幅衽として大ぶりの一つ身となさんどせば左の如く裁つべし



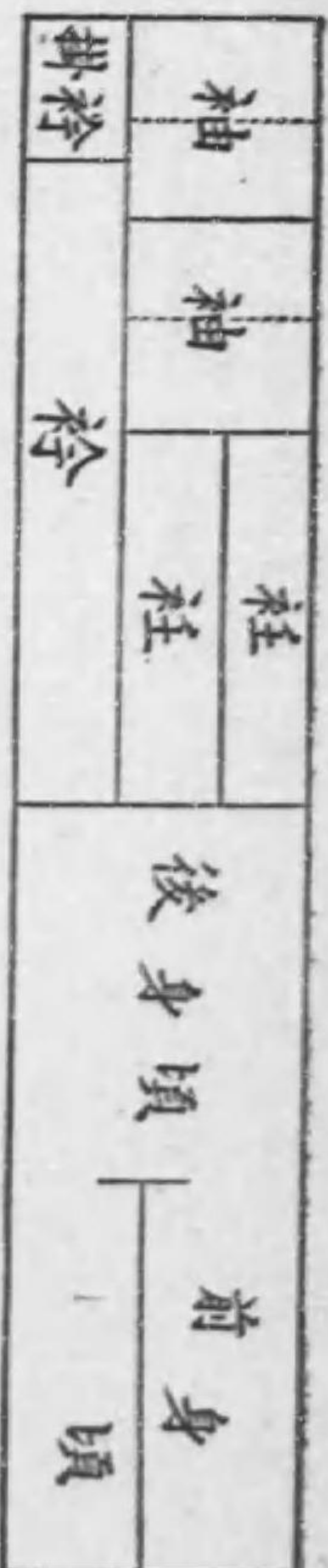
二、箇袖裁ち方

用布 並幅長さ九尺三寸

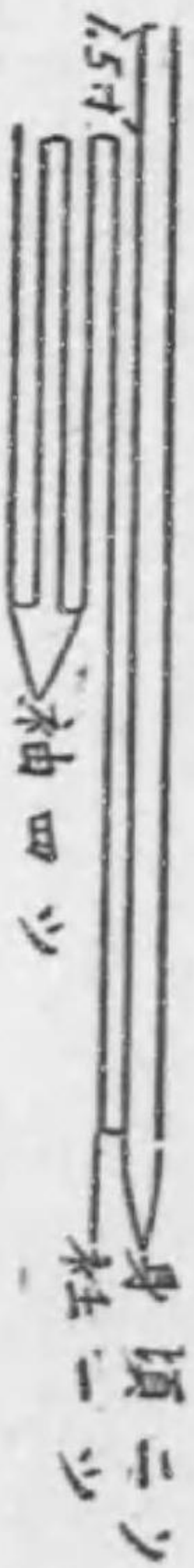
普通裁ち切り寸法

袖 丈 六寸	袖 幅 七寸	身 丈 二尺三寸五分
衽 肩明 九分	衽 下り 一寸五分	衽 幅 三寸五分
衽 丈 四尺一寸	衽 幅 二寸	

裁ち方の圖



折り方の圖



積り方を公式にて示せば左の如し

袖丈 × 4 + 身丈 × 3 - 衽下り = 總丈  
 (總丈 - 袖丈 × 4) + 衽下り + 3 = 身丈  
 (總丈 - (身丈 × 3 - 衽下り)) + 4 = 袖丈

第二 一つ身単衣仕立方

一、普通仕立上げ寸法

(イ) 澗袖

袖 丈 一尺二寸五分

袖 附 三寸八分  
乃至四寸

袖	幅	いつばい	内外	五寸
身	八つ口	二寸五分		
後	幅	いつばい		
衤	下	二寸五分		
衤	下	四寸五分		
衤	下	乃至五分		
合	褻	幅	いつばい	
紐	付	六寸五分	(肩より)	
(口)	筒袖			
袖	丈	五寸五分		
袖	附	四寸		
袖	口	明	三寸五分	内外
袖	幅		五寸五分	
衤	幅		八分	
衤	幅		いつばい	
衤	幅		いつばい	
衤	幅		いつばい	三寸
衤	幅		いつばい	内外

他はすべて潤袖の寸法に同じ又筒袖の幅は潤袖よりも五分内外を廣くなしおくべし。

二、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、前身頃
- 四、衤
- 五、衤

一、袖 表を中にして片袖づゝ真中より二つに折り、耳の方を手前に、折り目を左に

して正しく下に置き、兩袖を重ね、布の動かぬやう處々に待針をなして留め置き、潤袖は寸法通り、山丈附幅の標をなし、筒袖は外袖を二分長くして折りおき、山丈口明附幅及び袖下の標をなすべし。

二、後身頃 表を中にして縦に二つに折り、更に衤肩より横に二つに折りて、第一圖の如く後身頃を上、衤肩を左に、脊を手前にして下に置き、中間處々に待針をなしおきて、寸法通り山丈袖附身八ッ口、後幅、肩幅及び其の中間に標をつくべし。

三、前身頃 上に重ねある後身頃を左に開きて、第二圖の如く前身頃を出し、後身頃より附けたる籠標をよく附け直し、後衤下り、前幅抱幅及び其の中間處々に衤附の標をなすべし。但し抱幅は衤下りのところにてはかり、前幅の縫代より二分五厘程多く縫ひ込みを取るべし、即ち下の縫代を二分五厘とすれば、抱のところを五分として標し、前幅をなるべく廣くなしおくなり。

四、衤 表を中にして左右の衤を合せ、劍先を左に、裁目を手前にして下におき、中間處々を待針にて留め、寸法通り丈衤下幅、合褻幅及び衤附衤附の標をなすべし、但衤丈は身丈より衤下りをひきたるものに、凡そ三厘を加ふべし、又衤幅狭くして劍先の餘りに細くなるものは、左の如く寸法をはかりて標をなし、此の點を通し

て曲線をひき、衿附の標をなすべし。

劍先より二寸下りて六分

劍先より五寸下りて一寸一二分

劍先より一尺下りて二寸二三分

五、衿 先づ衿の山を合せて並の縫代にて割りはぎをなし、隠し袷をかけ、幅狭きものは衿裏の布をはぎ、衿裏の方に返してまた隠し袷をなしおき、後、表を中心にして中央より二つに折り、山丈、縫代、幅の標をつくべし。但丈は出来上りの衿肩明と、衿下りと、衿巾の衿附とを加へたるものに、一分を加へ置くべし。

標付圖解

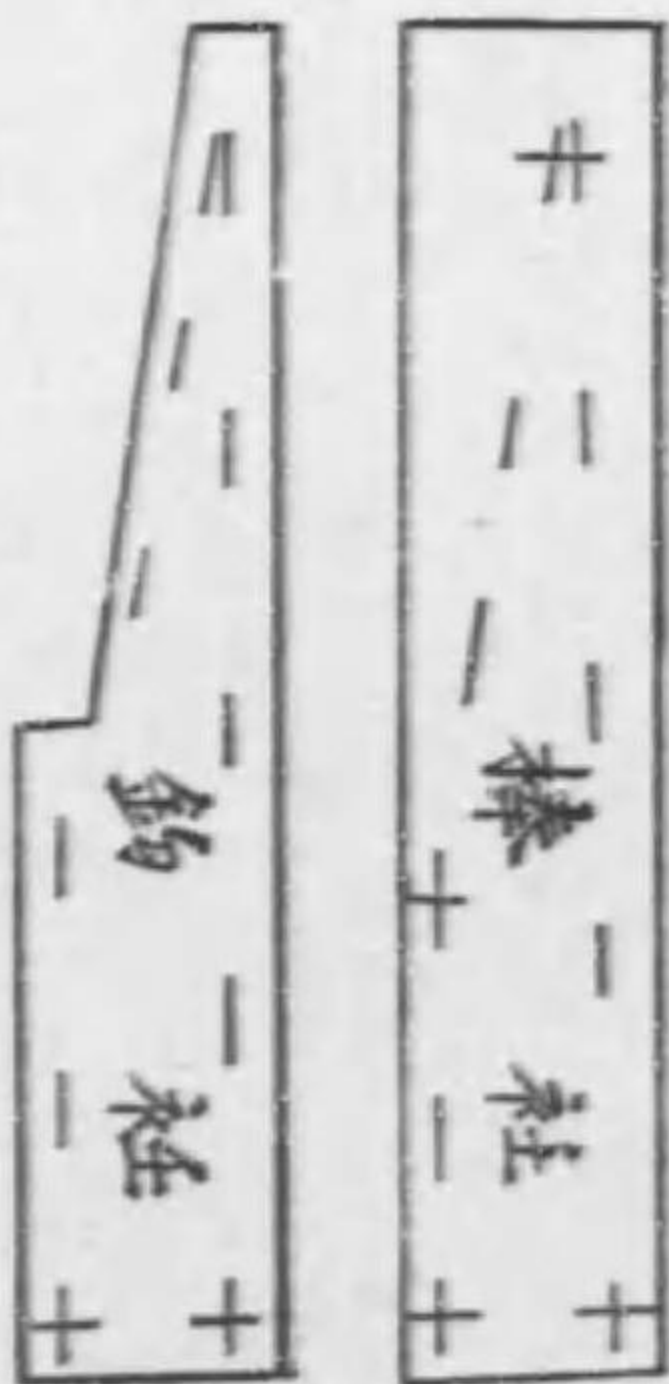
第一圖



第二圖



第三圖



三、縫ひ方順序

- 一、袖
- 二、衿肩前身かがり方及び衿下新
- 三、脇縫
- 四、衿附
- 五、裾新
- 六、衿附
- 七、袖附
- 八、附紐
- 九、春紋及び守縫



### 第四章 三つ身單衣

#### 第一 裁ち方積り方

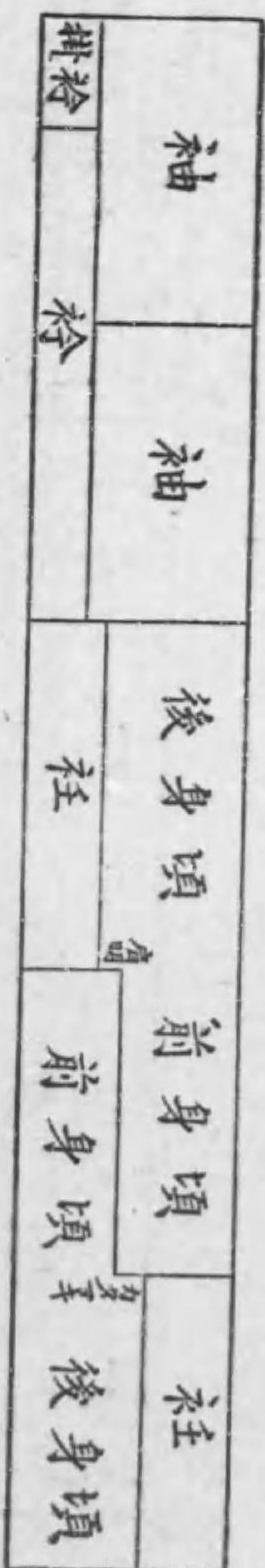
##### 一、袂袖裁ち方

用布並幅長さ一丈四尺半反

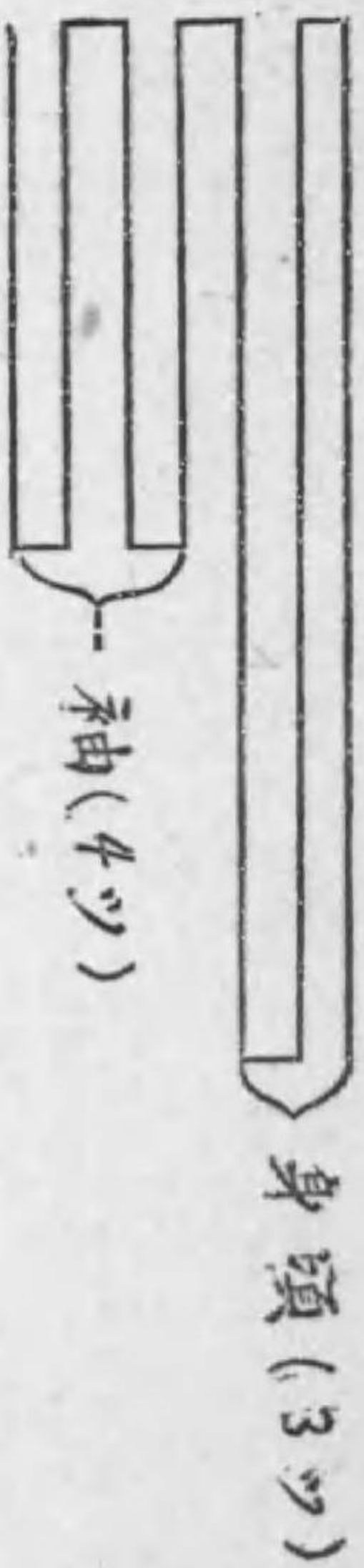
普通裁ち切り寸法

袖丈	一尺四寸	袖幅	七寸二分	身丈	二尺八寸
衿肩明	一寸四分 <small>外に一分</small>	後幅	五寸八分	衿幅	三寸二分
衿丈	四尺七寸	衿幅	一寸八分		

##### 裁ち方の圖



##### 折り方の圖



積り方を公式にて示せば左の如し

$$\text{袖丈} \times 4 + \text{身丈} \times 3 = \text{總丈}$$

$$(\text{總丈} - \text{袖丈} \times 4) \div 3 = \text{身丈}$$

$$(\text{總丈} - \text{身丈} \times 3) \div 4 = \text{袖丈}$$

##### 二、筒袖裁ち方

用布並幅長さ一丈三尺六寸

普通裁切り寸法

袖丈	六寸五分	袖幅	七寸五分	身丈	二尺八寸
衿肩明	一寸四分 <small>外に一分</small>	後幅	五寸八分	衿下り	二寸
衿幅	半幅	衿丈	四尺八寸 <small>山はき</small>		

裁ち方の圖



積り方を公式にて示せば左の如し

$\text{袖丈} \times 4 + \text{身丈} \times 4 - \text{衿下り} = \text{總丈}$   
 $(\text{總丈} - \text{袖丈} \times 4 + \text{衿下り}) \div 4 = \text{身丈}$   
 $(\text{總丈} - (\text{身丈} \times 4 - \text{衿下り})) \div 4 = \text{袖丈}$

第二 三つ身單衣仕立方

一、普通仕立上寸法

一、袂袖

袖	丈	一尺三寸五分	袖口	明	三寸五分
袖	附	四寸	袖	幅	六寸五分
身	丈	いつぱい	身	八つ口	二寸五分

衿	肩	明	一寸三分	後	幅	いつぱい
肩	幅	いつぱい	衿	下	り	二寸五分
前	幅	いつぱい	衿	下	り	六寸五分
衿	幅	いつぱい	合	襷	幅	いつぱい
衿	幅	一寸	紐	付		七寸肩より

二、筒袖

袖	丈	六寸	袖	口	明	三寸五分
袖	附	四寸三分	袖	幅	六寸八分	三寸五分
衿	幅	三寸五分	合	襷	幅	三寸四分

他は凡て袂袖の時に同じ

三、元祿袖

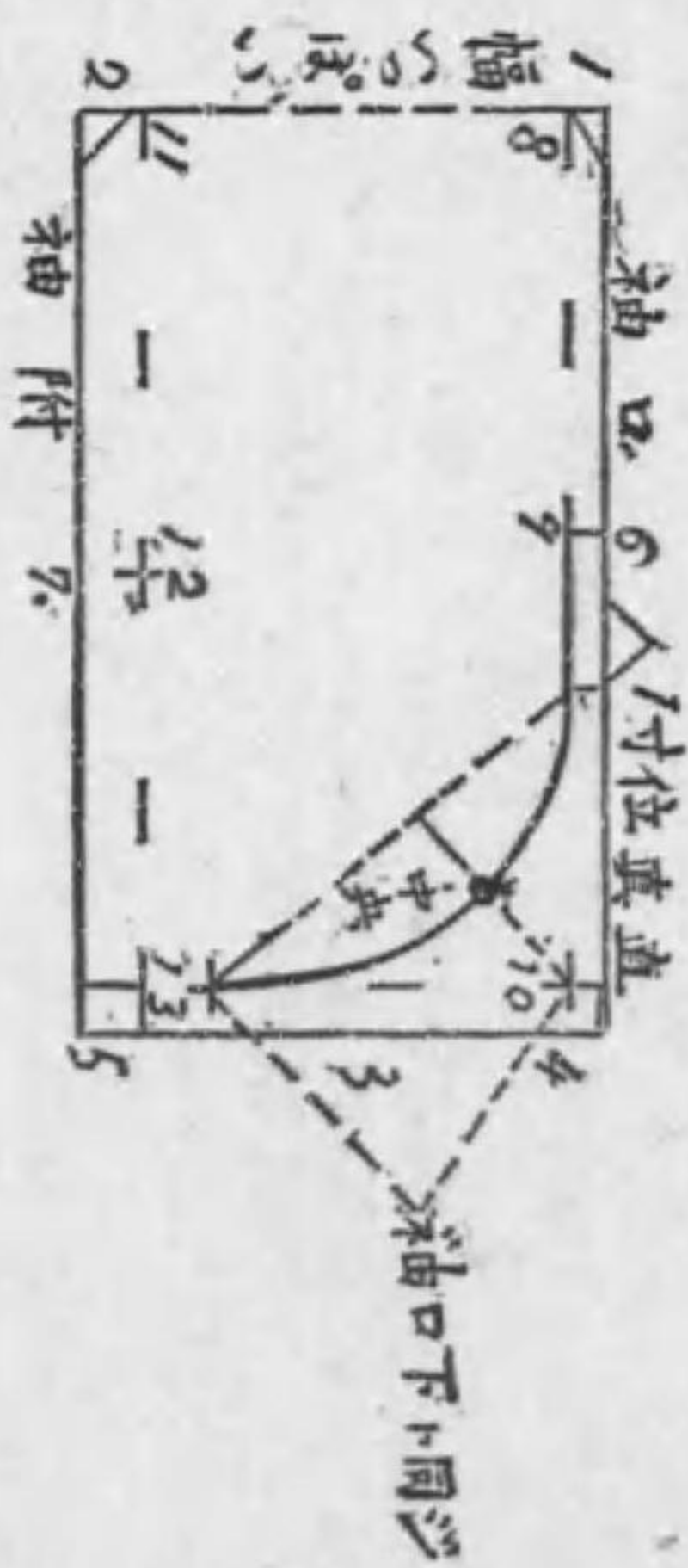
袖	丈	七寸五分	袖	口	明	三寸八分
袖	附	四寸三分	袖	幅	六寸五分	
袖	丸	三寸				

二、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、前身頃
- 四、衿
- 五、袴



元祿袖の標付け方



身頃衿は一つ身と同じ。

三、縫方順序

- 一、袖
- 二、衿肩前身かがり衿下衿
- 三、春縫
- 四、脇縫
- 五、衿附
- 六、裾衿
- 七、衿附
- 八、袖附
- 九、附紐
- 一〇、肩揚
- 一一、腰揚

### 第五章 四つ身單衣

#### 第一 裁ち方積り方

一、袂袖裁ち方

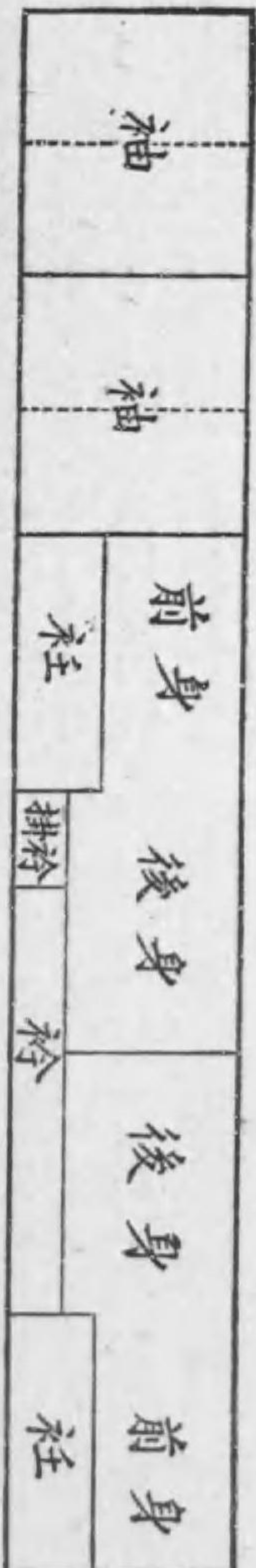
用布並幅長さ一丈八尺

外に肩當及び居敷當用布二尺五寸

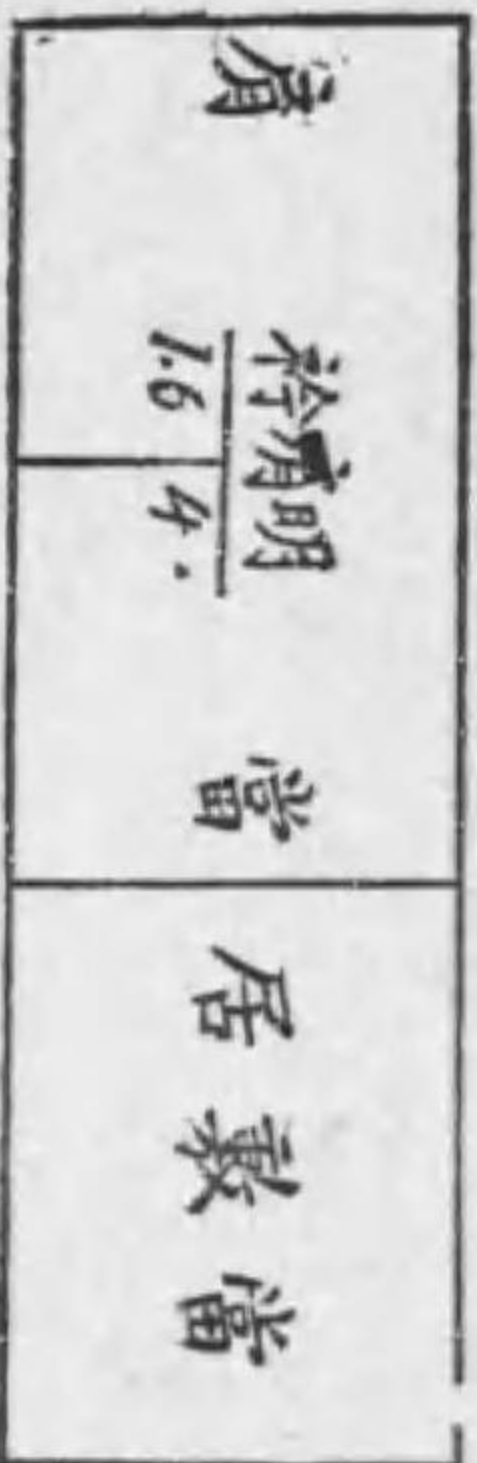
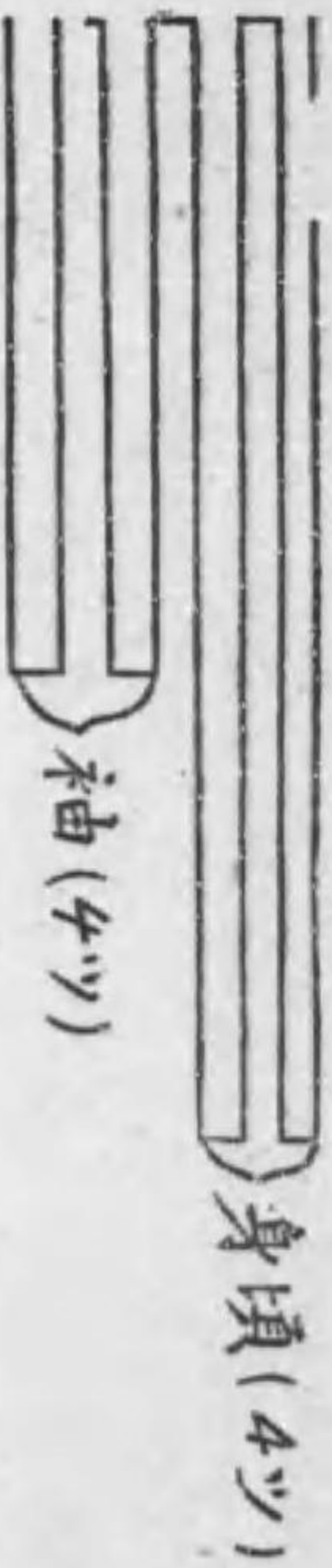
普通裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸	身丈	三尺	後幅	七寸二分
衿幅	一寸八分	衿幅	三寸八分	衿肩明	二寸
肩當	一尺四寸	居敷當	一尺一寸		

圖の方ち裁



折り方の圖



注意 肩當の丈を長く附けんとせば、襟布を用ひ後を前より五分程長くすべし。

積り方を公式にてあらはせば左の如し

$$\text{袖丈} \times 4 + \text{身丈} \times 4 = \text{總丈}$$

$$(\text{總丈} - \text{袖丈} \times 4) + 4 = \text{身丈}$$

$$(\text{總丈} - \text{身丈} \times 4) + 4 = \text{袖丈}$$

二箇袖裁ち方

用布並幅長一丈四尺四寸

普通裁ち切り寸法

但し逆衿裁ちとす

袖丈 七寸  
 身丈 二尺九寸  
 後幅 七寸二分  
 衿幅 一寸八分  
 衿肩明 二寸  
 衿幅 上下三寸三分

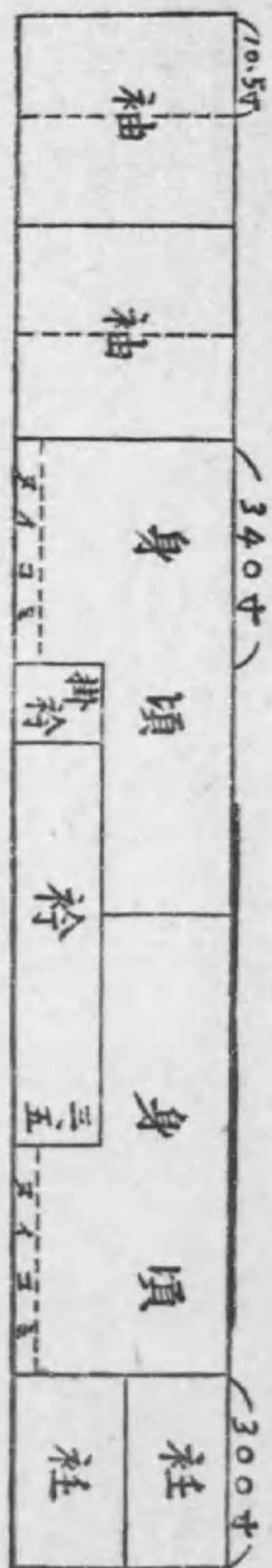
裁ち方の圖



注意 四ツ身は五六才より十一二才に至る兒童の着用する衣服にして、子供物としては最も長き期間用ふるものなり。且つ此の時期は、兒童身體の發育著しきを以て隨つて各部の寸法中一定し難き箇所あり、殊に衿丈は衿下の寸法によりて定まるものなれば、衿丈を裁ち切る前には、先づ衿下の寸法をきめざるべからず。其の割合は、大約着用者の年齢の數に一寸加へて、衿下の仕立上げ寸法とせば可なり。例へば八才の兒童の衿下は九寸と定むるが如し。

以上述べたる一つ身三つ身四つ身の外、前衿裁と稱ふる裁ち方あり、四つ身よりは稍々大なれども、猶子供服の部に屬するものなり。左にこれを擧ぐべし  
 用布 並幅長さ二丈三尺二寸

裁ち方圖



第二 四つ身單衣仕立方

一、普通仕立上げ寸法

一、袂袖

袖	丈	一尺四寸五分	袖口明	四寸五分
袖	附	四寸五分	袖幅	四寸五分
身	丈	いつばい	身八つ口	二寸五分
衿	肩	一寸六分	後	六寸五分
肩	幅	六寸五分	衿下	三寸五分
前	幅	いつばい	衿幅	四寸五分
衿	下	七寸一乃寸至	衿幅	一寸二分

合襖幅 三寸一二分

紐 附 七寸五分肩より

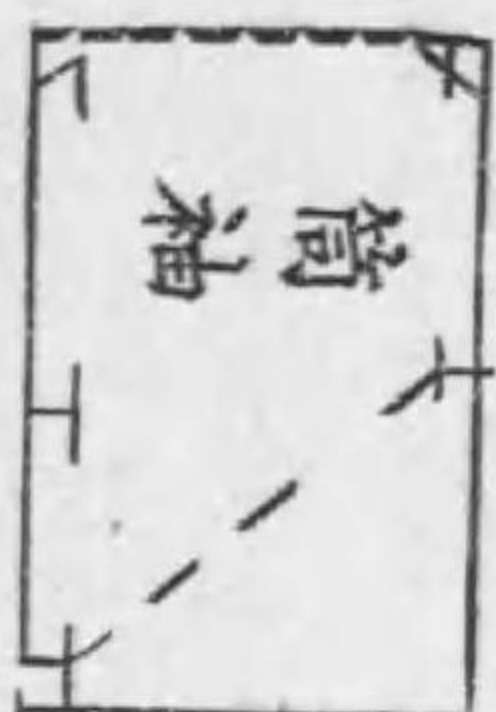
二、筒袖

袖	丈	六寸五分	袖口明	三寸五分
袖	附	四寸八分内外	袖幅	八寸内外

他は凡て袂袖の時に同じ但し逆衿の時には合襖幅をいつばいとす。

二、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、前身頃及び衿
- 四、衿



三、四つ身単衣縫ひ方順序

- 一、袖 二、衿肩かがり 三、脊縫及び肩當居敷當 四、脇縫 五、衿附 六、衿下衿
  - 七、裾衿 八、衿附 九、袖附 一〇、附紐 一一、肩揚 一二、腰揚
- 縫ひ方に付いて詳しき事は實物にて説明す。



第六章 三つ身衿

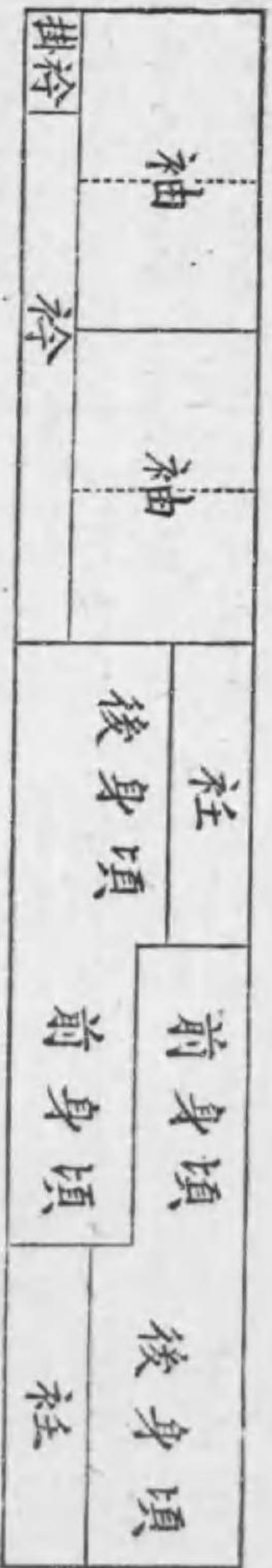
第一 三つ身衿裁ち方積り方

- 一、袂袖裁ち方
- 表用布三つ身単衣袂袖に同じ
- 裏用布通し裏總丈一丈四尺一寸二分
- 表用布の總丈に衿の六倍を加へたるもの
- 普通裁ち切り寸法

通し裏

袖 丈	一尺四寸	袖 幅	七寸七分	身 丈	二尺八寸
衿肩明	一寸四分	後 幅	五寸八分	衿 幅	三寸二分
衿 丈	四尺七寸	衿 幅	一寸三分		

裁ち方の圖



積り方を公式にて示せば左の如し

(總丈 - 袖丈 × 4) + 3 = 身丈

(總丈 - 身丈 × 3) + 4 = 袖丈

袖丈 × 4 + 身丈 × 3 = 總丈

裾廻し附 胴裏總丈一丈一尺四寸二分

裾廻し總丈三尺五寸

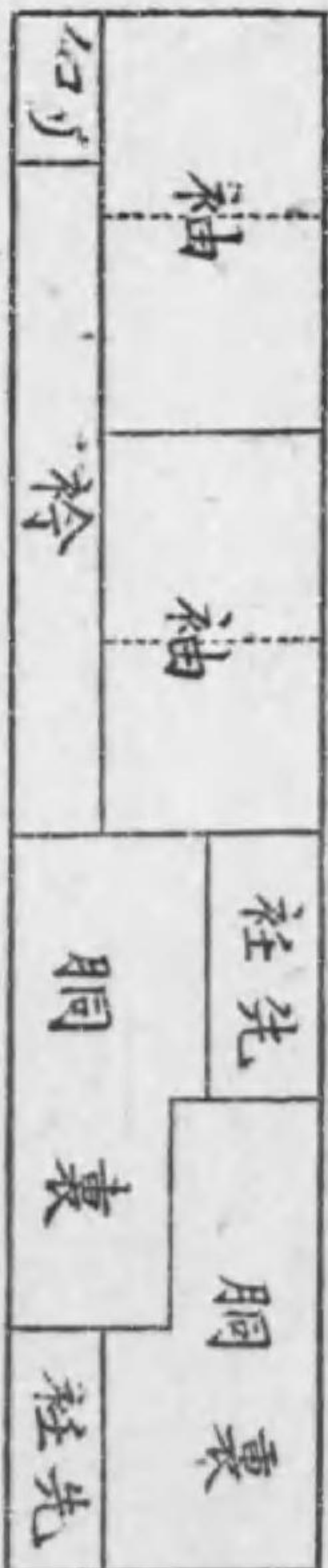
普通裁ち切り寸法

胴裏丈 一尺九寸四分

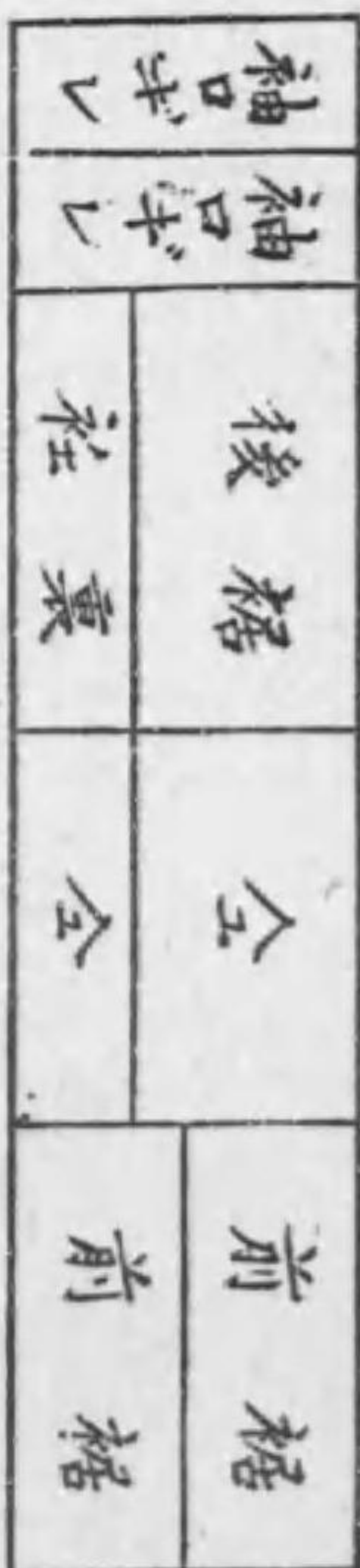
裾廻し丈一尺  
袖口五寸

二尺

裁ち方の圖—胴裏



裾廻し



積り方を公式にて示せば次の如し

表總丈—胴裏總丈+批×6+縫代×3=裾廻し總丈  
 裾廻し總丈+3=……………裾廻し丈  
 表總丈—裾廻し總丈+批×6+縫代×3=胴裏總丈  
 表身丈—裾廻し丈+批×2+縫代=……………胴裏丈

二、筒袖裁ち方

表用布 三つ身單衣筒袖に同じ

裏用布 通し裏 總丈一丈三尺七寸六分

表用布の總丈に出衽の八倍を加へたるもの

普通裁ち切り寸法

通し裏

袖 丈 六寸五分 身 丈 二尺八寸四分 衿肩明 一寸四分外に一寸  
 後 幅 五寸八分 衿下り 二寸 衿 幅 半幅  
 衿 丈 四尺八寸山はぎ

裏一圖の方ち裁

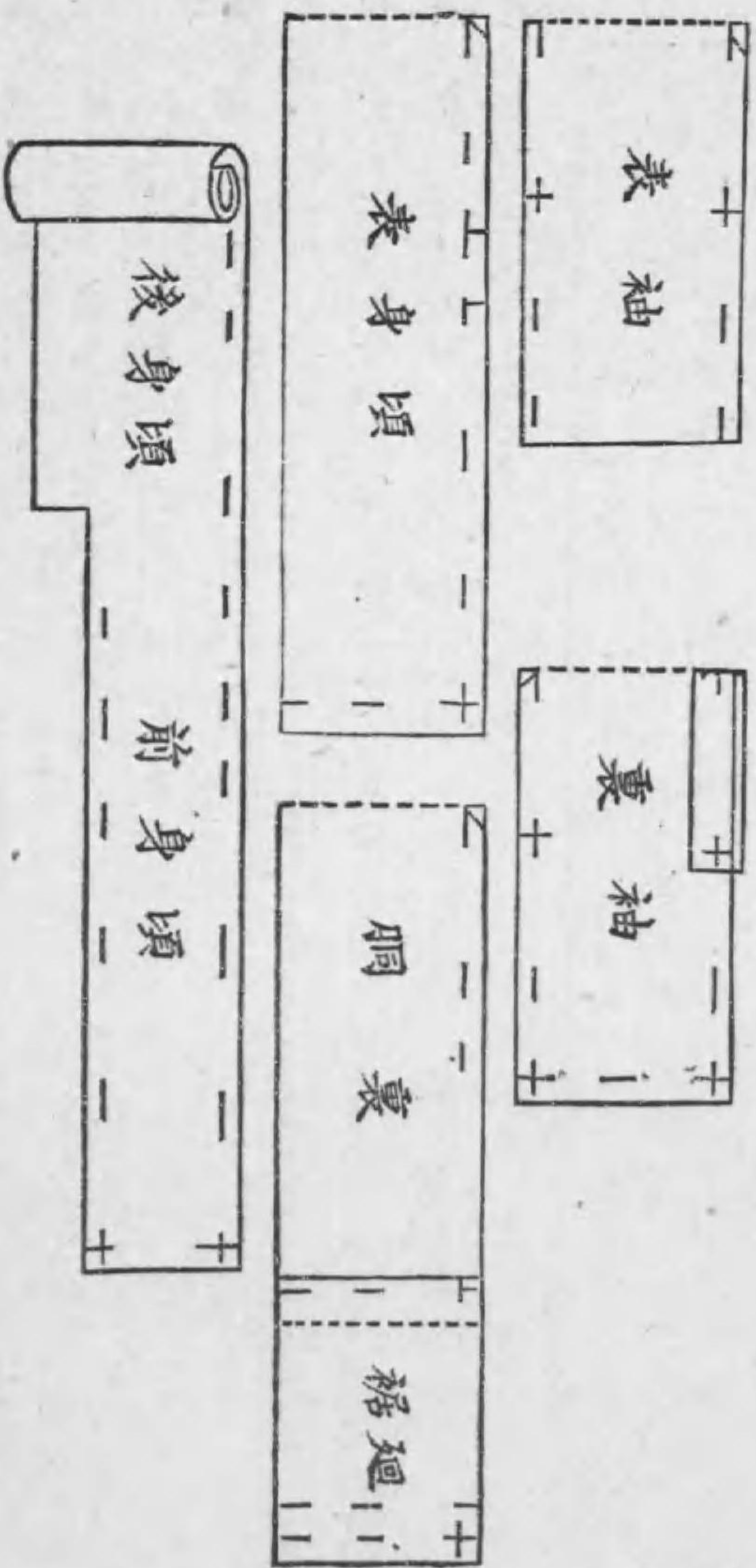


第二 三つ身袖仕立方

一、普通仕立上げ寸法

袂袖筒袖共に、三つ身單衣の仕立上げ寸法に同じ但し衿は二分とす  
二、標附け方

- 一、袖口掛
- 二、表袖
- 三、裏袖
- 四、表後身頃
- 五、表前身頃
- 六、裏後身頃
- 七、裏前身頃
- 八、表裏の衿
- 九、衿



三、縫方順序

- 一、表裏の袖
- 二、表身頃及び衿
- 三、裏身頃及び衿
- 四、丈調べ
- 五、裾合せ
- 六、脊脇の縦綴及び身八つ口
- 七、袖附
- 八、衿の縦綴及び衿下縫
- 九、衿附並に衿衿
- 一〇、横綴

第七章 一つ身綿入

第一 裁ち方積り方

一、濁袖裁ち方

表用布 一つ身單衣濁袖に同じ  
裏用布 並幅長さ一丈一寸二分

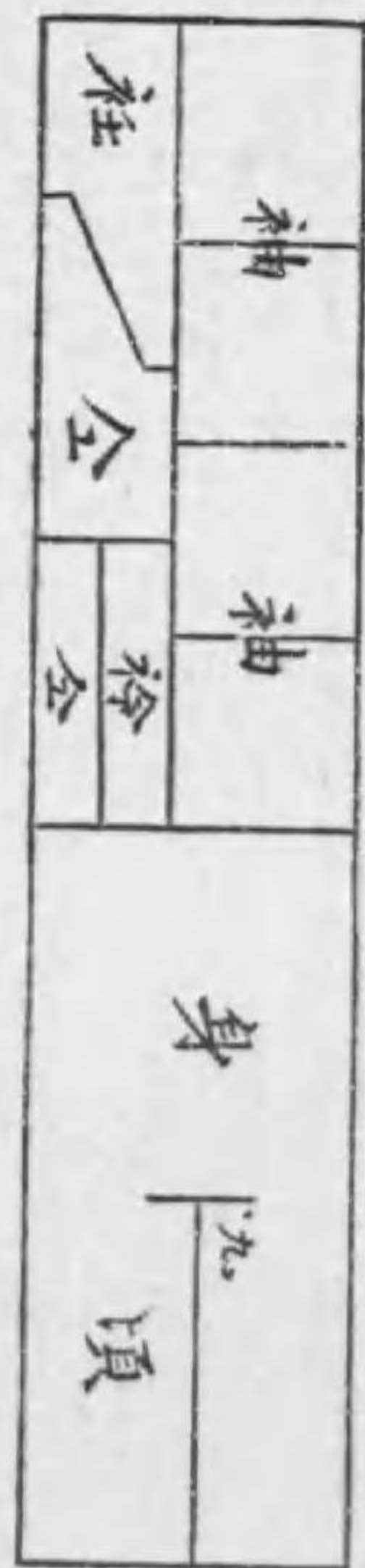
表用布の總丈に衿の四倍を加へたるもの



普通裁ち切り寸法(裏)

袖丈	一尺三寸	袖幅	五寸二分	身丈	二尺四寸六分
衿肩明	九分	衿丈	二尺三寸一分	衿下	七寸九分
衿幅	三寸八分	衿丈	二尺一寸片身頃の分衿	幅	一寸九分

裁ち方の圖—裏



積り方を公式にて示せば左の如し

袖丈 × 4 + 身丈 × 2 = 總丈

(總丈 - 1 袖丈 × 4) ÷ 2 = 身丈

(總丈 - 1 身丈 × 2) ÷ 4 = 袖丈

二筒袖裁ち方

表用布 一つ身單衣筒袖に同じ

裏用布 並幅長さ九尺四寸八分

表用布總丈に衽の三倍を加へたるもの

普通裁ち切り寸法(裏)

袖丈	六寸	袖幅	七寸五分	身丈	二尺四寸一分
衿肩明	九分	衿丈	二尺二寸六分	衿幅	三寸七分
衿丈	四尺一寸	衿幅	一寸五分		

すべて表の裁ち方に同じく、只身頃及び衽に於て衽の二倍を長くしおくのみなり。

裁ち方の圖—裏



但し裏丈少なきときは、上圖の如く袖幅を半幅となし、袖口下に廣き持ち出しぎれをつくるも可なり。又表の布幅廣くして裏衽を要せざるものは、上圖の衽を半幅となすべし。

積り方を公式にて示せば左の如し

袖丈 × 2 + (身丈 × 3 - 衿下ウ) = 總丈  
 (總丈 - 袖丈 × 2) 衿下ウ) + 3 = 身丈  
 (總丈 - (身丈 × 3 - 衿下ウ)) + 2 = 袖丈

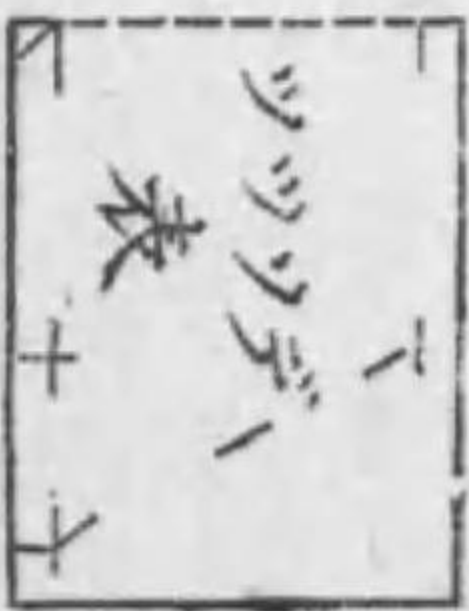
### 第二 一つ身綿入仕立方

#### 一、普通仕立上寸法

潤袖筒袖共に一つ身單衣の仕立上げ寸法に同じ。

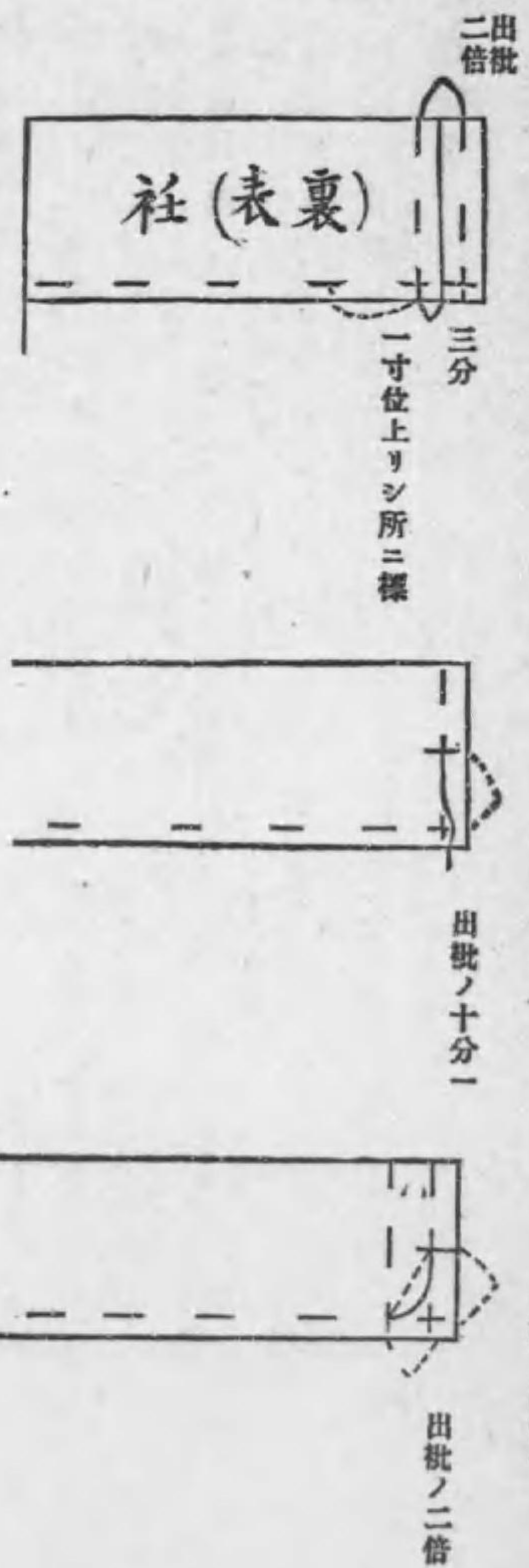
#### 二、襷附け方

- 一、袖口掛 二、表袖 三、裏袖 四、表後身頃 五、表前身頃 六、裏後身頃 七、裏前身頃 八、表裏の衿 九、衿



#### 三、一つ身綿入縫ひ方順序

- 一、表袖 二、裏袖 三、表身頃及び衿 四、裏身頃及び衿 五、丈調 六、衿附 七、表裏袖附 八、裾合せ 九、袖口及び八つ口の含綿（まきわた） 一〇、綿入れ 一一、裾の假綴（かりこじ） 一二、袖口衿 一三、八つ口衿 一四、衿下衿 一五、衿綴及び衿衿 一六、縦綴 一七、横綴 一八、掛衿
- 四、襷附け方及び縫ひ方  
襷標附方



縫ひ方

先づ裏衿を取りて、襷形の標より二厘程縫代によりたる方を、形に倣ひて極めて小針に縫ひ、(麩糸を二重にして用ふ)表の幅に比べて稍々狭き程に縫ひ縮め、角を十分引き伸ばして縫ひ縮めたる皺を消し、表に合せて標の通り待針をなし、表の方を見て縫ひ、次ぎに襷先きは五厘、他は一分のきせにて表の方に折りをつけ、裏より烙鏝をかけてよく形を整へ、小襷のところは縫ひ終りより五厘程さきを縫ひ、尙ほ此の糸にて上まで縫ひ行き、表の方に返して烙鏝をかけ、引き返して平襷をなすべし。

第八章 綿布繕ひ方

繕ひ方とは、衣服に損所を生じたるときこれを繕ひ、又は切地の不足せるときこれを繕ひたす仕方にして、即ち接ぎ方、縫ぎ方の總稱なり、すべて古き衣服を仕立換ふるには、まゝ多少の繕ひを要するものにして、其の巧拙は大に外觀上及び保存上に影響するものなれば、常によく練習して、其の技に熟達せんことを勉むべきなり。左に種類及び方法を述べし。

第一 接ぎ方

接ぎ方には、片返し割り接ぎ、掛け接ぎの三種あり。

片返し 先づ接がんとする布二枚を取り、布目を正して縫代を定め、編目を合せて待針をなし、成るべく小針にはぎ、一方に返して、平襷又は隠し襷をかくるなり。

割りはぎ 片返しの如く能く編目を合せ、同じ色の細糸絹糸若しくは絹小松糸の類にて極めて小針に縫ひ、縫ひ目を兩方に開きて烙鏝をかけ、平襷又は隠し

襪をなすべし。但し、唐縮緬（かむすめん）の如き目あらの布を割り接ぎするには、其の接ぐべき所に二分幅程の細き絹ぎれを當て、其の上を縫ひ行くをよしとす。

掛けはぎ これも又布目を正して縫代を極め、各裏の方へ折り、縞目を合せ、其の上を縫ひかけて動かぬ様になし、一方を掛針にて張り、解糸（とほ）か又はともいろいろ極めて細き糸を絹針に通して、緯一線づつにかけ、縫目の縮れぬ様に接ぎ合はすべし。又緯糸太きときは、経糸を抄ふをよしとす、かくて縫ひ終らば前の襪糸をぬき、裏より霧をふきて烙鏝をかくべし。

又帯心衿心等を接ぎ合はするときは、衝き合せはぎとて、接かんとする布の兩端を奇麗（きれい）に裁ちおき、之を衝き合せて左右とも切り口の上に一度おきに針をかけ、尚ほ五六分づゝ縫ひおくなり。

## 第二 縫 ぎ 方

縫ぎ方には色紙刺しつぎ、穴つぎの三種あり。何れも布の損じて自然に薄くなりたる所、或は破れたる所に、施す仕方なり。

しきし 損所より稍々大なるつぎ、それを取り、布目又は縞目を能く合せて其の

損所にあて、表布をはらぬ様に注意して、雌針雄針に縫ふべし、針目の大小、及び縫ひ目の隔りは、損じ方の多少によりて異なれども、凡そ雌針を一分、雄針を四分、隔りを三四分となすべし。而して毎行つぎぎれの一針先きまで縫ひ、其の兩端のまくれぬ様にすべく、又糸は兩端に少しつゝ残し置くべし。又甚だしく糸のひけたる處などは、其の間を細かに刺し置くをよしとす。

刺しつぎ 布の損じかた少なきときは、しきしぎれをあてずして、縫糸のみにて細かに刺し、又多く損じたるときは、色紙つぎをなしたる間を、更に細かに刺し、縫ぎをなすなり。

穴つぎ 布に焼穴などの出来たる時に施す仕方にして、其の方法は先づ縫がんとする穴の廻りの弱くなりたる所を角、或は圓く切り抜き、其の縁に一分程の深さに、鋏みを入れ、これを裏に折り返し、縫ぎぎれを取り、布目及び縞目を能く合せて穴に當て、其の廻りを縫糸にて綴ぢ、其色の細き糸にて成る可く、表に糸目の見えぬ様、折り目の角の糸一線づゝにかけ、細かにまどひ行き、次ぎに縫ぎぎれの廻りを表に縫ひ附くべし。

又衣服に鈎裂（かぎさ）きたるときは、先づつぎぎれをあて、鈎の處を刺しつぎするか、或は

穴つぎの如く其の廻りを折りてまどひ後、残りの部分を色紙の仕方にてつきおくべし。

### 第九章 本裁單衣女物

#### 第一 裁ち方積り方

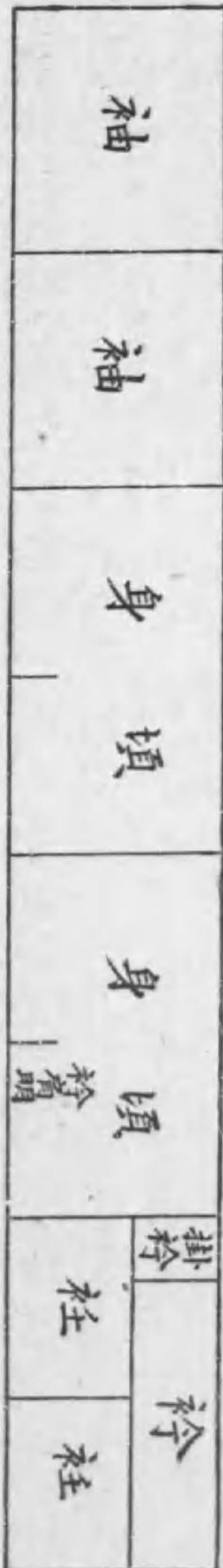
##### 一、棒衿裁ち方

用布 普通幅長さ二丈八尺八寸

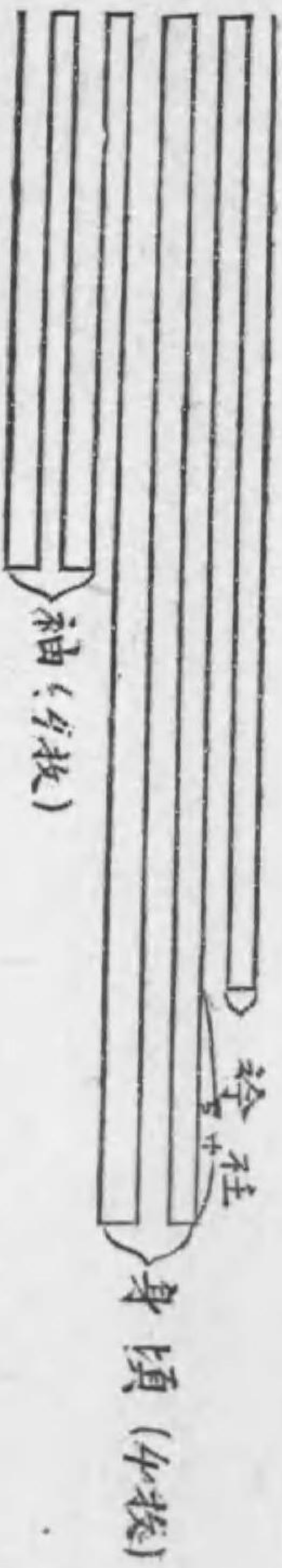
普通裁ち切り寸法

袖丈	一尺六寸	身丈	三尺九寸	衿肩明	二寸五分
衿下り	五寸	衿幅	四寸八分	衿丈	四尺七寸

裁ち方の圖



折り方の圖



積り方を公式にて示せば

$$\text{袖丈} \times 4 + (\text{身丈} \times 6 - \text{衿下り} \times 2) = \text{總丈}$$

$$(\text{總丈} - \text{袖丈} \times 4 + \text{衿下り} \times 2) \div 6 = \text{身丈}$$

$$\{ \text{總丈} - (\text{身丈} \times 6 - \text{衿下り} \times 2) \} \div 4 = \text{袖丈}$$

右裁ち方終らば左の寸法によりて肩當居敷當用布を裁ち又三つ衿ぎれをも揃へおくべし。

肩當用布 並幅長さ二尺六寸

後丈 七寸 前丈 六寸 衿肩明 表と同寸

居敷當用布 並幅一尺三寸乃至一尺五寸

三つ衿ぎれ 並幅三寸

#### 第二 本裁單衣女物仕立方

一、普通仕立上げ寸法

袖丈	一尺五寸五分	袖口明	六寸乃至六寸五分	袖附	六寸五分
袖幅	八寸五分	身丈	いづばい	身八つ口	三寸
衿肩明	二寸三分	後幅	七寸五分	肩幅	八寸
衿下り	六寸	前幅	六寸	抱幅	五寸四分
衿下	一尺九寸	衿幅	四寸	合裱幅	三寸五分
衿幅	一寸五分	縮	一尺六寸五分		

二、釣衿裁ち方

用布 並幅長さ二丈八尺

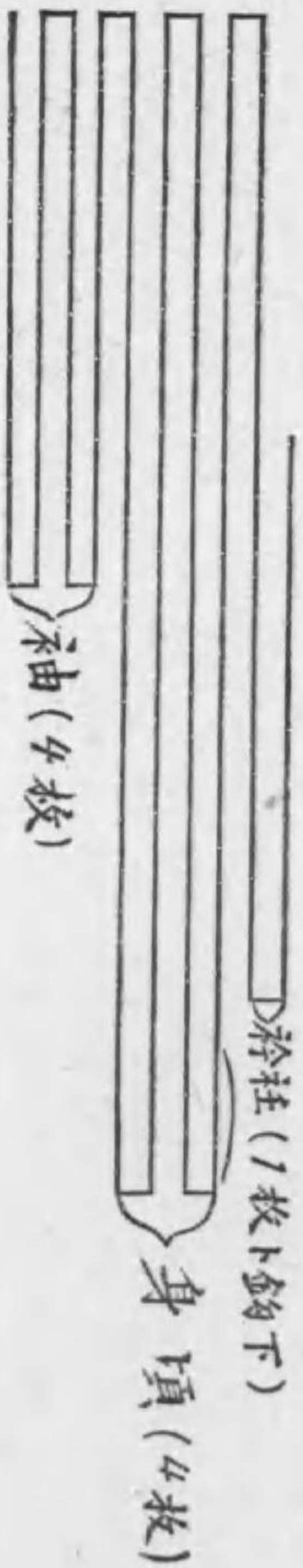
普通裁ち切り寸法

袖丈	一尺六寸	身丈	三尺九寸六分	衿肩明	二寸五分
衿下り	四寸五分	衿下	二尺二寸五分	衿幅	四寸八分
釣の切り込み七分		衿丈	四尺八寸		

裁ち方の圖



折り方の圖



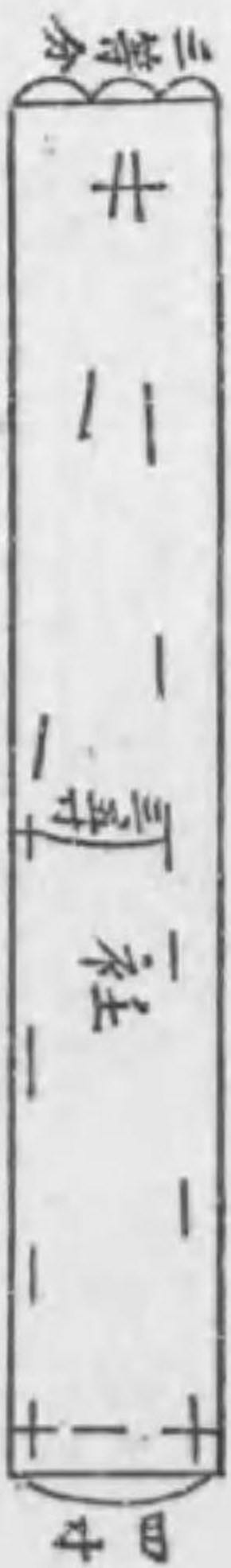
積り方を公式にて示せば左の如し

$$\begin{aligned} & \text{袖丈} \times 4 + (\text{身丈} \times 5 - \text{衿下り}) + \text{衿下} = \text{總丈} \\ & \text{衿下} - (\text{袖丈} \times 4 + \text{衿下} + \text{衿下り}) \div 5 = \text{身丈} \\ & \text{總丈} - (\text{身丈} \times 5 - \text{衿下り} + \text{衿下}) \div 4 = \text{袖丈} \end{aligned}$$

三、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、前身頃
- 四、衿
- 五、衿

一、袖 表を中にして片袖づゝ真中より二つに折りて兩袖を重ね折り目を左にして下に置き、布の動かぬやうに處々に待針をなして留め置き、寸法通り、山丈



口明附幅の標を附くべし。

二、後身頃表を中にして二枚合せ、衿肩より二つに折りて圖の如く後身頃を上にして、脊を手に前に衿肩を左にして下に置き、寸法通り、山丈袖附身八つ口衿肩明後幅肩幅及び其の中間に標をつくべし。

三、前身頃上に重ねある後身頃二枚を左に開きて前身頃を出し、後身頃より附けたる籠標を確につけ直し、後衿下り前幅抱幅及び其の中間處々に衿附の標をなすべし。

四、衿 表を中にして左右の衿を合せ、劍先を左に裁ち目を手前にして下におき、寸法通り、裾縮縫代丈衿下幅合襖幅及び衿附の標をなすべし。但し丈は、身丈より衿下りをひきたるものに凡そ一分以内を加ふべし。即ち丈の長短及び棒裁ちと、鈎裁ちとによりて多少の斟酌を要すべきなり。

五、衿 表裏衿共に表を中にして各中央より二つに折り、裏衿を下に表衿を上にして重ね、山丈縫代幅の標をつくべし。但し丈は、出来上りの衿肩明と、衿下りと、衿附の長さ、外に一分を加へたるものとし、又衿先はなるべく五分餘の縫ひ込みを置くべし。衿附の際は丈標の一分内を衿下標に合せ、衿先は丈標の

通りに縫ふべし。

四、縫方順序

- 一、袖
- 二、各部かがり方
- 三、脊縫及び肩當居
- 四、脇縫
- 五、衿附
- 六、裾衿
- 七、衿附
- 八、袖附

第十章 本裁單衣男物

第一 裁ち方積り方

一、袴衿裁ち方

用布 並幅長さ二丈八尺

普通裁ち切り寸法

- 袖 丈 一尺四寸五分 身 丈 三尺八寸五分 衿 肩明 二寸五分
- 衿 下 四寸五分 衿 幅 四寸八分 衿 丈 四尺六寸
- 又 衿 下 四寸五分

二、釣衿ち方

用布 並幅長さ二丈七尺

普通裁ち切り寸法

- 袖 丈 一尺四寸五分 身 丈 三尺八寸五分 衿 肩明 二寸五分
- 衿 下 二尺三寸五分 衿 幅 四寸八分 衿 丈 四尺八寸
- 釣の切り込み七分

右裁ち方の圖折り方の圖及び積り方算法等はすべて本裁單衣女物に同じ。

第二 本裁單衣男物仕立方

一、普通仕立上げ寸法

- 袖 丈 一尺四寸九分五分 袖口明 七寸 袖 附 一尺一寸
- 人 形 三寸 袖 幅 八寸八分 身 丈 三尺六寸五分
- 衿 肩明 二寸三分 後 幅 八寸 肩 幅 八寸七分
- 衿 下 五寸五分 前 幅 六寸五分 抱 幅 六寸二分
- 衿 下 一尺七寸 衿 幅 四寸 合 襖 幅 三寸六分
- 衿 幅 一寸五分乃至一寸六分 衿 幅 一尺七寸五分



二、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、揚
- 四、前身頃
- 五、衽
- 六、衿

1、袖 表を中にして真中より二つに折り、左右の袖を重ね、正しく揃へて下に置き、寸法通り山丈口明人形幅及び丸みの標をつくべし。

2、身頃 表を中にして二枚合せ、衿肩明より二つに折り、後身を上にして四枚揃へ、山丈袖附後幅肩幅の標を付け、次ぎに衿肩を五分後身頃の分に越して揚の標をなす。但し袖附の寸法は袖より身頃の方を一分つめ置き、又揚の高さは、普通の丈にありては、後身は肩山より一尺三寸、前身は一尺四寸とす。それより後身頃を左に開き、前身頃を出して揚の標を合せて折り、此の處に待針をなして、衽下り前幅抱幅及び其の中間に標を附くべし。

注意

揚の寸法を定むるには、任立上げの身丈と、上下の縫代八分と、揚の著せ及び縫縮みの分二分を加へて、裁ち切りの身丈より減じ残りを揚とすべし。身丈高き人は、揚の高さを肩山より一尺三寸五分下ぐるを可とす。

3、衽表を中にして左右の衽を揃へて下におき、女物單衣の通り、丈衿下幅合襷幅衽附衿附の標をつくべし。

4、衿表裏共に表を中にして各中央より二つに折り、裏衿を下に表衿を上にして四枚重ね、山丈縫代幅の標をつくべし。

三、縫ひ方順序

- 一、袖
- 二、脊縫
- 三、肩當
- 四、揚
- 五、居敷當
- 六、脇縫
- 七、衽附
- 八、裾新
- 九、衿附
- 一〇、袖附

第十一章 子供帯

第一 寸法

子供帯は小兒の年齢によりて、丈幅共に相違あれども、大凡左の如き寸法を普通とす。

年齢五六歳用 並幅長さ七尺

同十二三歳用 一尺三寸幅にて長さ一丈(三分ノ二幅)

此の他祝ひの帯に用ふるものには、尺二(一尺二寸幅)尺四(一尺四寸幅)尺六(一尺六寸幅)等云ひて、丈も九尺以上一丈四五寸位のものあり。

### 第二 仕立方

- 一、用布の整理
- 二、假綴
- 三、標附
- 四、縦の本縫
- 五、両端の返し縫ひ
- 六、心拵へ
- 七、心附
- 八、仕上

1、用布の整理 帯を仕立つるには、布に伸縮み又は皺折り目等のなきやう、先づ火熨斗又は烙鏝をかけて平になし、縫ひ目の方は少しく多く伸ばしおくべし。

2、假綴及び標附 表を中にして二つに折り、幅の中央に處々待針をなして縫代淺く假綴をなし、仕立上の幅に著せの分を加へて幅標をつけ、丈は両端の縫代を五分として標をなすべし。

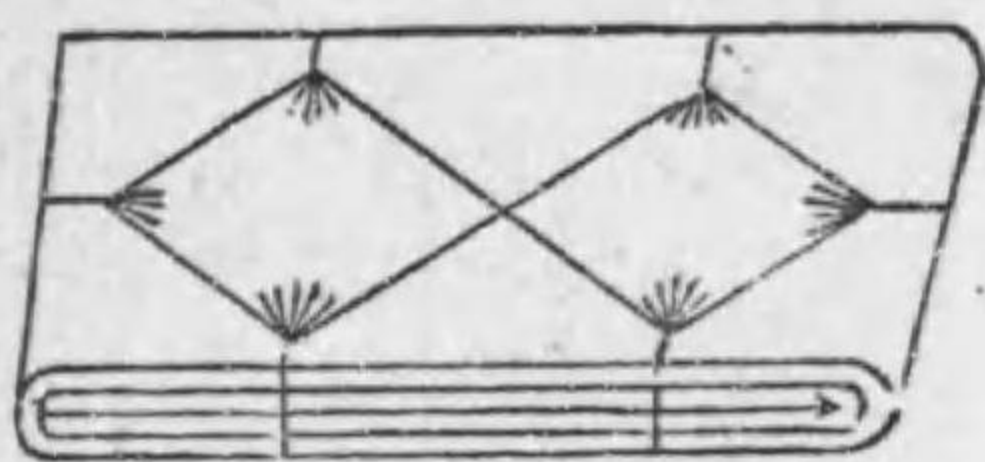
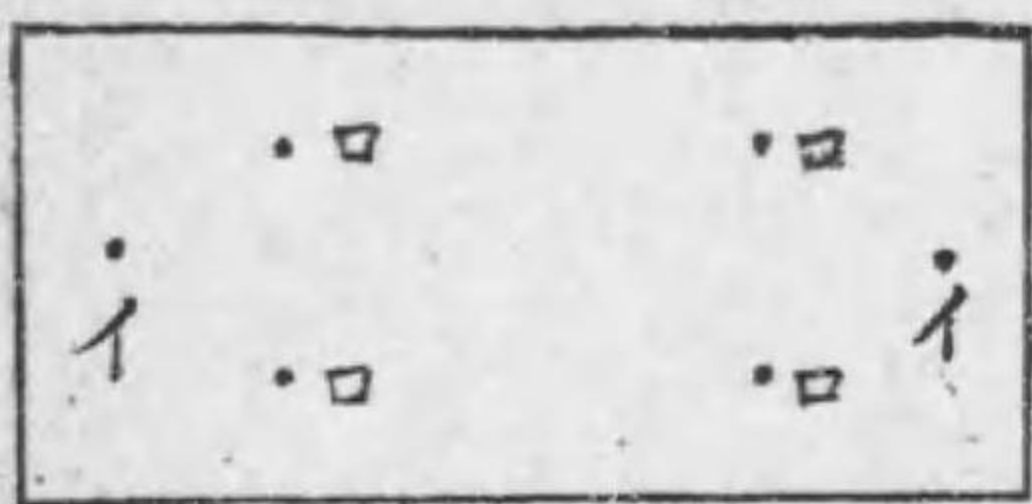
3、縫ひ方 真中七八寸を残して、標の通り縦を小針に刺し縫ひ又は一針抜きに縫ひ、両端は返し縫ひにして、角の處を縦横共に一寸程手前より二三厘ばかり縫ひ出し、何れも五厘の著せにて先づ横を折りて、其の縫ひ込みを縦の縫代に綴ちつけ、次に縦を折りて、烙鏝をかけ角を綴ち置くべし。

4、心拵へ及び心附 先づ心となすべき布の耳を平に裁ち落とし、次に帯幅に合せ、て廣き分を裁ち切るべし。又二枚心の時には、一枚は帯幅丈に、他の一枚は縫代の

折り返しだけをひきて裁ち落とし、二枚合せて綴ちつけおくべし。次に帯側を延ばして下に置き、上に心をのせ、稍々弛めにして(一尺につき凡そ一分幅の中央處々に縦に待針を折り、左右に開きて心のつりあひを検べ、後縫代のところ、心に綴ちつけ、次に心を向ふへ返して、真綿若しくは綿をひき、徐かに元の通り表の上に載せ、其の上にも、真綿をひき、四隅及び折り目の方處々に引絲をつけ、前に明け置きたるところより引き返して、能く角を整へおくべし。それより丈幅共に能く引き伸ばして、心を平になし、前にあけおきたる處を合せて、篋をかけ、細かに之を縦け、後縫代一分程の深さに全體に平篋をかくべし。

5、仕上げ 兩側共に全體に火熨斗又は烙鏝をかけて仕上げをなし、六つ若しくは八つに疊みて、紅白の色にて飾絲をかくべし。

飾絲のかけかたは、先づ兩端の折り目より一寸程づゝ内イ・イの處に標をなし、次に此のイ・イの間を四等分して、其の一部分の長さだけに、縦の兩側、端より凡そ七八分内の處四個處に口の標をなし、此のイ・イの標六處



を紅白の糸にて細結をなして留め、一寸程の長さに糸を切り、此の結び目にかけて  
圖の如く、飾糸をかくべし。

注意 帯の仕立の六ヶ敷處は、布の取扱ひ方と、心を弛むる加減と、兩端の角を巧に整ふ  
るにあり。さればこれを仕立つるに當りては、能く此の三點に注意すること  
肝要なり。

### 第十二章 本裁女袴

#### 第一 裁ち方、積り方(胴裏並に裾廻し)

表用布 本裁女單衣に同じ。

裏用布 胴裏丈 二丈一尺六寸二分 裾廻し丈 八尺六寸

裏の寸法は表の丈によりて定める。然れども縫ひ込みの多少によりて異なる。

左に女物單衣の時の裁ち切り寸法によりて、胴裏並に裾廻しの裁ち切り寸法を  
擧ぐべし。

普通裁ち切り寸法

袖 丈 一尺六寸

胴裏丈 二尺八寸三分

裾廻し 一尺二寸

衿裏丈 三尺九寸

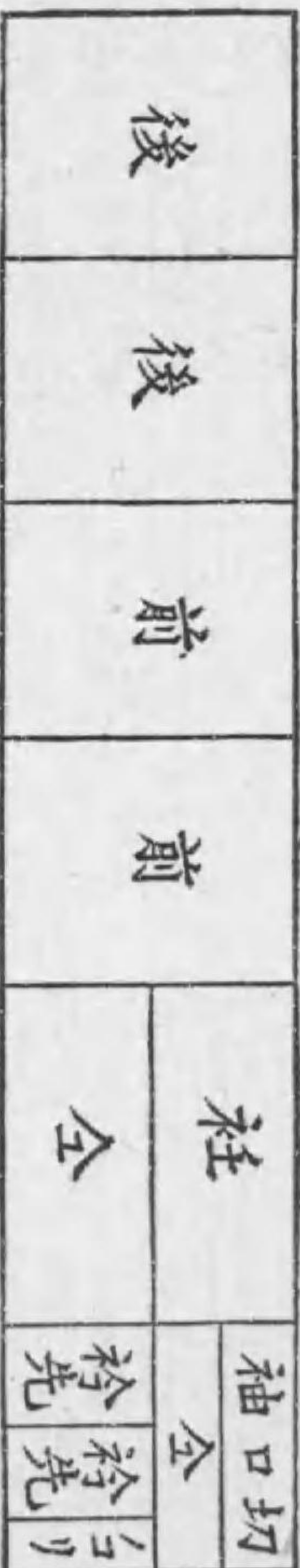
衿裾丈 二尺三寸

袖口切 一尺五寸

胴裏裁ち方の圖



裾廻し裁ち方の圖



注意 衿裁ち方にも積り方の算法は左に同じ。

表身丈 裾廻し丈 縫代 批  
 $39\text{寸} - 12\text{寸} + 1\text{寸} - 15\text{寸} \times 2 = 28.3\text{寸}$ ..... 胴裏丈  
 表衿丈 衿先 縫代  
 $47\text{寸} - 10\text{寸} + 2\text{寸} = 39\text{寸}$ ..... 衿裏丈

袖丈 胴裏丈  
 $(16寸 + 28.3寸) \times 4 + 39 = 216.2寸$ ..... 胴裏總丈  
 表身丈 胴裏丈 縫代 裾  
 $39寸 - 28.3寸 + 1寸 + 15寸 \times 2 = 12寸$ ..... 裾廻丈  
 裾廻丈 衿廻丈 袖口切  
 $12寸 \times 4 + 23寸 + 15寸 = 86寸$ ..... 裾廻し總丈

圖の方折裏胴



### 第二 本裁女袴(仕立方)

一、普通仕立上げ寸法  
 二、標附け方

一、表袖 二、裏袖(袖口掛とも) 三、表身頃 四、裏身頃 五、表裏の衿 六、衿  
 1、袖表袖の表を中にして一枚づつ折りて重ね、山丈口明の標をす。次ぎに裏袖も表袖の如くに折り袖口切れを幅一分出して載せ表よりも丈口明は一分ひかへて

標付けす。(但し幅附は袖口下を縫ひてよりすべし。)

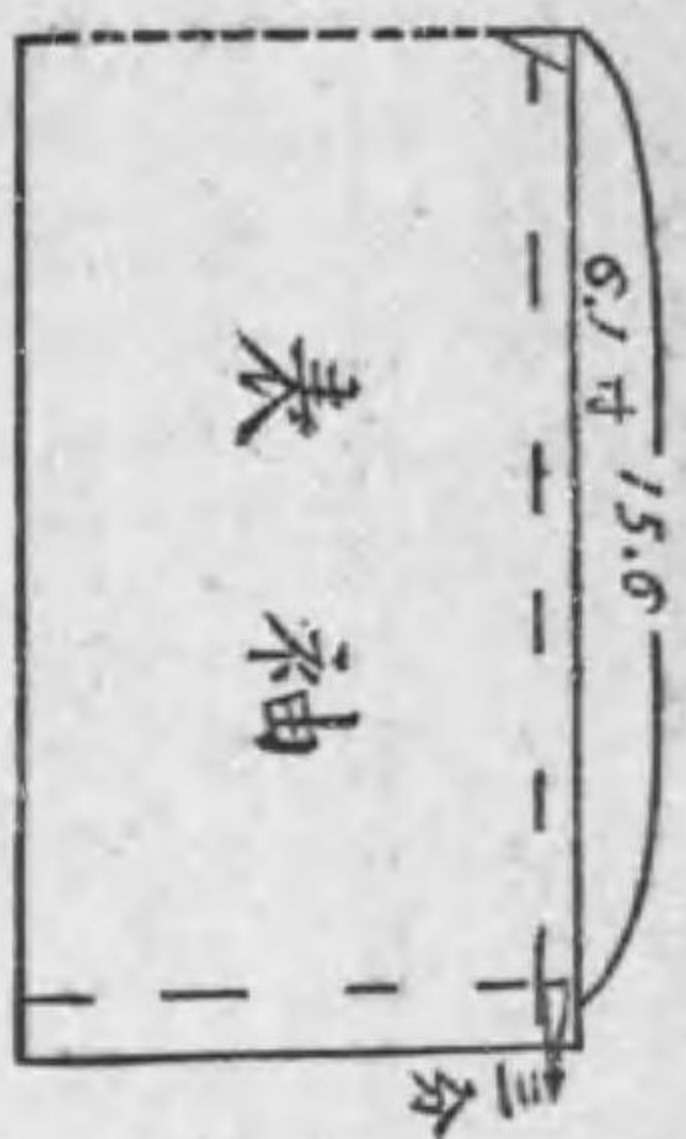
2、表身頃 全部單衣の時と同じ。

3、裏身頃 胴裏の表を合せて、衿肩より二つに折り、四枚揃へて下に置き、次ぎに裾廻しを四枚揃へて上に載せ、丈をはかりて(丈は表の丈に衿の二倍と胴接ぎの著せの分として一分を加ふ)胴接ぎの標を附け直ちに之をはぎて並の縫ひ込み(一寸位まで)のものは胴裏の方に返して隠し、襷をかけ、後表に準じて山丈袖附身八つ口後幅肩幅及び衿下り前幅抱幅衿附の標をなすべし。

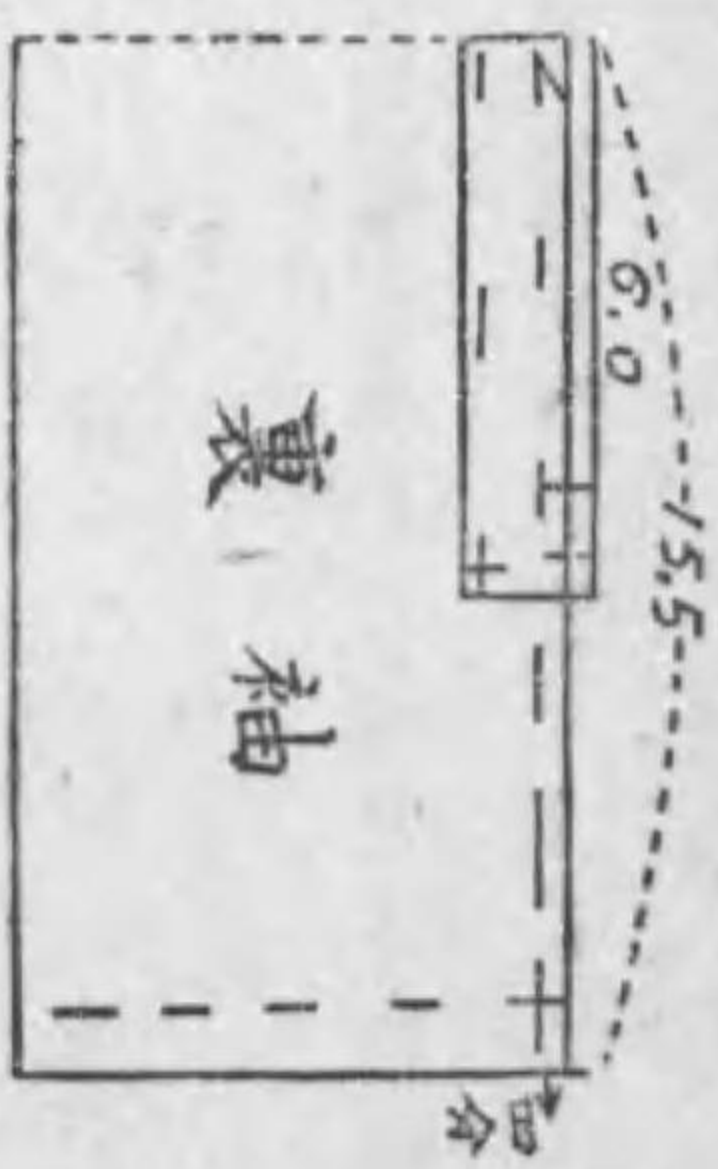
但し縫ひ込み多き時は裾廻の方に折をかける事。

4、衿 裏の衿先きをはぎ、折りは裏身頃の接ぎ合せと同じ方にかけて隠し、襷をなし、表を中にして二枚揃へて下に置き、上に表衿を衿の二倍ひきて置き、單衣の通り丈、衿下幅、合襷幅、衿付、衿附の標をつけ、次ぎに表を除きて裏裾に襷形を載せ、形の通りに標をつくべし。注意 (四番と衿先きは同じ方向に折り返すものとす。)

5、衿 裏衿に衿先の布をはぎ、裏身頃及衿の接ぎ合せと同じ方に折を掛けて、隠し襷をなし、單衣の通り表を中にして二つに折り、裏を下に表を上にして下に置き、山丈縫代の標をつくべし。

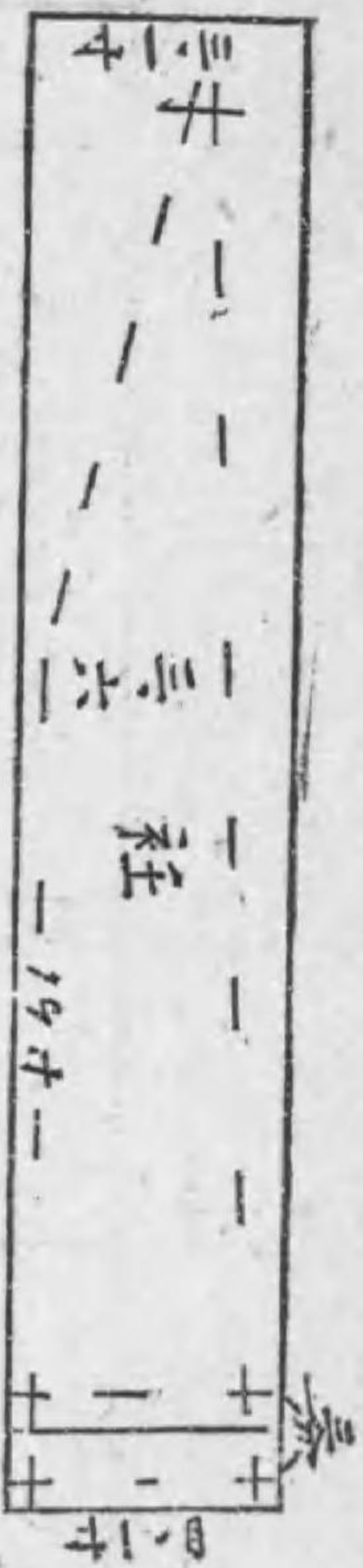
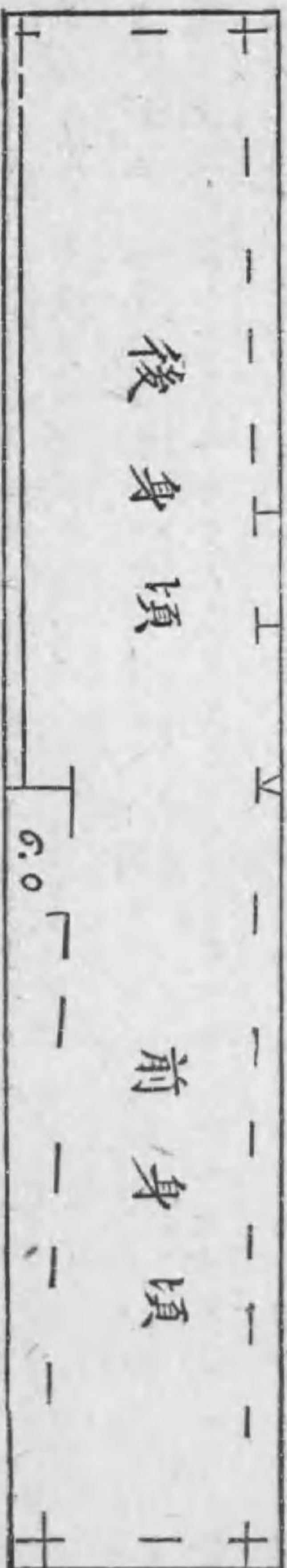
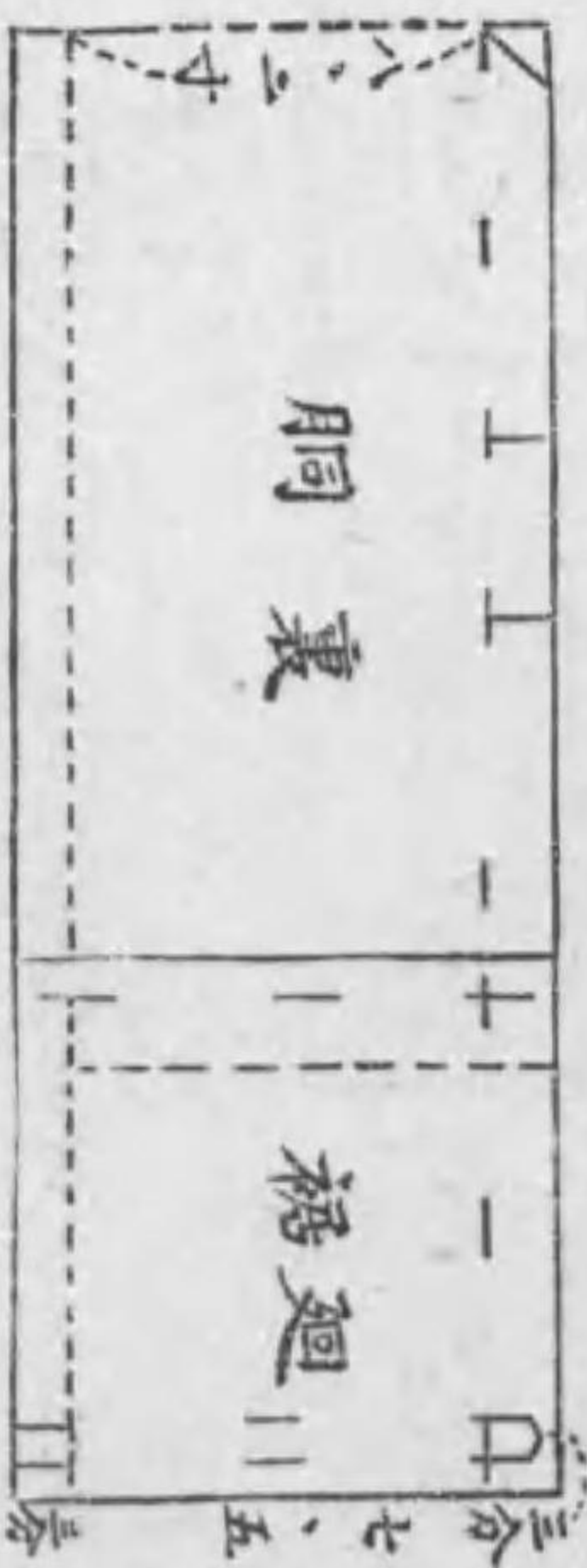


袖幅一分まします。



五尺

ハラ付けす。  
は袖下を縫ひて後  
但し袖附及び袖幅



三、縫ひ方順序

- 一、表裏の袖
- 二、表身頃及び衽
- 三、裏身頃及び衽
- 四、丈調べ
- 五、裾合せ
- 六、春脇の縦綴及び身入つ口
- 七、袖附
- 八、衽の縦綴及び衿下縫
- 九、衿附並に衿衿
- 一〇、横綴

第十三章 本裁男袴

表用布 本裁男物單衣に同じ。

### 第一 本裁男袴裏地裁ち方

男物は大方通し裏なれば只丈を襦すの二倍長くす。鉤かぎ衿の時は鉤の切り込み方を表と反対になす。

注意 裏の寸法は表に準じて定む。裏地の丈十分ある時は襦の二倍の外一二寸長くし揚あがりをし置くべし。是縫かへしの際破やぶれたる襦を切り取り得べき便あるが爲なり。

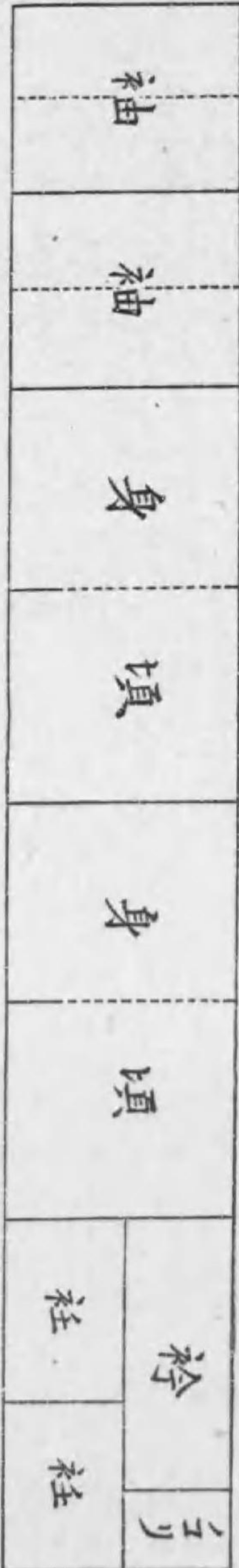
#### 男物裏棒衿の裁ち方



#### 男物裏棒衿衿山接ぎの裁ち方



#### 男物裏鉤衿の裁ち方



### 第二 本裁男袴仕立方

#### 一、普通仕立上げ寸法

本裁男単衣の仕立上寸法に同じ。但し襦は一分とす。

#### 二、標附け方

- 一、表袖 二、裏袖(袖口掛とも) 三、表身頃 四、裏身頃 五、表裏の衽 六、衽
- 1、袖 表袖の表を中にして一枚づゝ折りて重ね山丈口明の標をす。次ぎに裏袖の如くに折り袖口切れを幅一分出して載せ、表よりも丈口明は一分ひかへて標付けす。

但し幅人形は袖口下を縫ひてよりすべし。

- 2、表身頃 後前共に單衣の通り標をなすべし。

- 3、裏身頃 左右の身頃の表を中にして下に置き表の丈より衽の二倍を長くして裾口の方よりはかりて丈を定め残りは圖の如く肩にて揚の標をなし、後表に準じて標をつくべし。

但し裾廻しを附くる場合には、胴裏と接ぐところにて縫ひ込むこと女物に同じ。



- 4、衽衿共に女物袴に同じ。

三、縫ひ方順序

- 一、表裏の袖 二、表身頃及び揚 三、裏身頃及び揚 四、丈調べ 五、裾合せ 六、脊脇の縦綴 七、袖附 八、襷揚及び衽附 九、衿附並に衿新 一〇、横綴

第十四章 本裁女綿入

裁ち方積り方共に本裁女袴に同じ。

一、普通仕立上げ寸法

本裁女單衣仕立上げ寸法に同じ。

但し袖口衽一分五厘、裾衽二分五厘若しくは三分とす。

二、標附け方

- 一、表袖 二、裏袖(袖口掛とも) 三、表身頃 四、裏身頃 五、表裏の衽 六、衽

三、縫ひ方順序

- 一、表裏の袖 二、表身頃及び衽 三、裏身頃 四、後前の裾廻し 五、胴接ぎ 六、裏の衽 七、丈調べ 八、表裏の衿及び袖附 九、裾合せ 一〇、袖口及び八つ口の合

- み綿 一一、綿入れ 一二、裾の假綴 一三、袖口衿 一四、八つ口衿 一五、衿下衿
- 一六、衿綴及び衿衿 一七、縦綴 一八、横綴 一九、掛衿

### 第十五章 本裁男綿入

男綿入の裁ち方仕立上寸法標附け方等は男衿に同じく、只衽の寸法を一分五厘乃至二分となすのみなり。  
又その縫ひ方順序は女綿入の如く、表裏別々に縫ひ裾を合せ綿を入れ、袖口・衿下及び衿を衿け、縦横の綴ちをなし。上衿をかけ仕上げをなすべし。  
以上述ぶる所により、普通長着の種類を終りたれば左に其の普通仕立上げ寸法表を掲ぐ。

各種長着普通仕立上げ寸法表

各部の名稱	種類	
	丈	袖
一 つ 身	内 一尺二寸五分	外 一尺二寸五分
三 つ 身	内 一尺三寸五分	外 一尺三寸五分
四 つ 身	内 一尺四寸五分	外 一尺四寸五分
本裁女衿	内 一尺五寸五分	外 一尺五寸五分
本裁男衿	一尺四寸	一尺四寸

各部の名稱	種類	丈	袖
一 つ 身	内 一尺二寸五分	外 一尺二寸五分	内 一尺二寸五分
三 つ 身	内 一尺三寸五分	外 一尺三寸五分	内 一尺三寸五分
四 つ 身	内 一尺四寸五分	外 一尺四寸五分	内 一尺四寸五分
本裁女衿	内 一尺五寸五分	外 一尺五寸五分	内 一尺五寸五分
本裁男衿	一尺四寸	一尺四寸	一尺四寸

各部の名稱	種類	丈	袖
一 つ 身	内 一尺二寸五分	外 一尺二寸五分	内 一尺二寸五分
三 つ 身	内 一尺三寸五分	外 一尺三寸五分	内 一尺三寸五分
四 つ 身	内 一尺四寸五分	外 一尺四寸五分	内 一尺四寸五分
本裁女衿	内 一尺五寸五分	外 一尺五寸五分	内 一尺五寸五分
本裁男衿	一尺四寸	一尺四寸	一尺四寸



衿	襦		紐	衿幅	合襦幅
	綿入	裕			
いつばい	三分	二分	六寸五分 (肩より)	八分	三寸内外
いつばい	女三分 男二分五分	同上	七寸(同上)	一寸	いつばい
一尺四寸五分	同上	一分五厘	七寸五分 乃至八寸(同上)	一寸二分	三寸三分
一尺六寸五分	二分五厘	同上		廣衿三寸	三寸五分乃至 三寸七分
一尺七寸五分	二分	一分		一寸五六分	三寸六七分

筒袖仕立上げ寸法

各部の名稱	種類	種類			
		一	二	三	四
袖丈	五寸五分	六寸	六寸	六寸	六寸五分
袖口	三寸	三寸乃至三寸五分	三寸	三寸五分乃至四寸	三寸五分乃至四寸
袖附	四寸	四寸三分内外	四寸三分内外	四寸八分内外	四寸八分内外
袖幅	五寸五分	六寸五分内外	八寸	八寸	八寸内外

元祿袖仕立上げ寸法

各部の名稱	種類	種類			
		一	二	三	四
袖丈	六寸五分	七寸乃至七寸五分	七寸五分	八寸乃至八寸五分	八寸五分
袖口	三寸五分	三寸	三寸	四寸	四寸
袖附	四寸	四寸三分	四寸三分	四寸五分	四寸五分
袖幅	五寸五分	六寸五分	七寸五分	七寸五分内外	七寸五分内外
袂丸	幅三寸五分	幅三寸五分	幅三寸五分	幅三寸五分	幅三寸五分

子供物衿及び身丈の着丈寸法

部分	年齢	身丈		衿
		男	女	
身丈	一、二歳	一尺五寸	一尺四寸	女同
	三歳	一尺七寸	一尺六寸	男七寸五分 女同
	五歳	一尺九寸	一尺八寸	男七寸五分 女同
	七歳	二尺一寸	二尺	男七寸五分 女同
	九歳	二尺四寸	二尺三寸	男七寸五分 女同
	十一歳	二尺七寸	二尺六寸	男七寸五分 女同
	十三歳	三尺	二尺九寸	男七寸五分 女同
	十五歳	三尺三寸	三尺二寸	男七寸五分 女同
	十七歳	三尺五寸	三尺四寸	男七寸五分 女同
	十九歳	三尺六寸	三尺五寸	男七寸五分 女同
	一尺三寸	一尺四寸	一尺五寸	男七寸五分 女同
	一尺四寸	一尺五寸	一尺六寸	男七寸五分 女同
	一尺五寸	一尺六寸	一尺七寸	男七寸五分 女同
	一尺六寸	一尺七寸	一尺八寸	男七寸五分 女同
	一尺七寸	一尺八寸	一尺九寸	男七寸五分 女同
	一尺八寸	一尺九寸	二尺	男七寸五分 女同
	一尺九寸	二尺	二尺一寸	男七寸五分 女同
	二尺	二尺一寸	二尺二寸	男七寸五分 女同

右は大體の寸法を示したるものにして、大人子供共に着用者の身長、肥、瘠等によりて多少斟酌を要するものなれば、實際の場合に於ては、成る可く着用者に適切なる寸法によりて仕立つべし。殊に子供物の肩、腰、腰揚等の仕方は大に恰好の良否に關するものなれば是等の事にも亦十分なる注意を拂ふべきなり。

### 第十六章 片面物及び中幅大幅物にて小裁中裁本裁の裁ち方

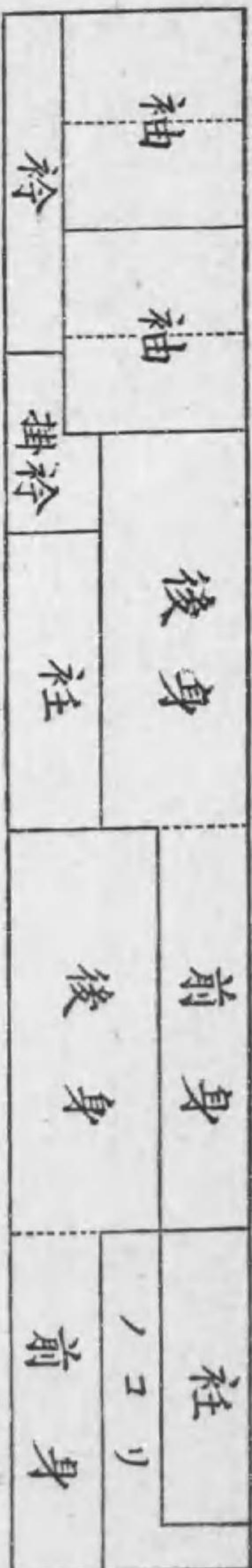
#### 第一 片面物にて三つ身の裁ち方

一、片面物長さ一丈三尺五寸幅九寸にて三つ身の裁ち方

裁ち切り寸法

袖丈	一尺三寸五分	袖幅	六寸五分	身丈	二尺七寸
後幅	五寸二分	前幅	三寸八分	衿幅	三寸八分
衿肩明	一寸四分	衿幅	二寸五分		

裁ち方の圖



積り方公式

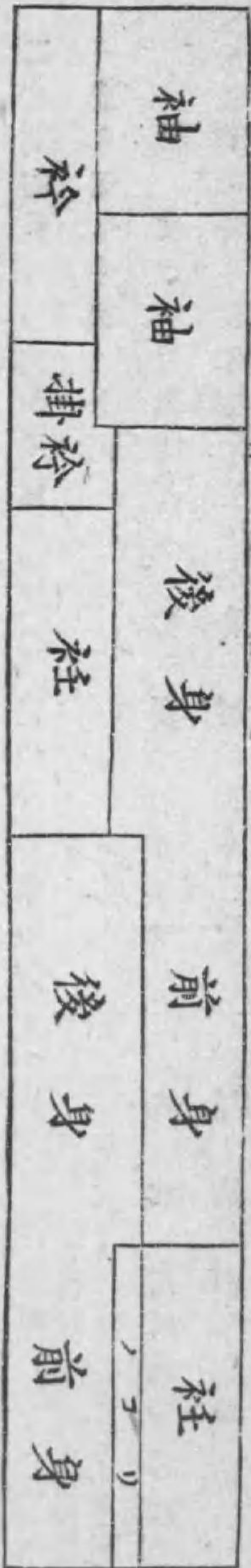
- 袖丈 × 4 + 身丈 × 3 = 總丈
- (總丈 - 袖丈 × 4) + 3 = 身丈
- (總丈 - 身丈 × 3) + 4 = 袖丈
- (布幅 + 衿肩明) + 2 = 後幅

二、片面物長さ一丈四尺幅一尺にて三つ身の裁ち方

裁ち切り寸法

袖丈	一尺四寸	袖幅	七寸五分	身丈	二尺八寸
後幅	五寸七分	前幅	四寸三分	衿幅	四寸三分
衿肩明	一寸四分	衿幅	二寸五分		

裁ち方の圖



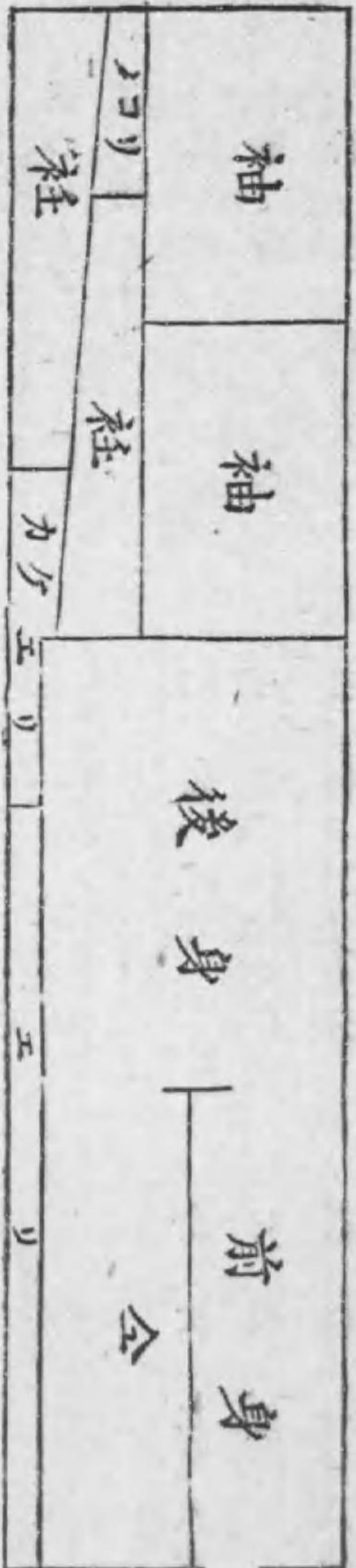
積り方は前題に同じ

第二 中幅物にて小裁中裁本裁の裁ち方

一、幅一尺一寸五分長さ七尺二寸の用布にて小裁元祿袖の裁ち方(二つ身相當)裁ち切り寸法

袖 丈	七寸	袖 幅	六寸	身 丈	二尺二寸
後 幅	九寸五分	前 幅	四寸七分五厘	衿 肩明	九分
衿 丈	二尺一寸	衿 幅	上下三寸 二寸五分	衿 丈	三尺九寸
衿 幅	二寸				

裁ち方の圖



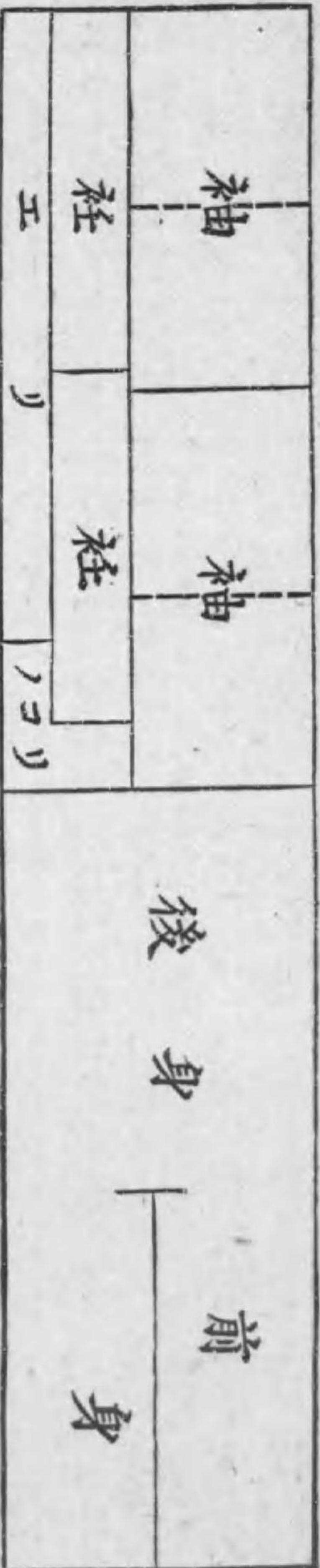
積り方公式

袖丈 × 4 + 身丈 × 2 = 總丈  
 (總丈 - 袖丈 × 4) ÷ 2 = 身丈  
 (總丈 - 身丈 × 2) ÷ 4 = 袖丈

二、幅一尺二寸長さ一丈一尺二寸の用布にて小裁の裁ち方(三つ身相當)裁ち切り寸法

袖 丈	一尺四寸	袖 幅	七寸	身 丈	二尺八寸
袖 肩明	一寸五分	衿 丈	二尺六寸	衿 幅	三寸三分
衿 丈	四尺八寸	衿 幅	一寸七分		

裁ち方の圖



積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  身丈  $\times 2 =$  總丈 (總丈 - 袖丈  $\times 4 + 2 =$  身丈 (總丈 - 身丈  $\times 2 + 4 =$  袖丈

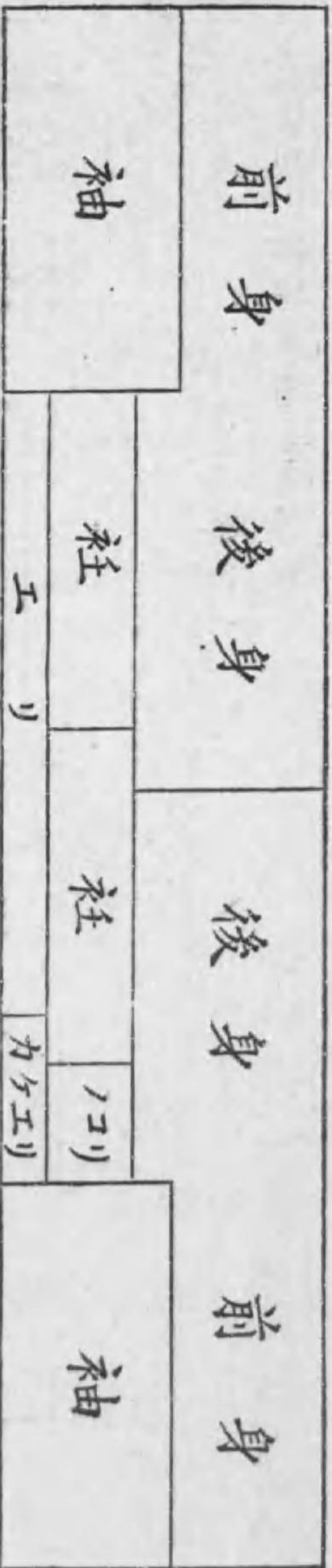
三丈幅共に前題と同じ用布を用ひて、身幅衿幅等を廣くなさんとせば左圖の如く

裁つべし。

裁ち切り寸法

- |    |      |     |      |    |      |
|----|------|-----|------|----|------|
| 袖丈 | 一尺四寸 | 袖幅  | 七寸   | 身丈 | 二尺八寸 |
| 後幅 | 六寸五分 | 衿肩明 | 一寸五分 | 前幅 | 五寸   |
| 衿丈 | 四尺八寸 | 衿幅  | 三寸七分 | 衿幅 | 一寸八分 |

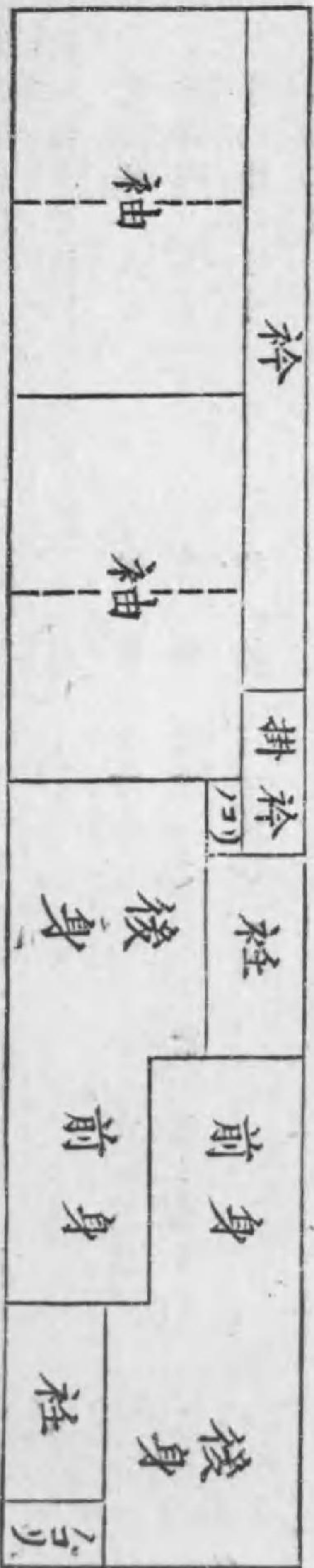
裁ち方の圖



四、幅一尺一寸五分長さ一丈六尺一寸の用布にて中裁の裁ち方(四つ身相當)

- |    |      |    |        |     |      |
|----|------|----|--------|-----|------|
| 袖丈 | 一尺七寸 | 袖幅 | 九寸     | 身丈  | 三尺一寸 |
| 後幅 | 七寸五分 | 前幅 | 五寸七分五厘 | 衿肩明 | 二寸   |
| 衿巾 | 四寸   | 衿丈 | 二尺九寸   | 衿幅  | 二寸五分 |
|    |      |    |        | 衿丈  | 五尺四寸 |

圖の方ち裁

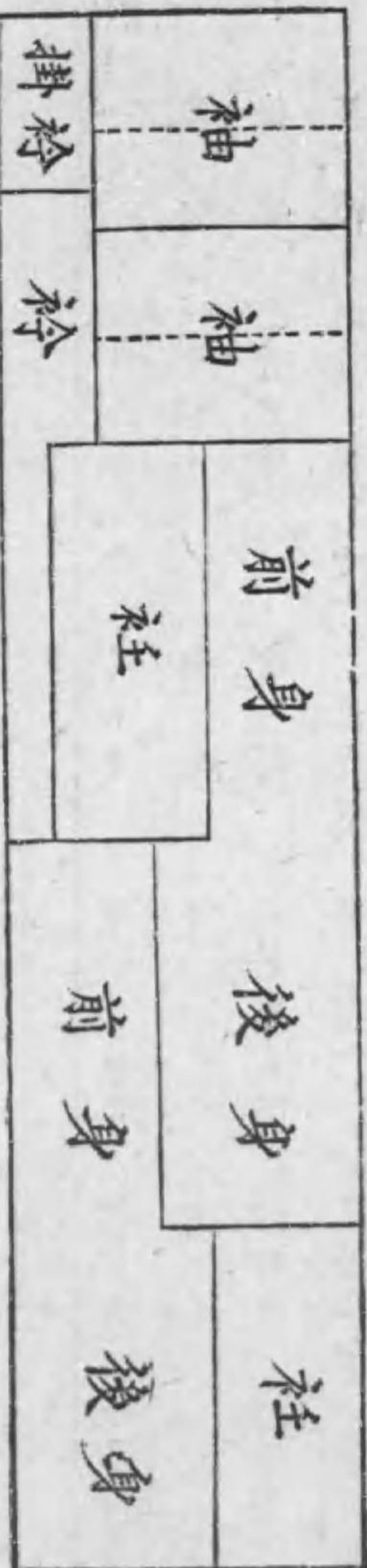


五、幅一尺二寸長さ一丈二尺六寸の片面物にて四つ身元祿袖の裁ち方

裁ち切り寸法

袖丈	九寸	袖幅	九寸	身丈	三尺
衿肩明	二寸	後幅	七寸	前幅	五寸
衿幅	五寸	衿幅	三寸及び二寸		

裁ち方の圖



積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  身丈  $\times 3 =$  總丈  
 (總丈 - 袖丈  $\times 4) + 3 =$  身丈

(總丈 - 身丈  $\times 3) + 4 =$  袖丈

六、幅一尺二寸長さ二丈三尺の用布にて本裁女物の裁ち方

裁ち切り寸法

袖丈	一尺七寸	袖幅	九寸五分	身丈	四尺五分
後幅	八寸五分	衿肩明	二寸五分	前幅	七寸三分
衿丈	三尺六寸	衿幅	四寸七分	衿丈	四尺八寸
衿幅	三寸五分				

裁ち方の圖



積り方公式

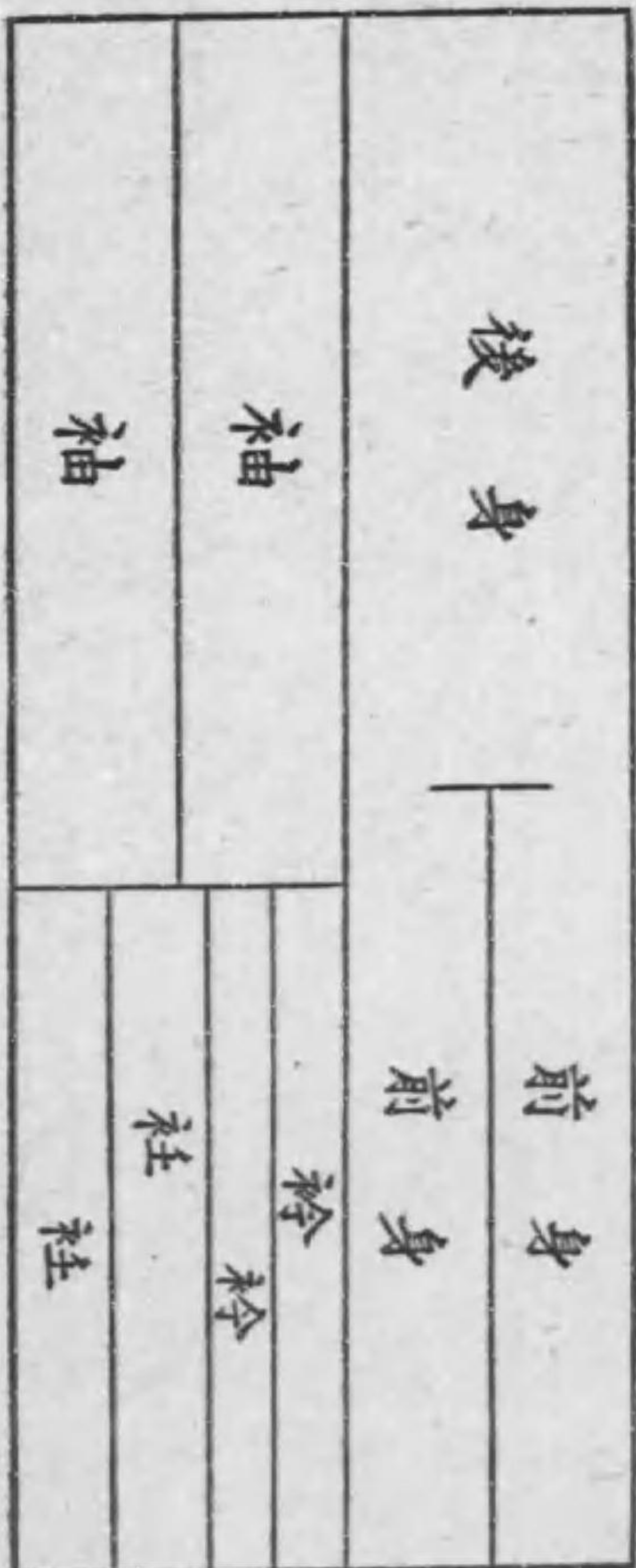


### 第三 大幅物にて小裁中裁本裁の裁ち方

一、幅二尺長さ四尺六寸の用布にて小裁の裁ち方(一つ身相當)  
裁ち切り寸法

袖丈	一尺二寸五分	袖幅	五寸五分	身幅	九寸
身丈	二尺三寸	衿丈	二尺一寸	衿幅	三寸八分
衿丈	四尺二寸	衿幅	一寸七分	衿肩明	九分

裁ち方の圖



### 積り方公式

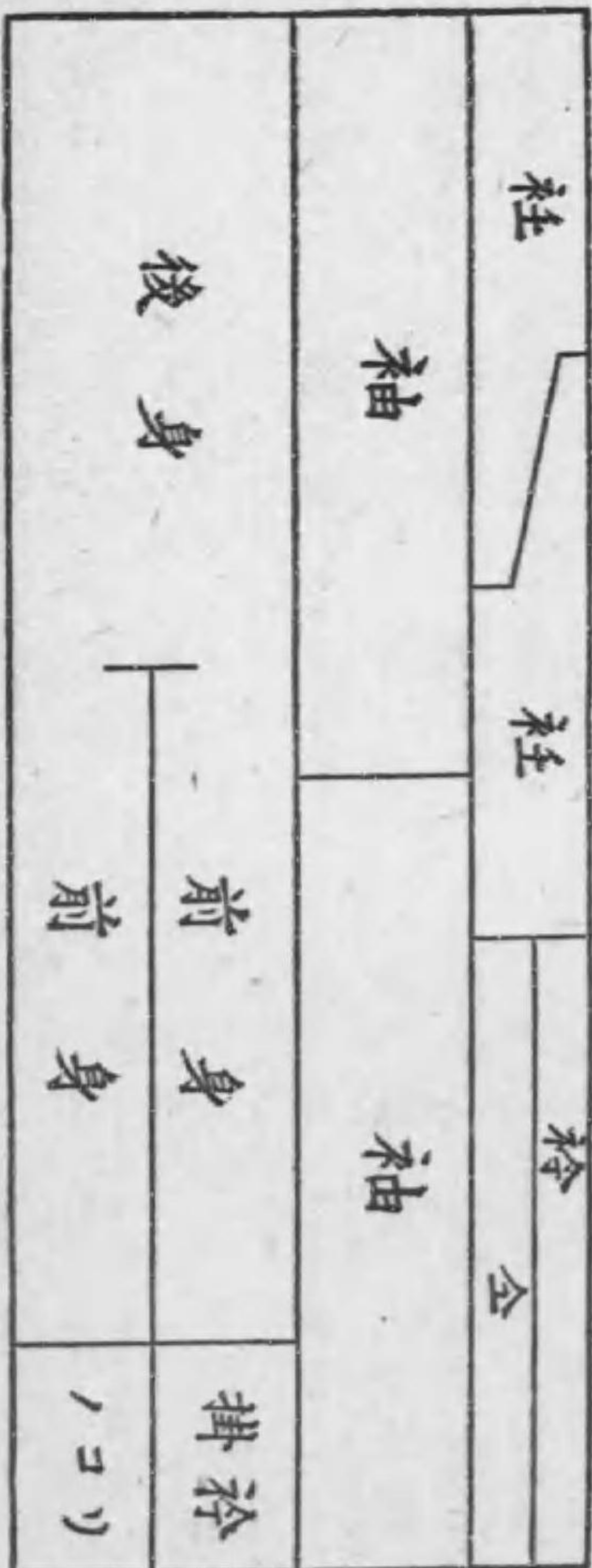
幅  $2 \times 2 = 4$  寸

二、幅二尺長さ五尺二寸の用布にて小裁の裁ち方(一つ身相當)

裁ち切り寸法

袖丈	一尺三寸	袖幅	六寸五分	身丈	二尺三寸五分
身幅	九寸五分	衿丈	二尺二寸五分	衿下	八寸五分
衿幅	四寸	衿丈	四尺二寸	掛衿幅	三寸
衿肩明	九分	衿幅	二寸		

裁ち方の圖



積り方公式

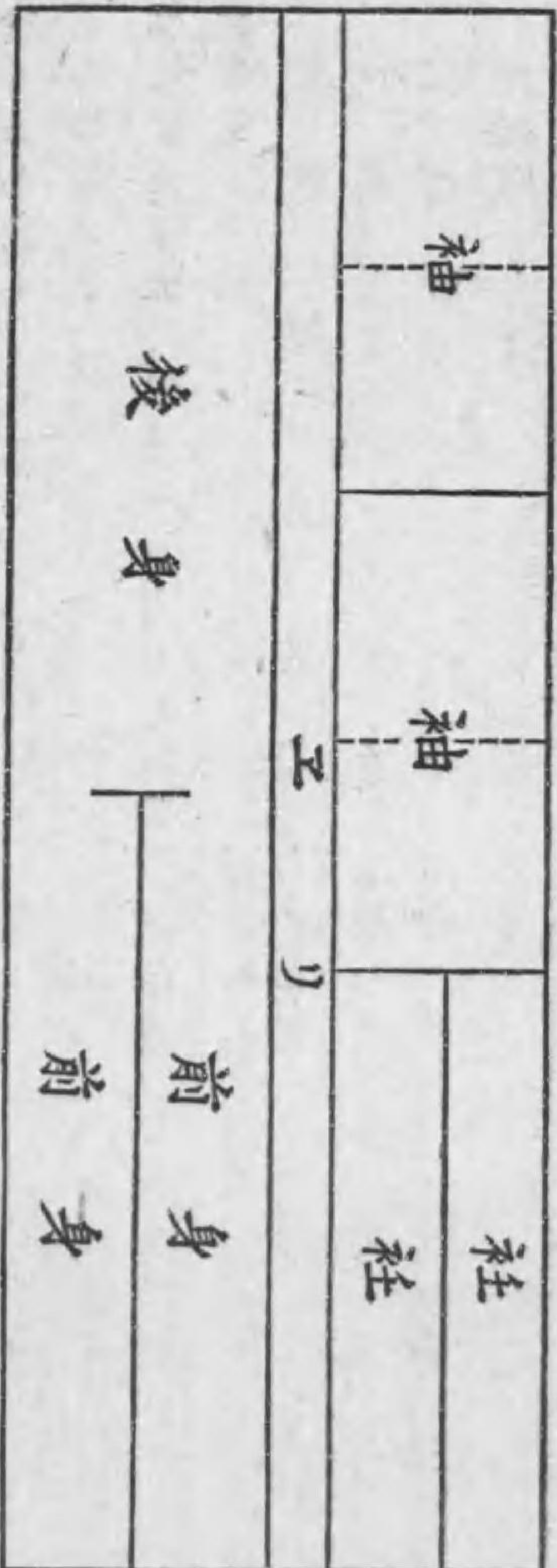
$$\text{身丈} \times 4 = \text{裁丈}$$

三、幅二尺長さ四尺八寸の用布にて小裁筒袖の裁ち方(二つ身相當)

裁ち切り寸法

袖丈	六寸五分	袖幅	七寸五分	身丈	二尺四寸
身幅	一尺	衿丈	二尺二寸	衿幅	三寸七分五厘
衿丈	いっばい	衿幅	二寸五分	衿肩明	九分

裁ち方の圖



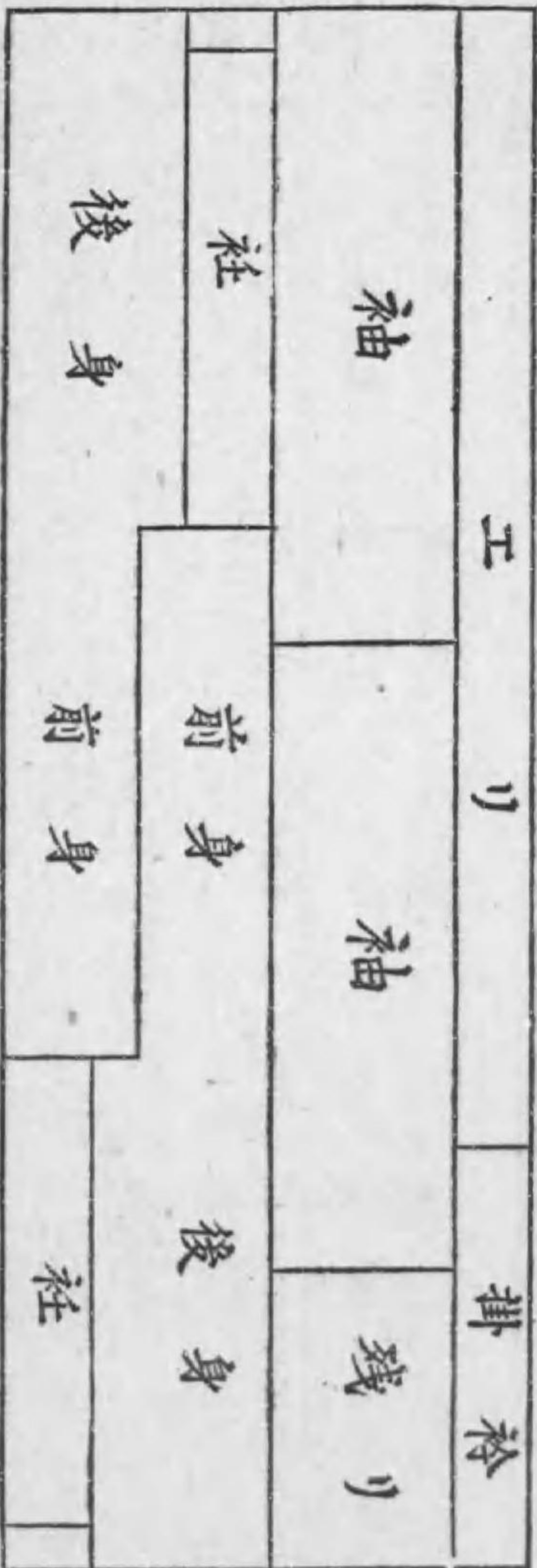
積り方公式 身丈 × 2 = 總丈

四、幅二尺長さ八尺一寸の用布にて小裁の裁ち方(三つ身相當)

裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸	袖幅	七寸三分	身丈	二尺七寸
後幅	六寸五分	前幅	五寸	衿丈	二尺五寸五分
衿幅	三寸五分	衿丈	四尺七寸	衿幅	二寸七分
衿肩明	一寸六分				

裁ち方の圖





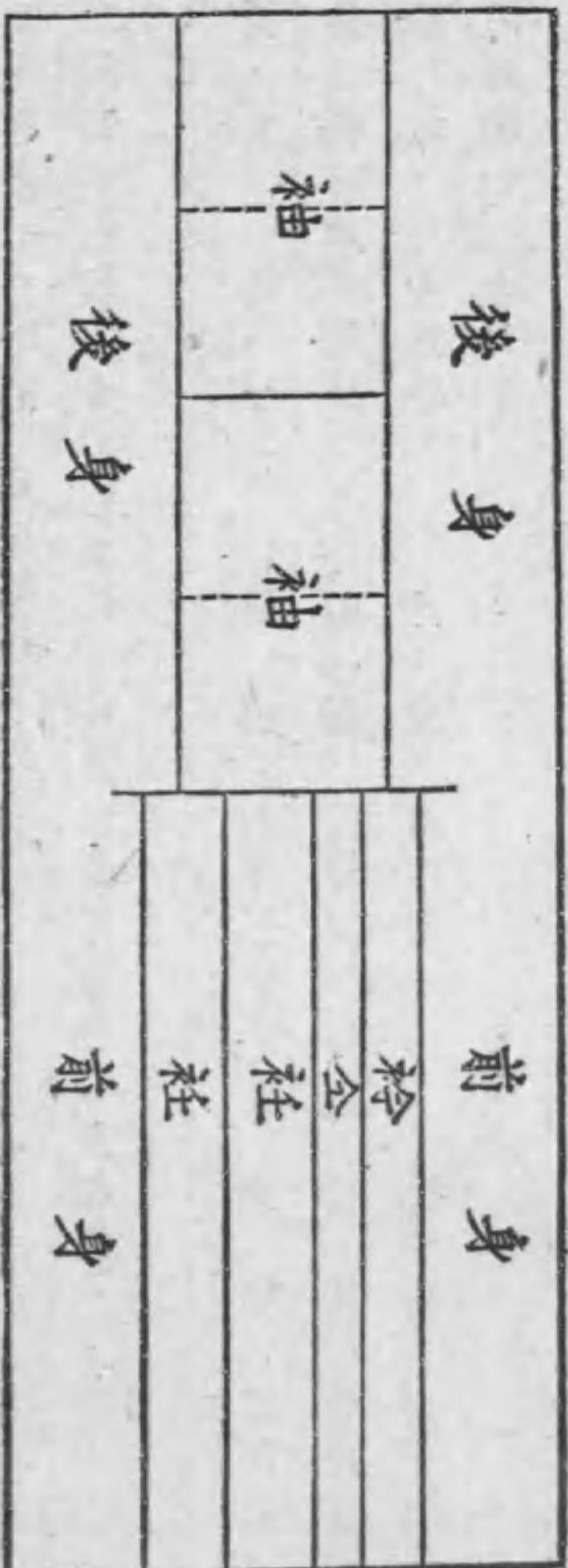
裁ち方公式 身丈 × 3 = 總丈

總丈 + 3 = 身丈

五幅二尺長さ五尺六寸の片面粉物にて小裁筒袖の裁ち方(三つ身相當)

裁ち切り寸法

袖丈	七寸	袖幅	七寸六分	身丈	二尺八寸
衿肩明	一寸四分 <small>外に一分切りに込む</small>	後幅	六寸二分	前幅	四寸八分
衿幅	三寸四分	衿袖	一寸八分		



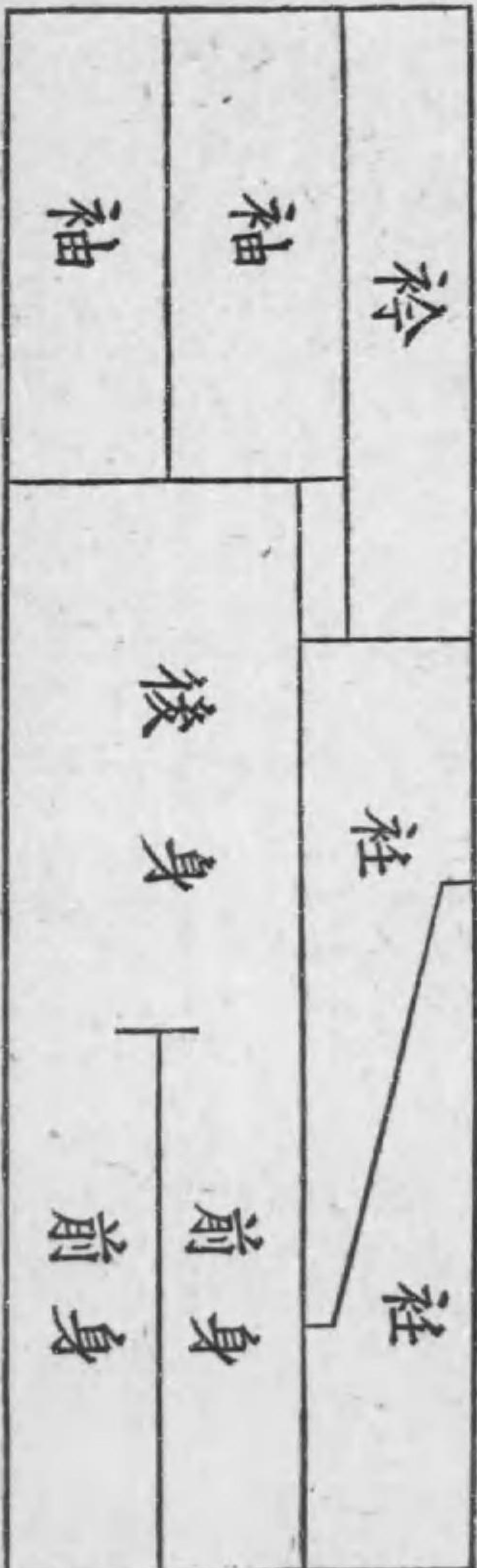
裁ち方公式 身丈 × 2 = 總丈

六袖一尺八寸五分長さ九尺三寸の用布にて中裁の裁ち方(四つ身相當)

裁ち切り寸法

袖丈	一尺六寸五分	袖幅	八寸二分	身丈	三尺
身幅	一尺四寸五分	衿丈	二尺八寸	衿袖	四寸
鈎下	一尺五寸	衿丈	いつばい	衿幅	二寸一分
衿肩明	一寸九分				

裁ち方の圖



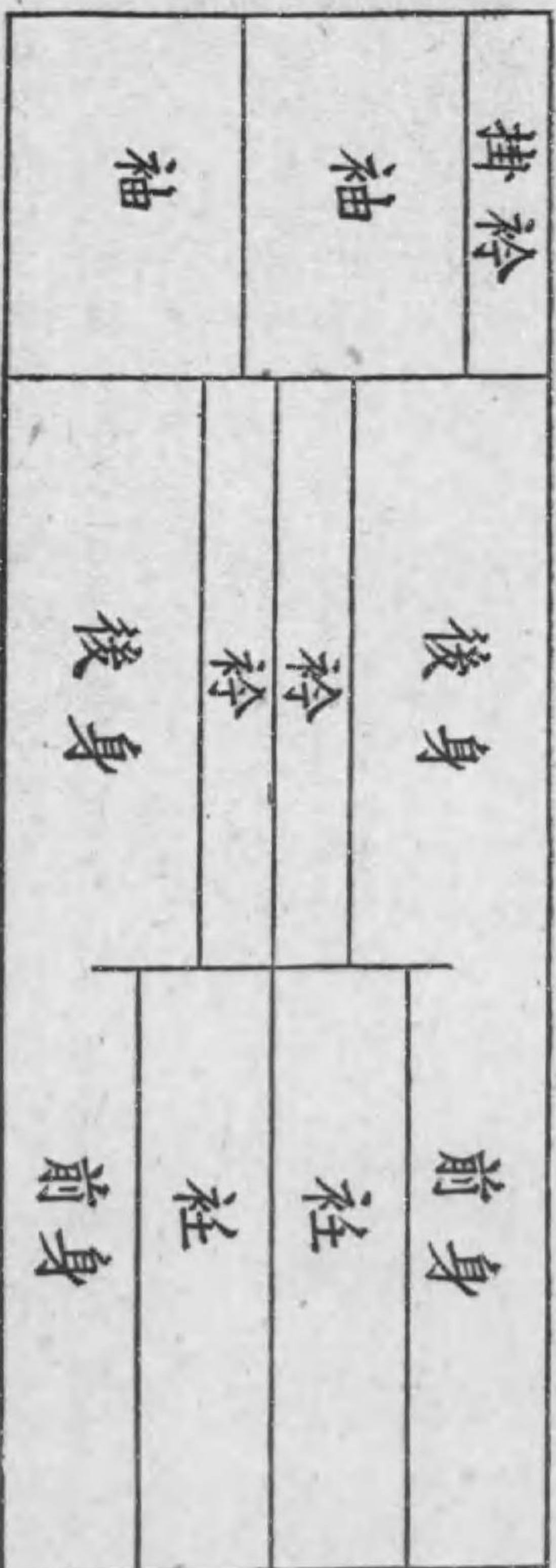
積り方公式

(袖丈 + 身丈) × 2 = ..... 總丈  
 (總丈 - 袖丈 × 2) + 2 = 身丈  
 (袖丈 - 身丈 × 2) + 2 = 袖丈

七幅二尺長さ八尺の用布にて中裁元祿袖の裁ち方(四つ身相當) 裁ち切り寸法

袖丈	九寸	袖幅	八寸七分	身丈	三尺一寸
衿肩明	二寸	後幅	七寸五分	前幅	五寸五分
衿幅	四寸五分	衿幅	二寸五分		

圖の方ち裁



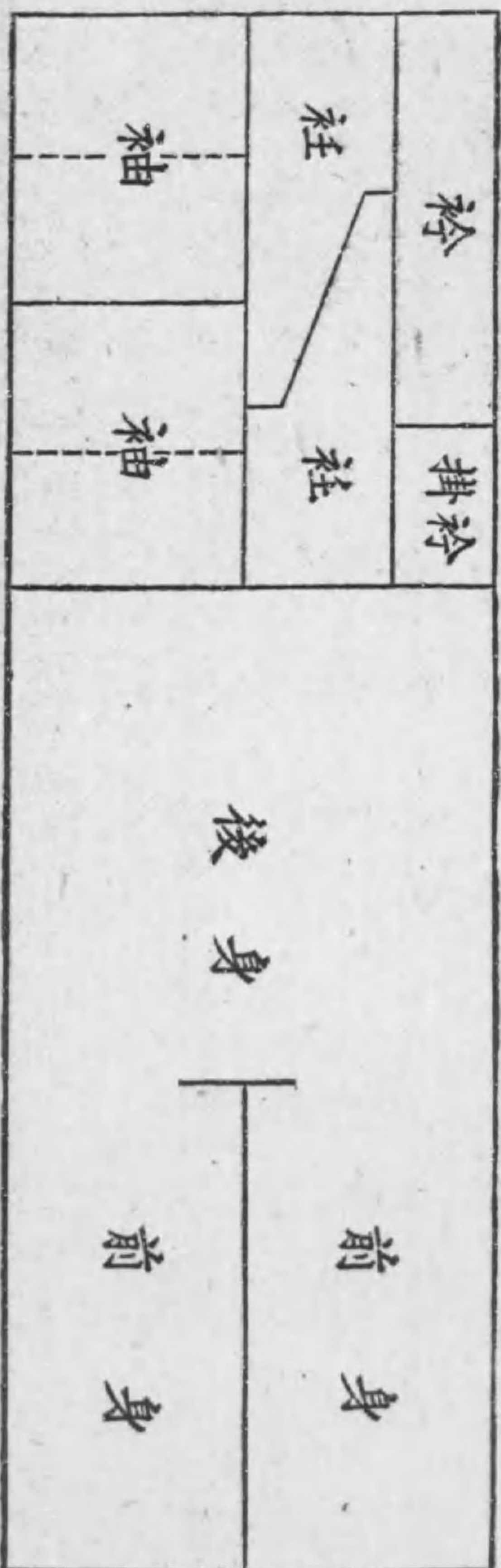
積り方公式

(袖丈 + 身丈) × 2 = 總丈  
 (總丈 - 袖丈 × 2) + 2 = 身丈  
 (總丈 - 身丈 × 2) + 2 = 袖丈

八幅一尺九寸長さ一丈四尺の用布にて本裁男物の裁ち方 裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸	袖幅	九寸五分	身丈	四尺
衿丈	三尺五寸五分	衿幅	四寸八分	衿下	二尺四寸五分
衿肩明	二寸五分	衿幅	四尺七寸	衿幅	四寸七分

圖の方ち裁



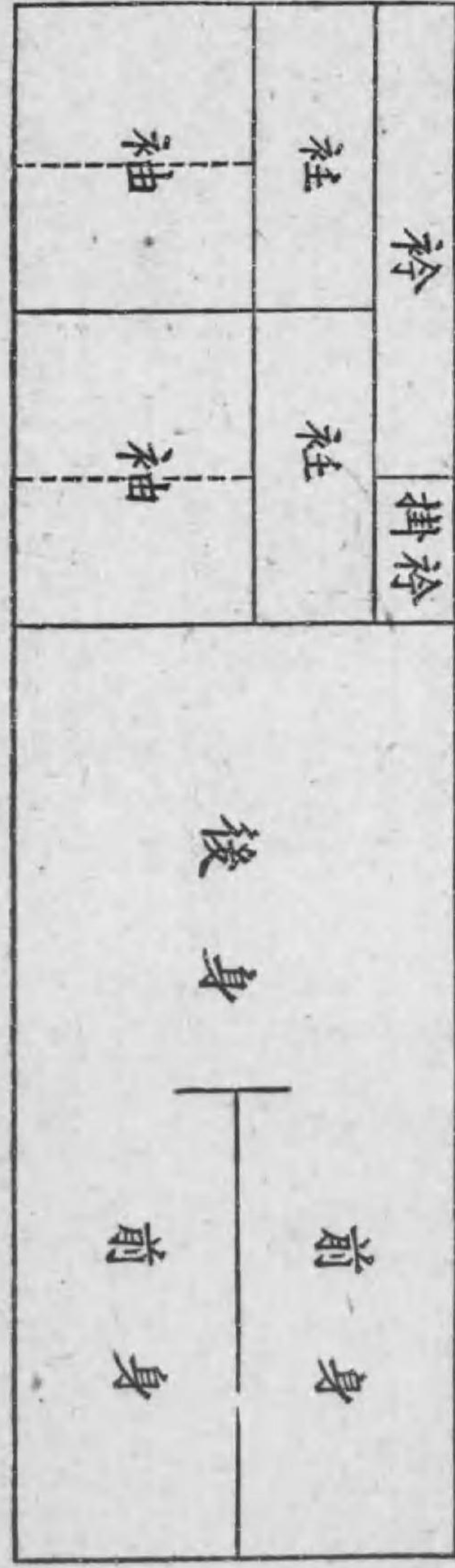
裁ち方公式

袖丈  $\times 4 + 身丈 \times 2 = 總丈$   
 (總丈 - 袖丈  $\times 4$ )  $\div 2 = 身丈$   
 (總丈 - 身丈  $\times 2$ )  $\div 4 = 袖丈$

九幅一尺七寸五分長さ一丈五尺の用布にて本裁女物の裁ち方  
 裁ち切り寸法

袖丈	一尺七寸五分	袖幅	九寸二分	身丈	四尺
衿丈	三尺五寸	衿幅	四寸七分	衿丈	四尺八寸
衿幅	三寸六分				

裁ち方図



第十七章 女袴

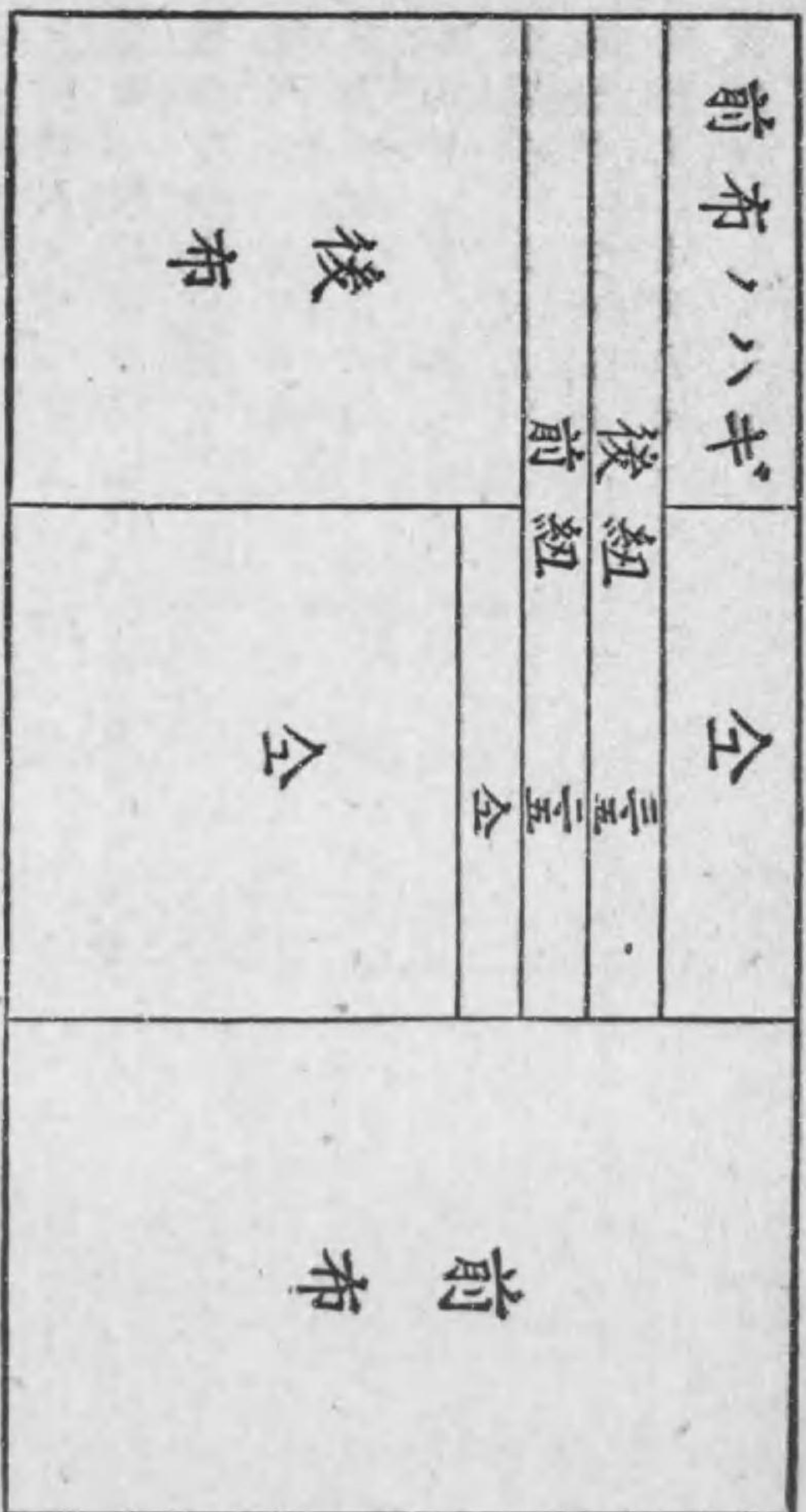
第一 大人女袴裁ち方積り方

一、三尺幅物にて女袴の裁ち方積り方

一、用布 幅三尺長さ七尺八寸(地質カシミヤ)  
 普通裁ち切り寸法

後布丈	二尺六寸
前布丈	二尺六寸
前布接ぎ幅	六寸
後紐丈	五尺二寸
後紐幅	三寸五分
前紐丈	七尺八寸
前紐幅	二寸五分

裁ち方の方圖



積り方公式

後布丈 × 3 = 用布

二、三尺幅物にて女袴の裁ち方積り方

一、用布幅二尺長さ一丈三尺

普通裁ち切り寸法

後布丈 二尺六寸

後紐丈 五尺二寸

前紐幅 三寸

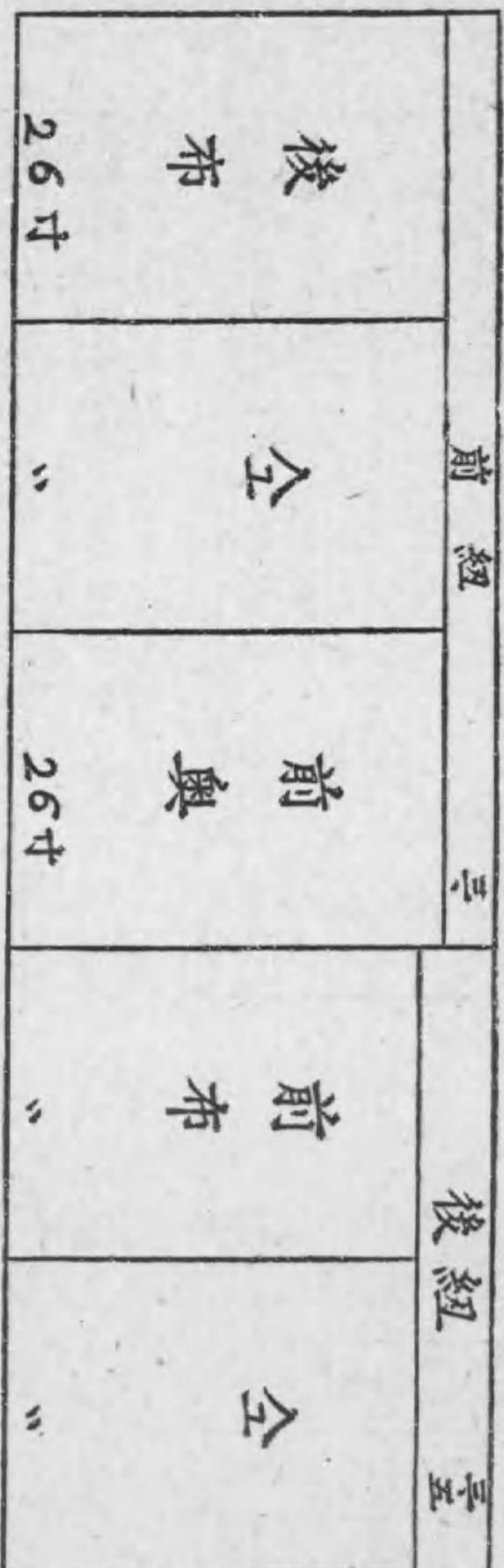
前布丈 二尺六寸

後紐幅 三寸五分

前 奥 二尺六寸

前紐丈 七尺八寸

裁ち方の圖



積り方公式

後布丈 × 5 = 用布

第十七章 女 袴

又用長の尺度を少くして、裁たんとせば、次ぎの如き裁ち方によるべし。

二、用布幅二尺長さ一丈一尺  
普通裁ち切り寸法

後布丈 二尺五寸

前布丈 二尺五寸

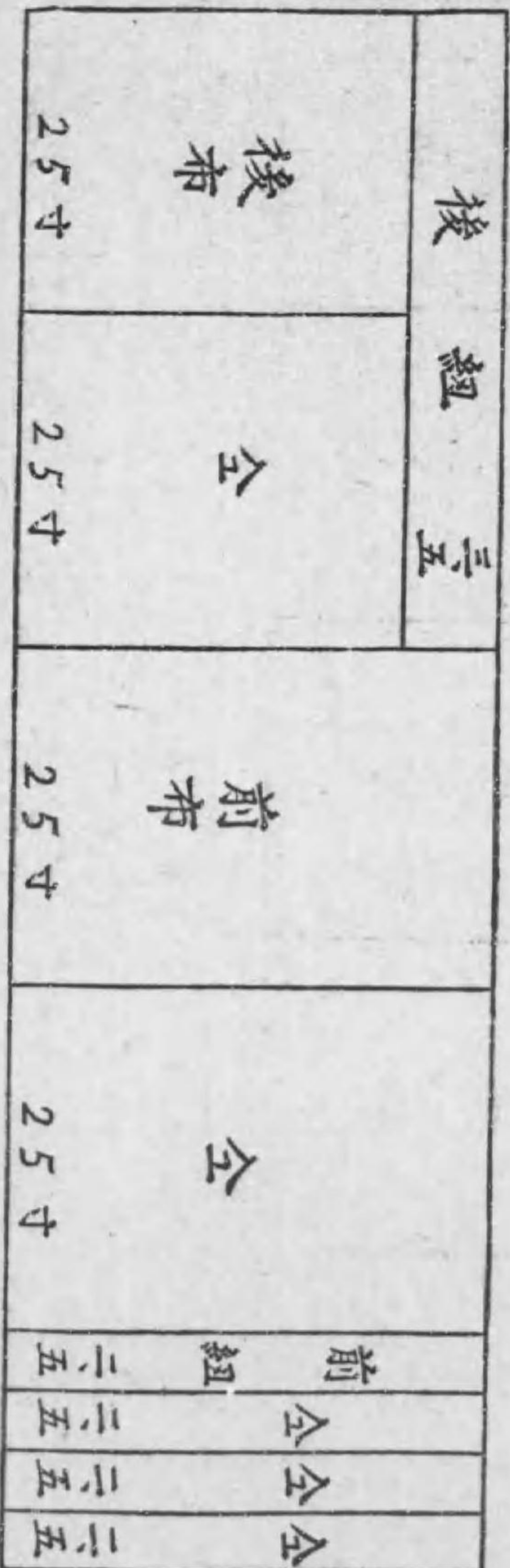
後紐丈 五尺

同 幅 三寸五分

前紐丈 八尺

同 幅 二寸五分

裁ち方の圖



積り方公式

後布丈 × 4 + 前紐幅 × 4 = 用布

### 三、女袴の裁ち方寸法割り出し方

女袴裁ち方の寸法は前に示したる如くなれども、尙便利の爲大凡の割出し方を述ぶべし。

丈即ち紐下 大人物は著物の著丈にコンマ七を乗じ、之れに上下の縫代凡一寸五分以上を加ふべし。

又子供物は著物の著丈にコンマ六乃至六半を乗じ、これに上下の縫代を加ふべし。

後の總幅 仕立上げの後幅の四倍に縫代を加ふ。

前の總幅 仕立上げの後幅の五倍に縫代を加ふ。

注意 すべて袴は製法の深きが恰好よきものなれば、用布の都合によりては、後前とも今少し廣くなすも可なり。但し後大紋腰のときは前の割合より狭くなすべし。

## 第二 大人女袴仕立方

### 一、普通仕立上げ寸法

二、後三つ袋

紐 下	二尺三寸	相 引	一尺六寸五分	幅	八寸
後脇幅	六寸	後腰幅	八寸	後笹襷幅	一寸五分
後寄せ襷幅	上二寸 下二寸	後の重	一寸	前脇幅	四寸八分
前腰幅	八寸五分	前笹襷幅	一寸二分	前寄せ襷幅	上八分 下一寸五分
懐の重	八分				

ろ、後大紋腰

大紋腰とは後を三つ襷にせずして、男袴の如く中央にのみ襷を取りたるものを云ふ。此の場合には後笹襷幅を一寸八分として後脇幅及び寄せ襷幅の寸法を除き、後幅八寸とし、他は總べて三つ襷の時の如くすべし。

二、標附け方

- 一、後布
- 二、前布

後前共に布の表を中にして各二枚づゝ合せ、裾口を右に、相引を手前にして下に置き前の寸法通り裾新丈相引丈の標を附くべし。

三、縫ひ方順序

- 一、後布縫ひ合せ
- 二、前布縫ひ合せ
- 三、後笹襷
- 四、相引
- 五、門留
- 六、後襷取

- 七、前襷取
- 八、前笹襷
- 九、紐紵
- 一〇、後紐附
- 一一、前紐附
- 一二、仕上げ

四、女袴仕立上げ寸法割出し方

1、後襷 先づ相引の方より後幅即ち八寸をはかりて標し置き、其の残りの布幅をはかり之れを二等分して、其の一を懐の襷、即ち二の襷の幅として、此の處に折り目の標をつけ、次ぎに相引より六寸をはかりて、一の襷の折りをつくべし。

但し左脚は重なるの分だけ減じて二の襷の折りをつく、又布の幅狭きものは、八寸を減きて二分したるものに五分、若しくは三分を加へて懐の襷の深さとするべし。

2、前襷 後襷の時と同じく相引より八寸をはかり、残りの幅を三等分して其の一を懐の襷、即ち三の襷の幅として此のところに折り目の標をつけ、次ぎに相引より四寸八分はかりて一の襷の折りをつけ、此の折り目と三の襷の折り目との中央を求め、之れを一の襷の方へ三分越したる處に二の襷の折り目をつく。

但し前の總幅割合に廣きものは、五分を加へずして中央を直ちに二の襷の折り山として可なり。

3、紐下 大人物は着物の着丈の七割とし、子供物は六割乃至六割半とす。

- 4、相引 紐下の三分の二に大人物は一吋加へ、子供物は五分加ふ。
- 5、後幅、大人物は着物の後幅に五分を加へ、子供物は單に着物の後幅と同寸とす。  
但し子供物にて後幅不明なる時は、紐下の三分の一に五分を加ふべし。
- 6、後脇幅 三つ襷の場合は後幅の四分の三とし、一つ襷の時は後幅の寸法とす。
- 7、後笹襷幅 三つ襷の時は後脇幅の四分の一とし、一つ襷のときは後幅の四分の一弱とす。
- 8、後腰幅 後幅と同寸か若しくは之れに五分以内加ふ。
- 9、後寄せ襷幅 上は後幅の八分の一、下は後幅の四分の一とす。
- 10、前脇幅 後幅の五分の三とす。
- 11、前笹襷幅 前脇幅の四分の一とす。
- 12、前腰幅 後腰幅に五分を加ふ。
- 13、前寄せ襷幅 上は後幅の十分の一、下は後幅の五分の一弱とす。

### 第十八章 小裁、中裁女袴

小裁中裁并に年齢によりて丈幅廣狹長短の別あり。左に是等各種の裁ち方及積

り方を述ふべし。

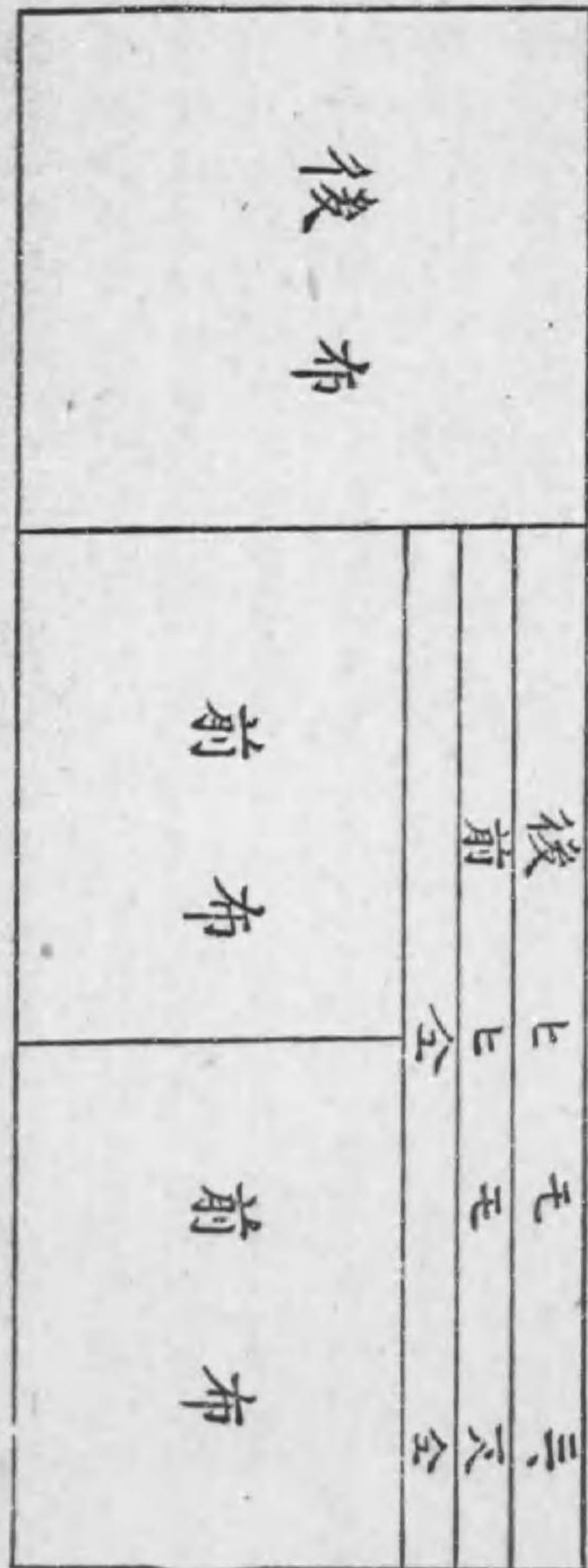
但し縫ひ方の順序方法は前に述べたる如く、何れも大人物に同じ。

#### 第一 小裁 女袴

一、用布 幅二尺長さ五尺一寸にて五六歳女兒用袴の裁ち方及び積り方  
普通裁ち切り寸法

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 後布丈 一尺七寸 | 前布丈 一尺七寸 | 後紐丈 三尺四寸 |
| 同幅 三寸    | 前紐丈 六尺   | 同幅 一寸八分  |

裁ち方の圖



積り方公式

後布丈×3=總丈

普通仕立上げ寸法

紐 下	一尺三寸五分	相 引	九寸五分	後 幅	五寸五分
後脇幅	四寸二分	後腰幅	六寸	後笹襷幅	一寸
後寄せ襷	上六分五厘 下一寸三分	後の重	八分	前脇幅	三寸二分
前腰幅	六寸五分	前笹襷	八分	前寄せ襷	上五分五厘 下一寸一分
懐の重	六分				

二、並幅長さ一丈三尺三寸の用布にて八九歳女兒用袴の裁ち方及積り方  
普通裁ち切り寸法

後布丈	一尺九寸	前布丈	一尺九寸	後紐丈	四尺
後紐幅	三寸六分	前紐丈	七尺二寸	同 幅	一寸八分

裁ち方の圖



積り方公式

後布丈×7=總丈

普通仕立上げ寸法

紐 下	一尺六寸五分	相 引	一尺一寸五分	後 幅	六寸
後脇幅	四寸五分	後腰幅	六寸五分	後笹襷	一寸一分
後寄せ襷	上七分五厘 下一寸五分	後の重	八分	前脇幅	三寸六分
前腰幅	七寸	前笹襷	九分	前寄せ襷	上六分 下一寸一分
懐の重	六分				

第二 中裁女袴

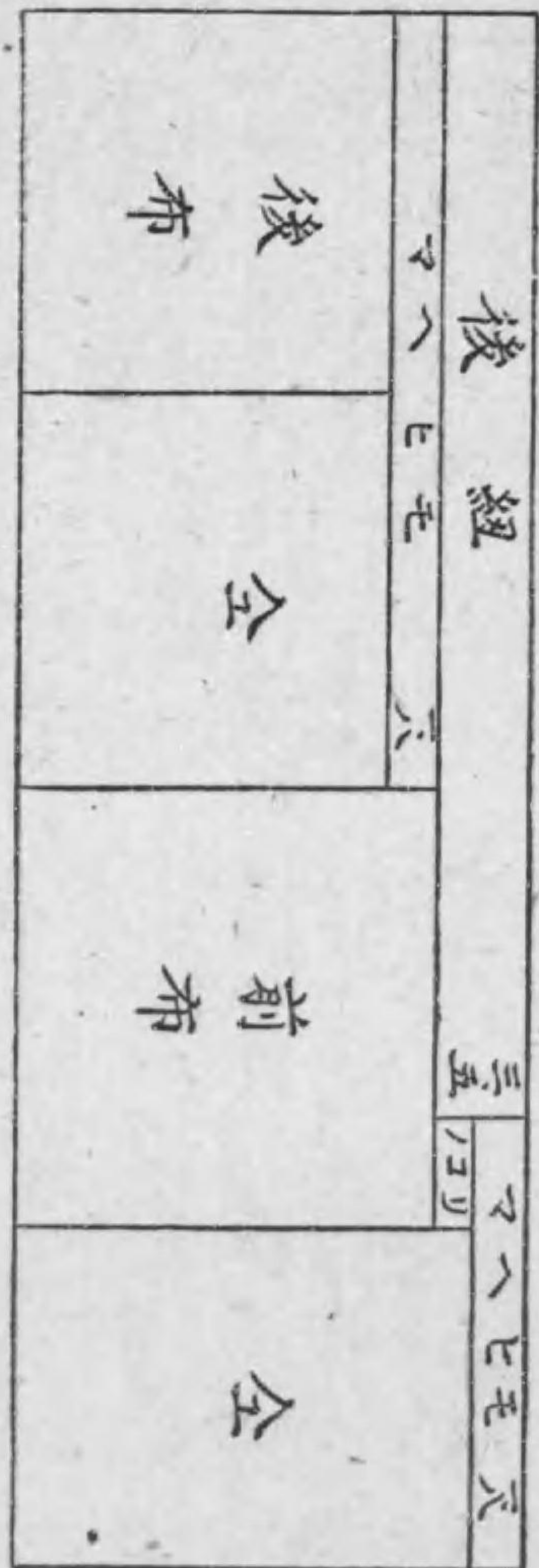
一、幅二尺長さ八尺四寸にて十一二歳用袴の裁ち方及び積り方



普通裁ち切り寸法

- 後布丈 二尺一寸
- 後紐幅 三寸五分
- 前布丈 二尺一寸
- 前紐丈 七尺四寸
- 後紐丈 四尺五寸
- 前紐幅 一寸八分

裁ち方の圖

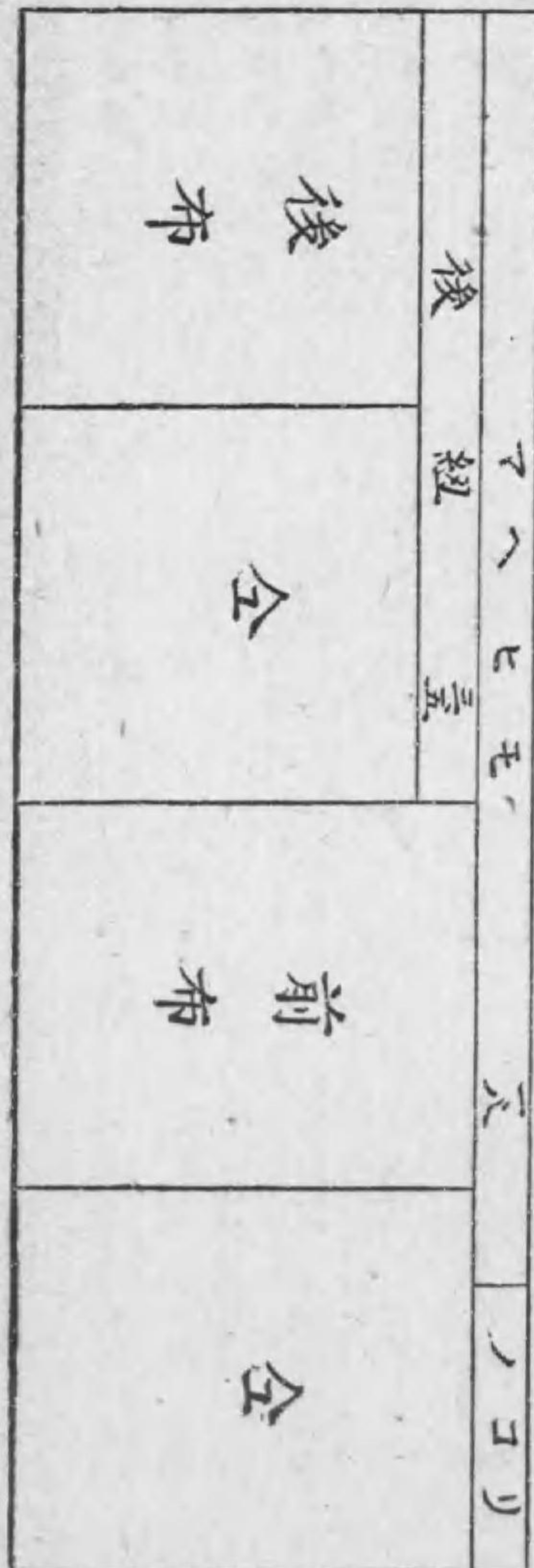


積り方公式 後布丈 × 4 = 總丈

普通仕立上げ寸法

- 紐 下 一尺八寸五分
- 相引 一尺三寸
- 後幅 六寸三分

圖の方ち裁



二幅二尺長さ九尺二寸にて十四五歳用袴の裁ち方及び積り方  
普通裁ち切り寸法

- 後脇幅 五寸
- 後寄せ襷 上八分五厘 下一寸七分
- 前腰幅 七寸五分
- 懐の重 七分
- 後腰幅 七寸
- 後の重 九分
- 前笹襷 一寸
- 後笹襷幅 一寸二分
- 前脇幅 四寸
- 前寄せ襷 上七分 下一寸三分
- 後布丈 二尺三寸
- 後紐幅 三寸五分
- 前布丈 二尺三寸
- 前紐丈 七尺八寸
- 後紐丈 四尺六寸
- 前紐幅 一寸八分

積り方公式

前題に同じ

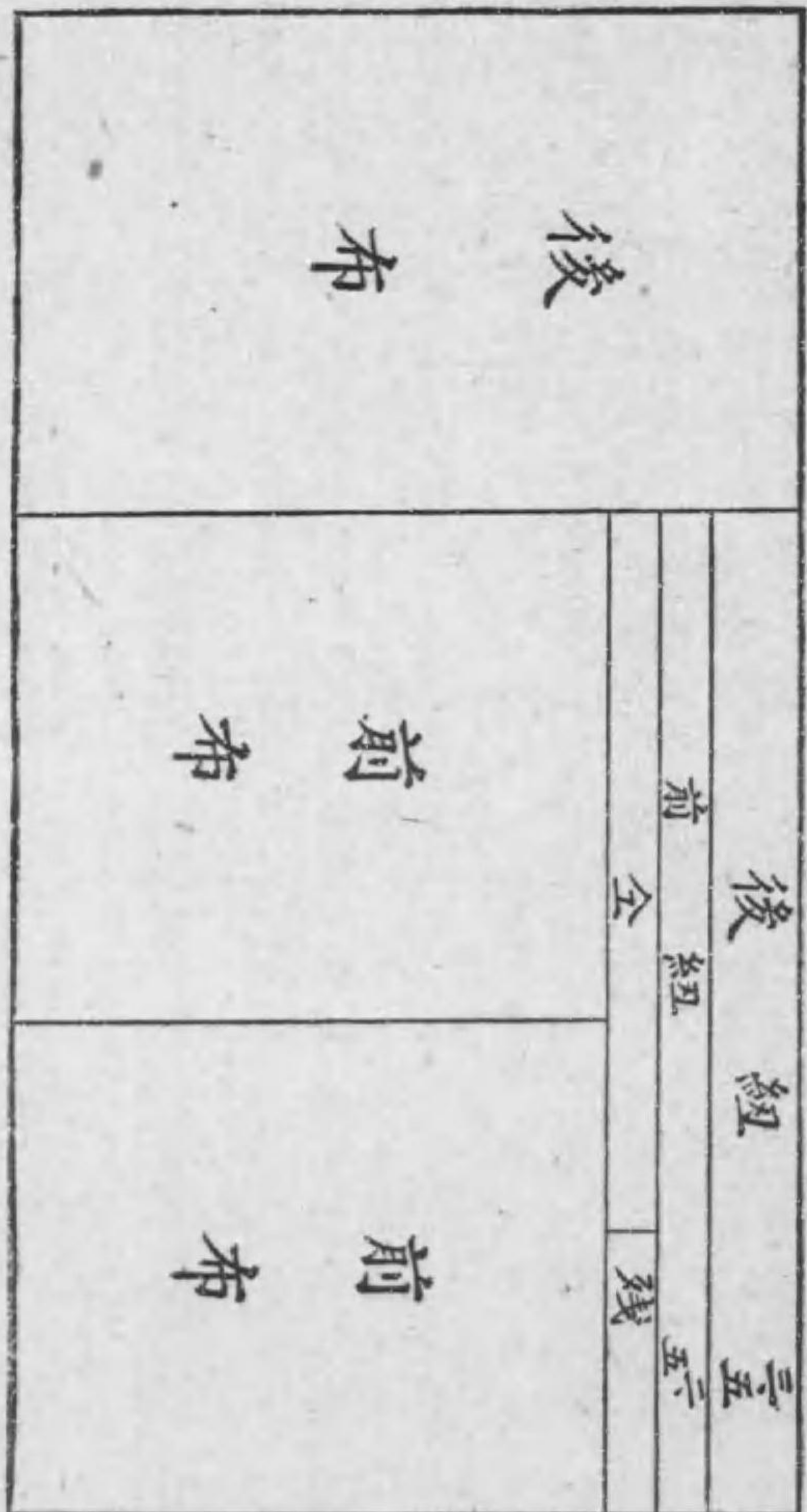
普通仕立上げ寸法

紐 下	二尺五分	相 引	一尺四寸五分	後 幅	七寸三分
後脇幅	五寸五分	後腰幅	七寸五分	後笹襷	一寸三分
後寄せ襷	上九分 下一寸八分	後の重	九分	前脇幅	四寸四分
前腰幅	八寸	前笹襷	一寸一分	前寄せ襷	上七分 下一寸三分五分厘
懐の重	七分				

三幅三尺長さ七尺二寸にて十五六歳用女袴の裁ち方及び積り方  
 普通裁ち切り寸法

後布丈	二尺四寸	前布丈	二尺四寸	後紐丈	四尺八寸
後紐幅	三寸五分	前紐丈	八尺	同 幅	二寸五分

裁ち方の図



積り方公式

後布丈 × 3 = 總丈

普通仕立上げ寸法

紐 下 二尺一寸

相 引 一尺五寸

後 幅 七寸五分

後脇幅 五寸七分  
後腰幅 七寸八分  
後寄せ襷 上九分 下一寸八分  
後の重 一寸  
前脇幅 四寸五分  
前腰幅 八寸三分  
前寄せ襷 上八分 下一寸四分  
懐の重 八分

第三 各種女袴普通仕立上げ寸法表

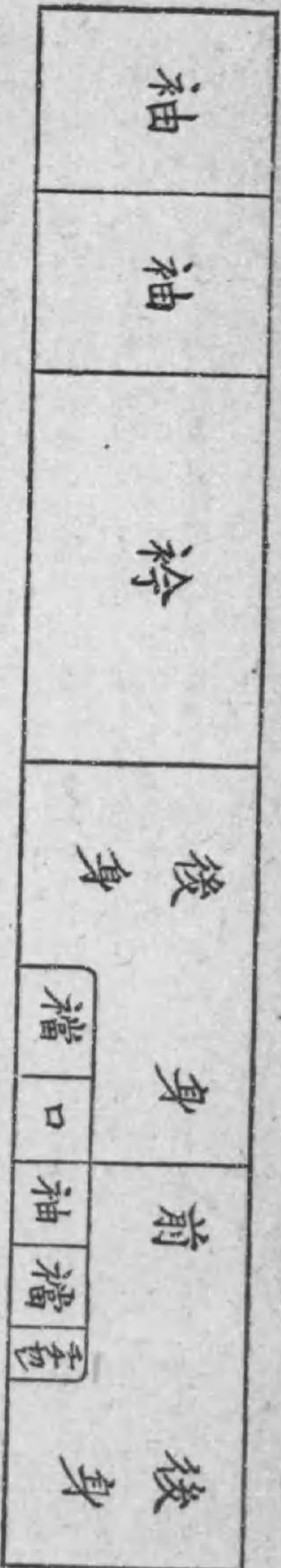
部分の名稱	年齢	
	紐下	相引
後脇幅	五寸七分	五寸五分
後腰幅	七寸八分	七寸五分
後寄せ襷	上九分 下一寸八分	上八分 下一寸四分
後の重	一寸	八分
前脇幅	四寸五分	四寸五分
前腰幅	八寸三分	八寸五分
前寄せ襷	上八分 下一寸四分	上七分 下一寸二分
前の重	八分	七分
前脇幅	三寸二分	三寸二分
後脇幅	五寸五分	五寸五分
後腰幅	七寸八分	七寸五分
後寄せ襷	上九分 下一寸八分	上八分 下一寸二分
後の重	一寸	八分
前脇幅	四寸五分	四寸五分
前腰幅	八寸三分	八寸五分
前寄せ襷	上八分 下一寸四分	上七分 下一寸二分
前の重	八分	七分
前脇幅	三寸二分	三寸二分
後脇幅	五寸五分	五寸五分
後腰幅	七寸八分	七寸五分
後寄せ襷	上九分 下一寸八分	上八分 下一寸二分
後の重	一寸	八分
前脇幅	四寸五分	四寸五分
前腰幅	八寸三分	八寸五分
前寄せ襷	上八分 下一寸四分	上七分 下一寸二分
前の重	八分	七分
前脇幅	三寸二分	三寸二分

前腰幅	六寸五分	七寸	七寸五分	八寸	八寸三分	八寸五分
前寄せ襷	上六分 下一寸一分	上七分 下一寸二分	上八分 下一寸三分	上九分 下一寸四分	上九分 下一寸五分	上九分 下一寸五分
懐の重	六分	七分	七分	七分	八分	八分
後紐丈	三尺三寸	四尺	四尺五寸	四尺六寸	四尺七寸	五尺以上
前紐丈	六尺	七尺	七尺五寸	七尺八寸	八尺	八尺内外

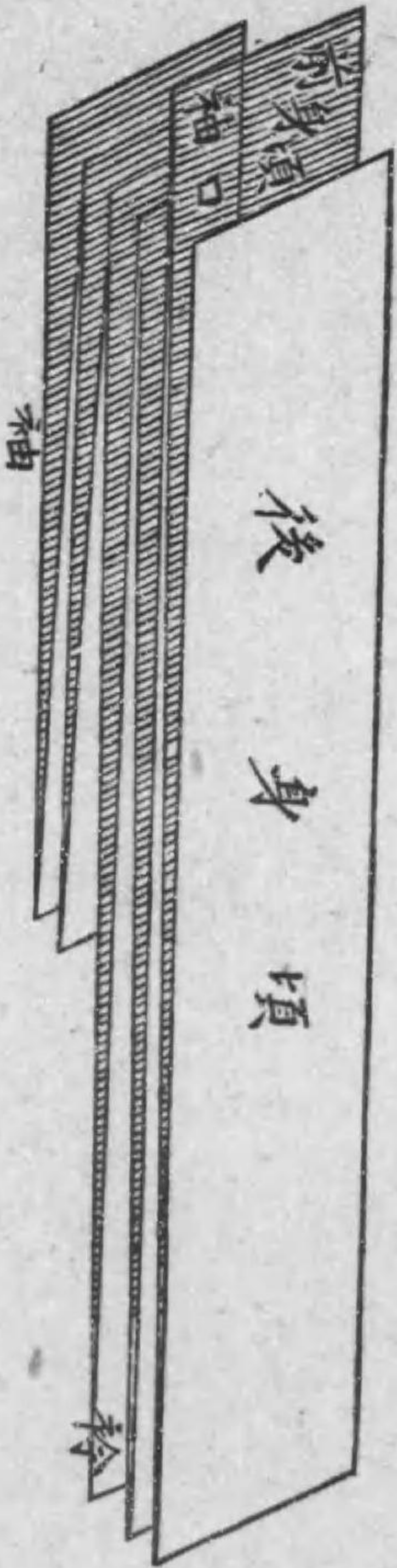
第十九章 本裁綿入羽織積り方

第一 本裁女綿入羽織

一、表用布 並幅二丈八尺二寸  
普通裁ち切り寸法  
袖丈 一尺六寸五分 衿丈 六尺二寸 後丈 三尺三寸五分  
前丈 四尺三寸五分 衿肩明 二寸七分の内四分 袖口丈 一尺五寸  
裁ち方圖



折り方圖



積り方公式

$$(\text{袖丈} + \text{後丈}) \times 4 + \text{衿丈} + \text{前後ノ差} \times 2 = \text{總丈}$$

$$\text{總丈} - (\text{袖丈} \times 4 + \text{衿丈} + \text{前後ノ差} \times 2) + 4 = \text{後丈}$$

$$\text{後丈} + \text{前後ノ差} = \text{前丈}$$

注意 前後の差は成可多くなすをよしとすれども、袖丈・身丈など長くして、後の折り返

し餘り少なきものは、八寸又は、五六寸とするも可なり。

一、衿丈を定むるには仕立上の身丈と、衿肩明と、前下りと、縫代(一寸以上)とを加へて、之を二倍すべし。又紋の附きたるものは良く其の位置に注意して裁つべし。

二、紋所紋の附け方には一つ紋三つ紋五つ紋の三種あり。其の太さは、時の流行によりて異れども、女物は八九分男物は一寸位を普通とす。左に其の位置を掲ぐ。

羽織紋所の位置

部分の名稱	種類	本	裁	前衿裁	四つ身に相當す	三つ身
脊紋下り		一寸七八分	衿肩の裁ち目より	一寸七分	同上	一寸六分 同上
袖紋下り		一寸八分乃至二寸	袖山より	一寸八分	同上	一寸六分 同上
抱紋下り		四寸	身頃山より	三寸五分	同上	三寸 同上

右の内脊紋は脊線の中央、袖紋は外袖幅の中央、抱紋は大人物ならば脊線より二寸五分即ち衿肩明を除きて残りの前幅の中央につく、三つ身及び前衿裁も之れに準

す。

三、裏用布並幅一丈二尺五寸二分

普通裁ち切り方法

袖丈 表と同寸

後丈 一尺八寸三分 前丈 一尺一寸三分

注意 右は次に述ぶる普通仕上げ寸法によりて、裏地の各部寸法を定めたるものなれど、若し表地の總尺及び仕立上寸法異なるときは、従つて裏地寸法も異なるものなれば、其寸法は總て着用者寸法の如何によりて定むるものと知るべし。

裏の裁方



積り方

袖丈

$1.6.5 \times 4 = 6 R 6 \dots \dots \dots$ 裏袖丈

$33.5 - (25 + 4) = 8.1 \dots \dots \dots$ 表後身の折り返し

但し 25 = 身丈

4 = 衿肩縫代及び後へ繰り越の分

$25.4 - 81 = 17.3 \dots \dots \dots$ 後胴裏の丈

$43.5 - (25.4 + 15) = 16.6 \dots \dots \dots$ 表前身折り返し

但し 15 = 前下り

$25.4 + 15 - 16.6 = 103 \dots \dots \dots$ 前胴裏の丈

$66 + (17.3 + 103) \times 2 + 4 = 125.2 \dots \dots \dots$ 裏地總丈

但し 4 = 胴の縫代

二、普通仕上寸法

袖丈 一尺五寸七分 上着と同寸又は一分長く丸は時の流行により隨意

袖附 六寸六分 長着より二分多く附る

身丈 二尺五寸 身八つ口 至二寸三分乃

衿肩明 二寸五分 長着より二分長く 後幅 七寸五分

前幅 四寸八分 紐附 八寸肩より

衿幅 一寸七分 新 一尺六寸六分

三、縫方順序

袖口明 六寸乃至六寸五分

袖幅 八寸六七分 長着より二分長く

前下り 一寸

肩幅 八寸

襷袖 上下一寸七分

い、八つ口を縫ふ時の仕方

- 一、表裏の袖及び八つ口縫
- 二、後前丈の胴接ぎ
- 三、脊縫
- 四、前下り
- 五、後前襦及び身八つ口
- 六、表裏の袖附
- 七、袖口の含み綿
- 八、綿入れ
- 九、裾口及び袖附の假綴
- 一〇、袖口新
- 一一、紐附け
- 一二、衿附及衿新
- 一三、脊及び襦の縦綴
- 一四、衿附の躰
- 一五、仕上

### 第二 本裁男綿入羽織 裁ち方

一、普通裁ち切り寸法

袖 丈	一尺五寸	衿 丈	六尺四寸	前 丈	四尺四寸五分
後 丈	三尺四寸五分	衿肩明	二寸七分	袖口切	一尺七八寸
		内四分廻し			

二、裏用布

裁切り寸法

袖 丈	一尺五寸	後 丈	一尺九寸三分	前 丈	一尺二寸三分
-----	------	-----	--------	-----	--------

此の他裁ち方折り方積り方算法は表裏共に總て前の女物綿入羽織に同じ。

### 第三 本裁男綿入羽織

一、普通仕立上げ寸法

袖 丈	一尺四寸二三分	袖 幅	八寸八分	袖 口	七寸五分
袖 附	全體	衿 幅	乃至九寸二分	身 丈	二尺六七寸
前下り	一寸	衿肩明	二寸五分	後 幅	八寸
前 幅	五寸	紐 附	八寸肩より	襦 幅	下一寸八九分
衿 幅	二寸	新	一尺七寸六分	上	五厘

二、縫方順序

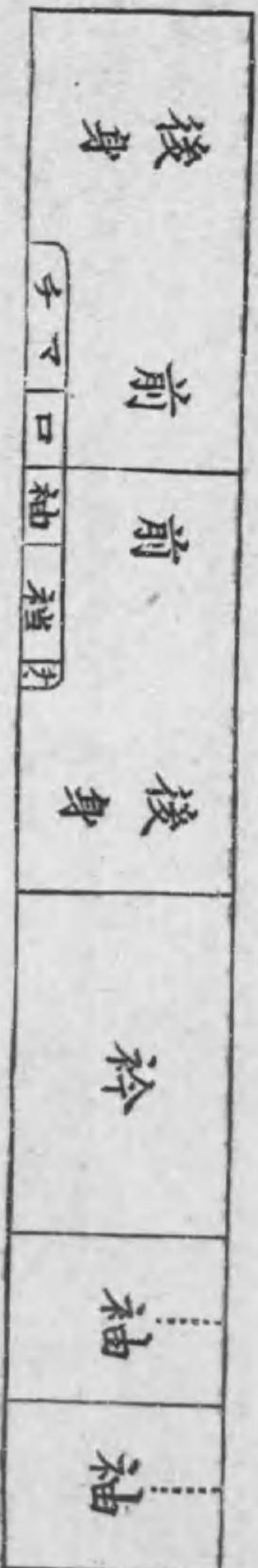
袖の八つ口を除くの外縫ひ方順序方法及び綿の入れ方等すべて女物綿入羽織に同じ。

但し紐附けは女物と反對に、上より下に向け重ねべし。

### 第二十章 本裁男袴羽織

#### 第一 裁ち方積り方

表用布



積り方公式

$$\begin{aligned}
 &(\text{袖丈} + \text{後丈}) \times 4 + \text{衿丈} + \text{前後の差} \times 2 = \text{總丈} \\
 &\text{總丈} - (\text{袖丈} \times 4 + \text{衿丈} + \text{前後の差} \times 2) + 4 = \text{後丈} \\
 &\text{後丈} + \text{前後の差} = \text{前丈}
 \end{aligned}$$

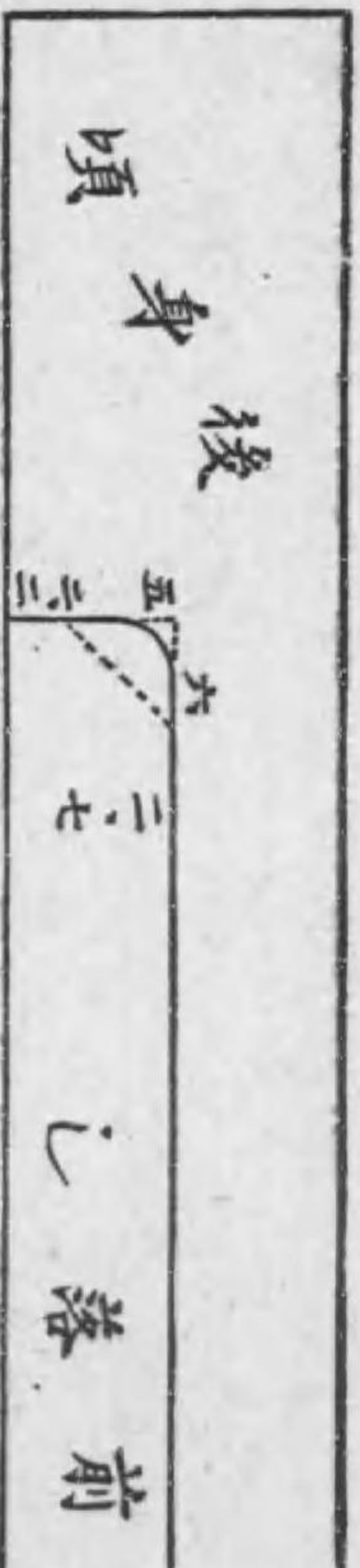
裏用布

積り方



$$\begin{aligned}
 &\text{袖丈} \times 8 + \text{後身丈} 10 + \text{總縫代} - \text{表用布の總尺} = \text{裏の總尺} \\
 &\text{裏上} \\
 &\text{裏用布總尺} - \text{袖丈} \times 4 = \text{胸裏の總尺}
 \end{aligned}$$

表裏前  
落し方



衿肩の明は表も裏も同様、但し、がく裏にかざり裏のみ脊縫の縫代を引きて裁つべし。

#### 第二 仕立方

一、襟付け方

右何れも綿入羽織に同じ。只袖口の掛け方に於て袖口切を幅一分出して裏布の上に置き、並の縫代にて標す事男袴の如くするのみなり。

二、縫方順序

- 一、表裏袖
- 二、後前の胴接ぎ
- 三、脊縫
- 四、前下り
- 五、後襟
- 六、衿附の假綴
- 七、紐附
- 八、衿附
- 九、衿先
- 一〇、表衿の衿肩筋
- 一一、前襟
- 一二、表袖附
- 一三、裏袖附
- 一四、衿附の袷
- 一五、仕上げ

### 第二十一章 小裁中裁羽織

#### 第一 袖無綿入羽織

一、裁ち方

い、表用布 並幅五尺

裁ち切り寸法

後 丈 一尺五寸七分 前 丈 一尺六寸三分 衿 丈 一尺八寸

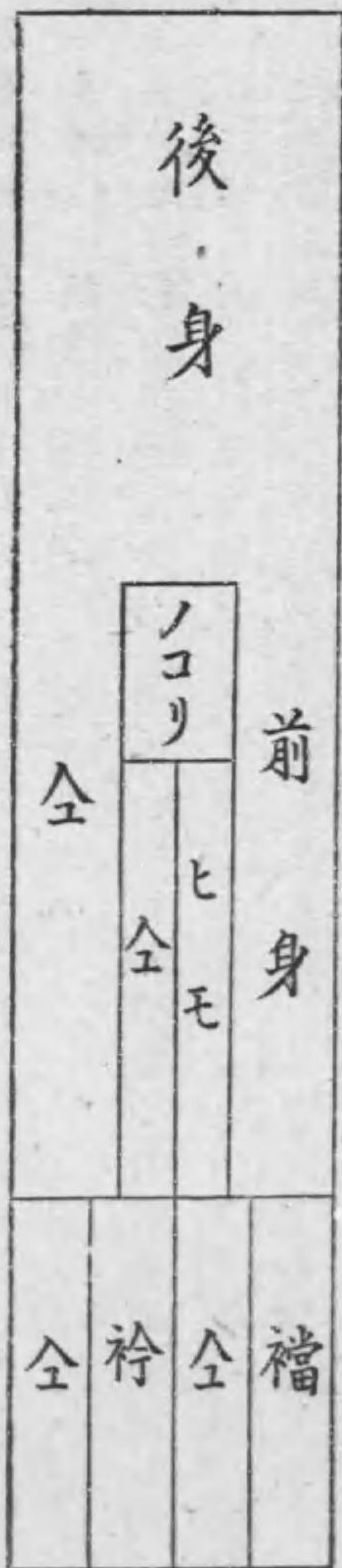
襟 幅 二寸

衿肩明 一寸の内三分

衿 幅 三寸  
紐 丈 六寸

ろ、裏用布 並幅三尺

裏の寸法は、表身頃の寸法に準じて裁つべし  
裁ち方圖



二、仕立上げ寸法

身 丈 一尺五寸

脇 明 五寸五分

紐 附 五寸肩より

後 幅 イツバイ

前下り 二分

衿 幅 一寸二分

前 幅 イツバイ

上九分 下一寸五分

三、標付け方

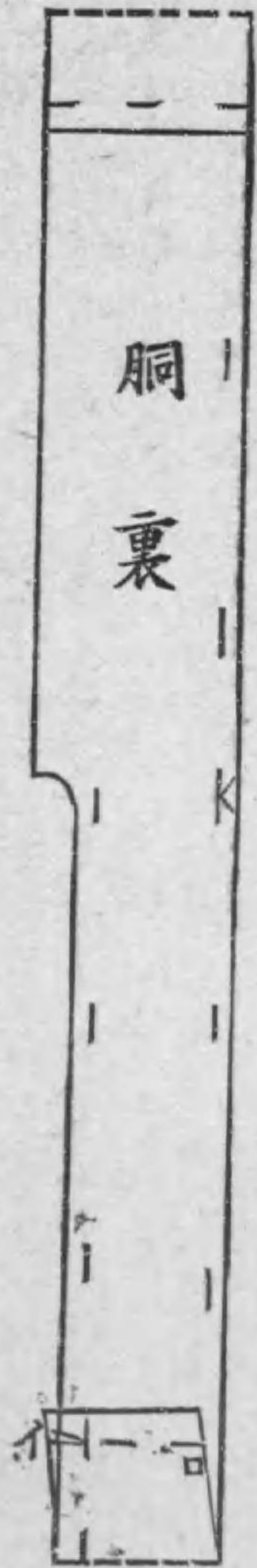


一、後前の身頃 二、襦 三、衿

1、身頃 表裏とも表を中にして縦に二つに折り、圖の如く表の上に裏を載せて下に置き、兩脇を綴ぢ山標を付け、後前の丈を極め(二分衿肩を後身に越し、前下りは二分下るものとして表裏にて二分つゝ斜に標す、此の下りの仕方は表の見返し少きものに限る)肩より二つに披り幅脇明紐附の標を附くべし。

2、襦 表裏を接ぎ中表に二つに折り、丈幅を標め後身に、附く所は眞直に、前身に附く所は寸法通り斜に曲げて標を附くべし。

3、衿 先づ衿の山接ぎをなし、羽織の半幅衿の如く衿に裏布を縫ひ附け、次に衿幅の二倍に三分五厘を加へて折り、裏布はそれより三分五厘を減きて折り、今縫ひたる方も亦三分五厘の縫代に折り、表に出づる方を五厘出して二つに折り、山丈及び合標を附くべし。



四、縫ひ方順序

- 一、後前身頃の胴接ぎ
- 二、後前襦
- 三、脇明
- 四、綿入れ
- 五、紐附
- 六、衿附
- 七、仕上

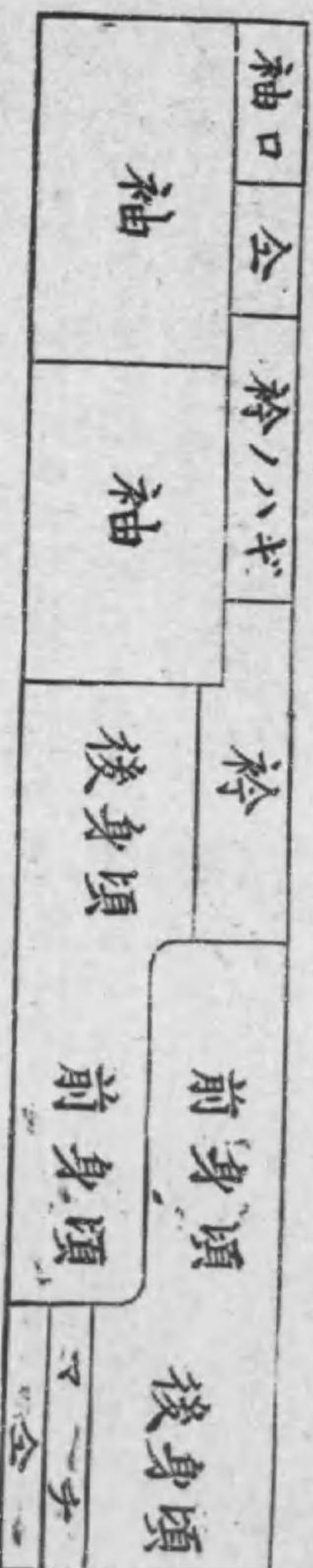
注意 袖無羽織の種類により層入を稱して、層より七八寸の間別布を入るゝことあり。斯る時には後前とも、此の布を腰廻り布と、なほぎ層入の方に返し、鉄を掛け、然る後通し表のものと同じく標すべし。

第二 小裁羽織

一、裁ち方積り方

袖丈	一尺四寸五分	袖幅	七寸二分	後丈	二尺五寸
前丈	三尺二寸	後幅	六寸	前幅	四寸五分

衿肩明 一寸六分  
 衿 丈 四尺三寸  
 袖口 丈 一寸  
 襦 丈 七寸  
 袖幅 七寸  
 後丈 二尺四寸七分  
 衿幅 三寸  
 袖幅 三寸  
 袖口丈 一尺一寸  
 衿 丈 四尺三寸  
 袖幅 三寸  
 袖口丈 一寸  
 衿幅 三寸  
 袖口丈 一寸



袂の裁ち方

積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  後丈  $\times 3 +$  後前の差 = 總丈  
 { 總丈 - (袖丈  $\times 4 +$  後前の差) }  $\div 3 =$  後丈  
 後丈 + 前後の差 = 前丈  
 { 總丈 - (後丈  $\times 3 +$  後前の差) }  $\div 4 =$  袖丈  
 裁ち切り寸法

袖 丈 七寸      袖幅 七寸      後丈 二尺四寸七分

前 丈 三尺二寸      後 幅 六寸      前 幅 四寸五分  
 衿肩明 一寸六分      袖 丈 一尺五寸      袖幅 二寸  
 衿 丈 四尺三寸以上      衿幅 三寸      袖口丈 一尺  
 袖口幅 二寸

裁ち方の圖

筒袖の圖



積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  後丈  $\times 3 +$  後前の差 = 總丈  
 { 總丈 - (袖丈  $\times 4 +$  後前の差) }  $\div 3 - 3 =$  後丈  
 後丈 + 後前の差 = 前丈  
 { 總丈 - (後丈  $\times 3 +$  後前の差) }  $\div 4 =$  袖丈

二三の身羽織着腰仕立エヤカ

袂の袂

袖丈 一尺三寸八分(長着より二分長く) 袖口明 三寸五分乃至四寸  
 袖附 四寸一分(長着より一二分長く) 袖幅 六寸六七分(長着より一分多く)  
 身丈 一尺七寸 身八つ口 二寸 前下り 六分  
 後幅 いっぱい 前幅 一っぱい 紐附 五寸五分肩より  
 裾幅 上下一寸三分 衿幅 一寸二分

ろ筒袖  
 袖丈 六寸三分(長着より三分長く)  
 袖口明 三寸三分乃至三寸八分(長着より三分多く)  
 袖附 四寸五分内外(長着より二分多く)  
 袖幅 六寸六七分内外(長着より一二分長く)  
 三縫方順序

仕立方は本裁女綿入羽織に同じ衿の場合は衿羽織に同じ  
 衿羽織にても、衿は幅狭き故四つ縫にせず、身頃の表にて新けおくべし。

### 第三 中裁羽織

#### 一、裁ち方積り方

一、用布 並幅長さ一丈八尺にて前衿裁羽織袂袖の裁ち方  
 裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸五分	後丈	二尺五寸五分	前丈	三尺三寸五分
後幅	七寸一分	前幅	五寸一分	衿肩明	二寸 内三分の廻し
衿丈	四尺八寸以上	衿幅	三寸九分以上	袖口丈	一尺二寸
袖口幅	二寸				

#### 裁ち方の圖



#### 積り方公式

(袖丈 + 後丈) × 4 + 後前の差 × 2 = 總丈  
 (總丈 - (袖丈 × 4 + 前後の差 × 2)) ÷ 4 = 後丈

後丈 + 後前の差 = 前丈

〔總丈 - (後丈 × 4 + 後前の差 × 2) ÷ 4 = 袖丈

二、用布 並幅長さ一丈五尺四寸にて中裁元祿袖羽織の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖 丈 九寸

注意 幅九寸以上ある時は、今少しく衿幅を廣くすべし。

二、普通仕立上げ寸法

い、袂袖

袖 丈 一尺四寸八分内外(長着より三分長く) 袖口明 四寸乃至四寸五分

袖 附 四寸六分(長着より一分多く) 袖 幅 七寸七分乃至八寸二分(長着より二分廣く)

身 丈 二尺内外 身八つ口 二寸 前下り 七分

衿肩明 乃至二分 後 幅 六寸五分 前 幅 二つばい

紐 附 六寸肩より 幅 下二つばい 衿 幅 一寸四分

ろ、元祿袖及び筒袖 元祿袖も袂袖の一種なれば、袖丈短かきのみにして、他の寸法の割合は凡べて袂袖に同じ。

但し袂丸の標は丈幅共に長著より二分多くすべし。

筒袖は三つ身と同じ割合にて長著より延ばしおくべし。

但し袖丈身丈等は、時の流行によりて長短を異にすべく、又身幅襦幅等は着用者の肥瘦によりて廣狹あるものなれば能く斟酌して仕立つ可きなり。

### 第四 各種羽織普通仕立上げ寸法表

各部の名稱	種類		三つ身	前衿裁	本裁女物	本裁男物
	袖無羽織	袖有羽織				
袖 丈	一尺三寸八分 長著より三分長く	一尺四寸八分 上	一尺五寸	一尺四寸二分 上	一尺四寸二分 上	
袖 口	三寸五分 乃至四寸	四寸五分 乃至四寸	四寸五分 乃至四寸	六寸五分 乃至六寸	七寸五分 乃至七寸	
袖 附	四寸一分 長著より一分多く	四寸六分 上	六寸七分 乃至六寸	六寸七分 乃至六寸	七寸五分 乃至七寸	
袖 幅	六寸六七分 長著より三分廣く	七寸五分 乃至七寸	八寸二分 長著より二分廣く	八寸六分 乃至八寸	九寸 上	
身 丈	一尺七寸	二尺内外	二尺五寸 乃至二尺	二尺六寸 乃至二尺	二尺六寸 乃至二尺	
身 八つ口	二寸	二寸	二寸五分 乃至二寸	二寸五分 乃至二寸	二寸五分 乃至二寸	
脇 明	五寸五分	一	一	一	一	

前下り	二	分	六	分	七	分	一	寸	一	寸
前	一寸一分		一寸四分		乃至一寸二分		二寸五分		八	寸
後	いつばい		いつばい		六寸五分		七寸五分		八	寸
肩	いつばい		いつばい		いつばい		八		八	寸五分
前	いつばい		いつばい		いつばい		四寸八分		五	寸
紐附(乳)	五寸肩より		五寸五分肩より		六七寸肩より		八寸乃至八寸五分		八寸五分内外	
襟	上下一寸五分		上下一寸三分		上下いつばい		上下一寸七分		上下一寸八分	
袖	一寸二分		一寸二分		一寸四分		一寸七分		二	寸
脊紋下り	九寸内外		長者より一分長く		同		一尺六寸六分		一尺七寸六分	
袖紋下り	一寸		一寸六分		一寸八分		乃至一寸二分		同	
抱紋下り	三		寸		三寸五分		四		同	

筒袖仕上げ寸法

第二十二章 小裁、中裁、本裁被布

第一 小裁被布各部の名稱

部分の名稱	種類	三	つ	身	前	衿	裁
袖	丈	六寸三分	長者より三分長く	六寸八分	同	上	
袖	口	三寸三分乃至三寸八分	長者より三分多く	三寸八分乃至四寸三分	同	上	
袖	附	四寸二分内外	長者より二分多く	五寸内外	同	上	
袖	幅	六寸六分内外	長者より二分廣く	八寸二分内外	同	上	

第二 小裁被布

- 一、裁ち方積り方
- 一、用布 並巾長さ一丈四尺にて小裁被布袂袖の裁方



袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 堅衿丈 + 後丈 \times 3 +$  前後の差  $=$  總丈  
 (總丈  $-$  (袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 堅衿丈 + 後前の差)) \div 3 =$  後丈  
 後丈  $+ 後前の差 =$  前丈  
 總丈  $-$  (後丈  $\times 3 +$  後前の差  $+ 小衿 + 堅衿丈) \div 4 =$  袖丈

二、普通仕立上げ寸法

い、袂袖

袖丈 一尺三寸八分(着物より一二分長く) 袖口明 三寸五分乃至四寸  
 袖附 四寸一分(着物より一二分多く)  
 袖幅 六寸六七分(着物より二分廣く) 身丈 一尺七寸  
 身八つ口 二寸 前下り 六分 衿肩明 一寸四五分  
 後幅 いっぱい 前幅 いっぱい 堅衿下り 三寸五分  
 堅衿幅 下三寸内外 上は下より三分つむ 襦幅 上一寸四五分 小衿 八寸  
 小衿幅 三寸内外

注意 被布仕立上げ寸法につき大凡の割合を擧ぐれば袖身頃は羽織と同じく、堅衿下りは子供物は長着の衽下りより五分多く、又其の幅は大凡衽幅と同じく、小衿の

丈は堅衿下りに五分加えたるものの二倍幅は堅衿の幅と略同様なり、又前幅襦幅等は羽織より廣きをよしとす。

ろ、元祿袖

前に述べたる如く元祿袖も袂袖の一種なれば丈附幅を延ばす割合は袂袖に同じ左にその寸法を述ぶ。

袖丈	七寸三分乃至七寸八分	袖口明	三寸八分	袖附	四寸四分
袖幅	六寸六分	袂丸	丈三寸二分幅三寸七分		

三、標附け方

一、袖 二、胴接ぎ 三、前身頃 四、襦 五、堅衿 六、小衿

一、袖身頃及び襦、總て羽織に同じ

但し前身頃は紐附の標を除き、堅衿下りの標を付くべし。

二、堅衿

表を中にし二枚合せ其上に、堅衿裏二枚を重ね、裾を右にし下に置き、丈を計り(上の縫代を五分とす)表を折り返し表裏接ぎの標を附(幅廣きものは幅

を折る)次に圖の如く上下の幅標をなし、身頃に付く方の幅標の所に定規をあて標を付く。

三、小衿

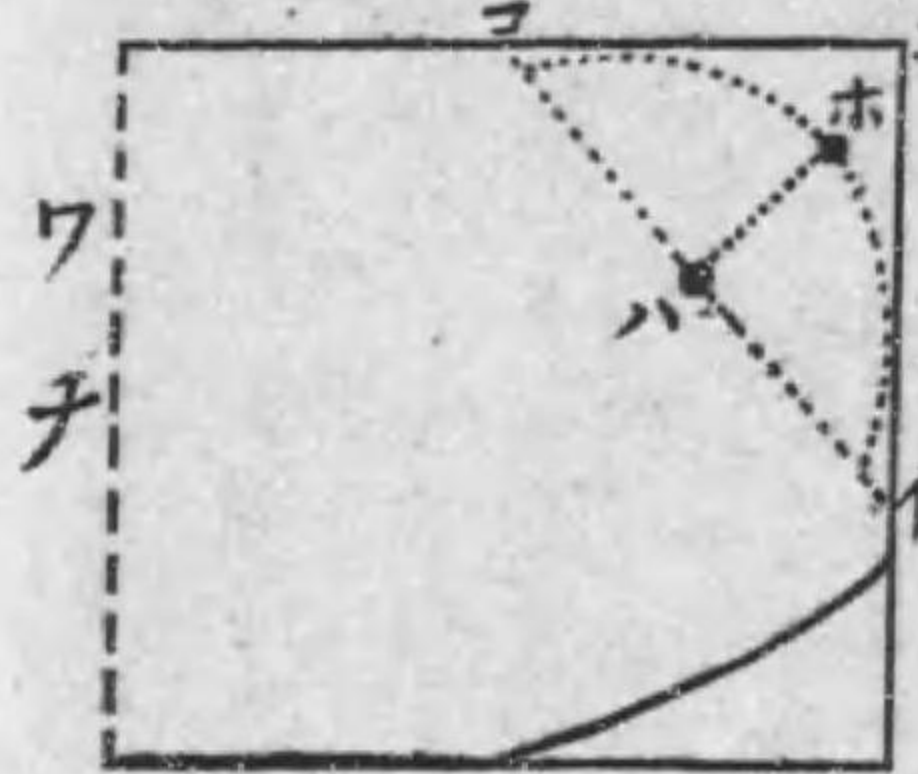
小衿は心切にて先づ型紙の形に裁ち、之を表布の上に載せ標するを可とす、左に芯切の裁方を述ぶ。



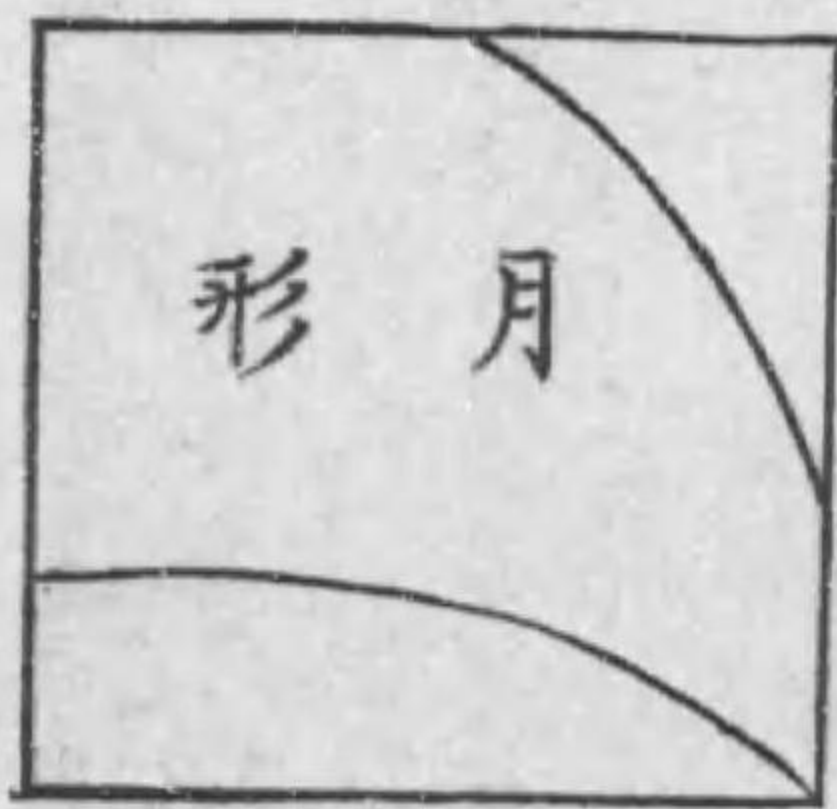
芯切は晒木綿若くば、天竺金巾の如きもの一枚又は二枚を用ひ丈は仕立上げの小衿に、幅は仕上より、三四分廣く裁ち置きて角に、丸みの標をつく。

其の仕立方は先づ、丈を二つに折り置きて身頃につくる方の、幅標より三四分の間を真直になしおき、其の余りの幅を計り丈の方へも、同様の寸法をとり

第一圖



第二圖



第一圖の如くイロの標をつけ、此の二點をつなぎ中央にハ點を附し、此の點とこの角とをつなぎたる、線の長さの五分の二をハより度りて、ホ點をつけ、この點を通じて程よく丸みの標をつくべし。

但し大人物は丸みを少なくするが故に、ハよりニに至る、長さの三分の一にホ點を附し、此の點を通じて標す。

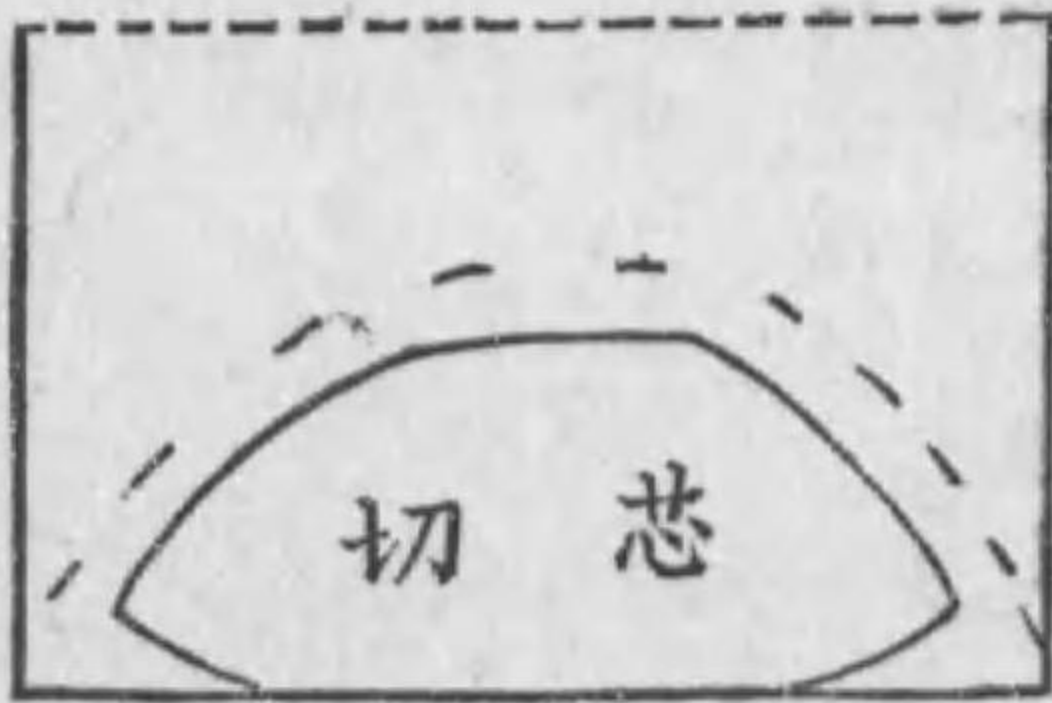
其れより衿附の方端より一寸五分程の間にて凡そ二分程斜に裁ち落す。左に示す。

又月形とて第二圖の如く、附の方へ五分程繰り入ることあり、中年以上の人には此形を宜とす。

小衿の標をなすには、先づ表切の表を中にし、豎に二つに折り其上に圖の如く芯切を載せ、之に倣ひ一分五厘を離し廻りに標す。

四、縫方順序

- 一、表裏の袖
- 二、胴接ぎ
- 三、脊縫
- 四、前下り
- 五、後前襟
- 六、左
- 右
- 七、表裏袖附
- 八、袖口含み綿
- 九、綿入れ
- 一〇、裾口の
- 假綴
- 一一、袖口縮
- 一二、豎衿下り及び豎衿縮
- 一三、小衿





- 一四、小衿附
- 一五、脊及び襟の堅綴
- 一六、飾紐附
- 一七、仕上げ

### 第二 中裁被布

#### 一、裁ち方積り方

一、用布並幅長さ一丈八尺にて中裁被布袂袖の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸五分	後丈	二尺六寸	前丈	二尺八寸
後幅	七寸	前幅	五寸	衿肩明	二寸
堅衿丈	二尺八寸	堅衿幅	四寸	小衿丈	内四分の廻し
袖口丈	一尺二寸				一尺

裁ち方圖



#### 積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+$  後丈  $\times 4 +$  後前の差  $\times 2 =$  總丈  
 (總丈 - 袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+$  前後の差  $\times 2) \div 4 =$  後丈  
 後丈  $+$  後前の差  $=$  前丈

二、用布並幅長さ一丈五尺で中裁被布筒袖の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖丈	七寸五分	後丈	二尺七寸	前丈	二尺八九寸
後幅	七寸	前幅	五寸	衿肩明	二寸
小衿丈	一尺	堅衿丈	二尺九寸	堅衿幅	内四分の廻し
袖口丈	一尺二寸				四寸

い、袂袖

袖丈	一尺四寸八分	袖口明	四寸五分至	袖附	四寸六分
袖幅	内七寸六分 至八寸一分	身丈	二尺内外	身八つ	二寸
前下り	七分	衿肩明	一寸八分内外	後幅	六寸五分

前幅 二つばい  
 裾幅 上下一寸五分  
 ろ、筒袖  
 袖丈 六寸八分  
 袖幅 八寸一二分  
 他は袂袖に同じ

縦衿下り 四寸内外  
 小衿丈 九寸  
 袖口明 三寸八分乃至四寸三分  
 縦衿幅 下三寸五分内外  
 小衿幅 上は下より三分つめ  
 袖附 五寸内外

### 第三 本裁被布

#### 一、裁ち方、積り方

一、用布 普通幅長さ二丈八尺にて本裁女物被布

#### 一、裁ち方

裁ち切り寸法

袖丈 一尺六寸五分 後丈 三尺七寸 前丈 四尺  
 衿肩明 二寸八分 内四分の廻し 小衿丈 一尺四寸 縦衿丈 二尺三寸  
 袖口丈 一尺五寸



#### 積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 縦衿丈 \times 2 +$  後丈  $\times 4 +$  後前の差  $\times 2 =$  總丈  
 〔總丈 - (袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 縦衿丈 \times 2 +$  後前の差  $\times 2)$ 〕  $\div 4 =$  後丈  
 後丈  $+ 後前の差 =$  前丈  
 〔總丈 - (後丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 縦衿丈 \times 2 +$  後前の差  $\times 2)$ 〕  $\div 4 =$  袖丈

#### 二、普通仕上寸法

袖丈 一尺五寸七分(着物と同寸又は物により三分つめ)  
 袖口明 六寸乃至六寸五分 袖附 六寸六七分 袖幅 八寸六七分  
 身丈 二尺五寸内外 身八つ口 二寸乃至二寸五分 前下り 一寸  
 衿肩明 二寸六分 後幅 七寸五分 前幅 五寸  
 縦衿下り 六寸 縦衿幅 下上三寸五分 裾幅 下上四寸七分

小衿丈 二つばい  
小衿幅 三寸五分  
乃至四寸

三、標附け方  
一、袖 二、胴接ぎ 三、後身頃 四、前身頃 五、裾 六、堅衿 七、小衿

四、縫ひ方順序  
前に述べたる仕立上げ寸法により、小裁中裁綿入被布に同じ仕立方になすべし。

第二十三章 片面物及び中幅大幅物にて羽織及び被布の裁ち方

一、幅一尺長さ一丈三尺六寸の片面物にて小裁被布の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸	同幅	七寸五分	後丈	二尺四寸四分
前丈	二尺五寸八分	後幅	五寸九分	袖口	一尺一寸
裾丈	一尺五寸	小衿	九寸		



積り方公式 袖丈×4+後丈×3+後前の差×2=總丈

{總丈-(袖丈×4+後前の差×2)}÷3=後丈

{總丈-(後丈×3+後前の差×2)}÷4=袖丈

二幅一尺長さ五尺五寸の布にて袖無被布の裁ち方  
裁ち切り寸法

後丈	一尺五寸五分	前丈	一尺六寸五分	堅衿丈	一尺一寸五分
同幅	六寸五分	小衿丈	七寸	衿肩明	一寸一分
				裾丈	一尺六寸



三、幅一尺一寸五分長さ一丈七寸の用布にて小裁被布の裁ち方及び裁ち切り寸法

- 袖丈 一尺五寸 同幅 七寸一分 後丈 一尺八寸五分
- 前丈 二尺 後幅 六寸 前幅 四寸四分
- 衿肩明 一寸六分 小衿丈 七寸五分 堅衿丈 一尺五寸
- 袖口丈 一尺一寸

裁ち方の圖



積り方公式

$$\text{後丈} \times 4 + (\text{後前の差} + \text{堅衿丈}) \times 2 = \text{總丈}$$

$$(\text{總丈} - (\text{後前の差} + \text{堅衿丈}) \times 2) \div 4 = \text{後丈}$$

幅一尺二寸長さ一丈五尺の布にて中裁羽織の裁ち方  
裁ち切り寸法

- 袖丈 一尺六寸 同幅 八寸 後丈 二尺六寸

裁ち方の圖

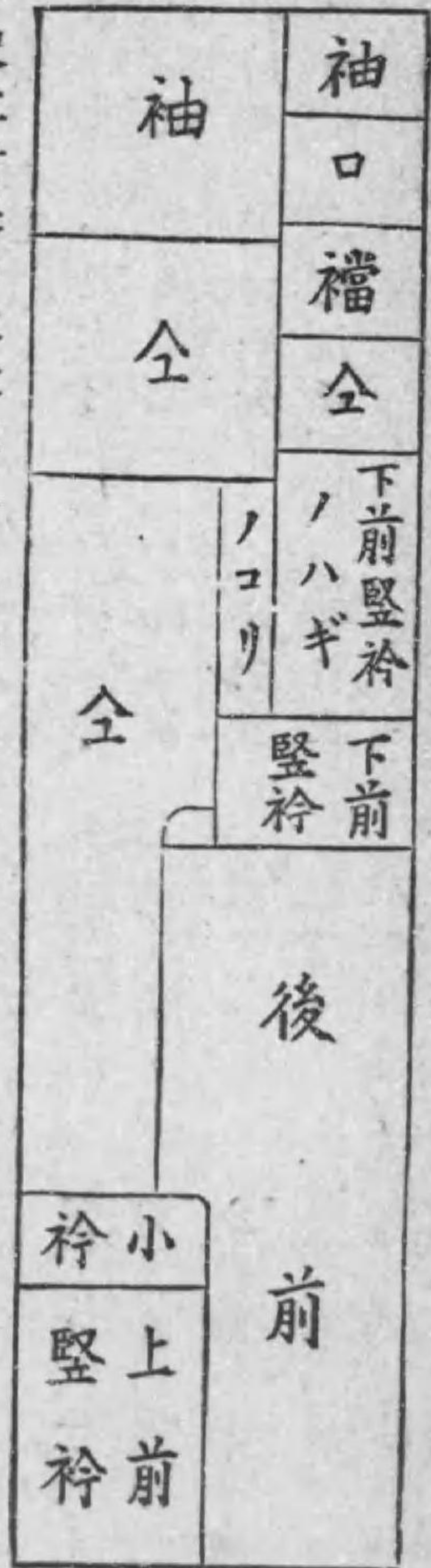


四、幅一尺二寸五分長さ一丈四尺九寸の片面物にて中裁被布の裁ち方

裁ち切り寸法

- 袖丈 一尺六寸 同幅 八寸五分 後丈 二尺七寸
- 前丈 二尺九寸 後幅 七寸三分 前幅 五寸二分
- 衿肩明 二寸一分 小衿丈 一尺 小衿巾 七寸三分
- 堅衿丈 一尺九寸 袖口丈 一尺三寸

裁ち方の圖



五、幅一尺二寸長さ二丈二尺の用布にて本裁男羽織の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖 丈一尺四寸五分 同 幅 九寸八分 後 丈 三尺五分  
前 丈 四尺五寸 後 幅 九寸五分 前 幅 六寸八分  
襟 幅 五寸二分 襟 肩 明 二寸七分 袖 口 切 一尺七寸  
内 四 分 の 廻 し

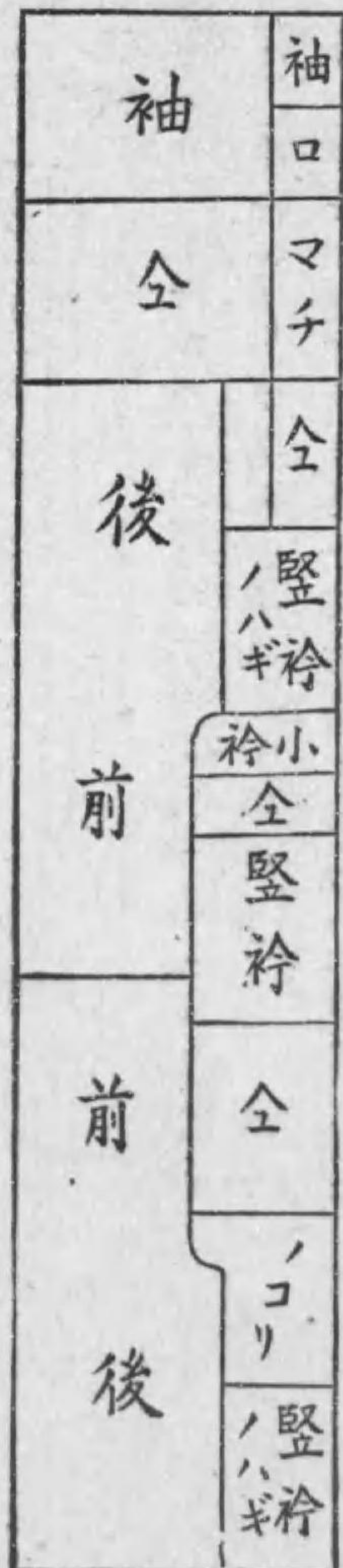
裁ち 方  
方 圖



六、幅一尺二寸長さ二丈四尺の用布にて本裁女物被布の裁ち方

袖 丈 一尺六寸五分 同 幅 九寸五分 後 丈 四尺二寸  
前 丈 四尺五寸 後 幅 八寸八分 前 幅 六寸  
襟 肩 明 二寸八分 小 襟 丈 一尺四寸 前 幅 六寸  
袖 口 切 一尺六寸 小 襟 丈 一尺四寸 前 幅 六寸  
後 丈 四尺二寸

裁ち 方  
方 圖



七、幅一尺二寸長さ一丈八尺五寸の用布にて本裁女單衣被布の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖 丈 一尺五寸 同 幅 九寸五分 身 丈 二尺九寸  
後 幅 八寸八分 前 幅 六寸 襟 肩 明 二寸八分  
小 襟 丈 一尺四寸 同 幅 九寸五分 襟 丈 二尺二寸

袖口丈 一尺六寸

裁ち方の圖



積り方公式

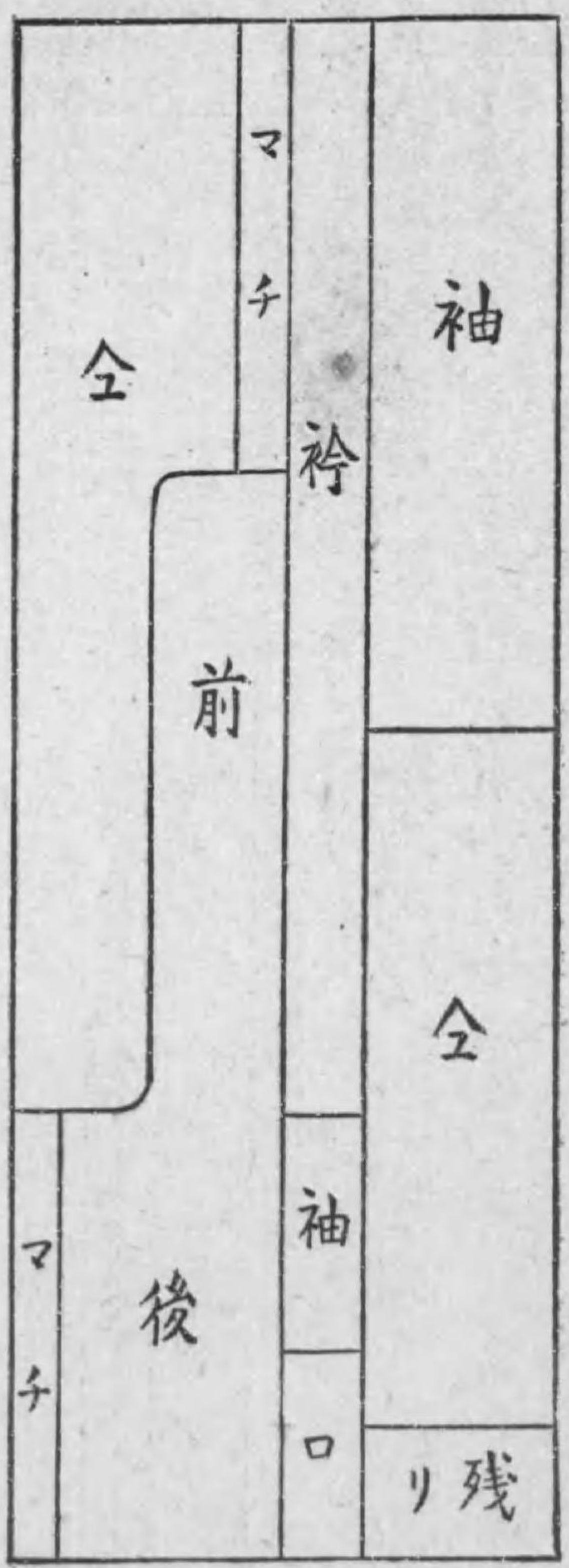
袖丈  $\times 4 +$  身丈  $\times 3 +$  小衿丈  $+ 豎衿丈 +$  前下  $う =$  總丈  
 (總丈 - (袖丈  $\times 4 +$  小衿丈  $+ 豎衿丈 +$  前下  $う)) + 3 =$  身丈  
 (總丈 - (身丈  $\times 3 +$  小衿丈  $+ 豎衿丈 +$  前下  $う)) + 4 =$  袖丈  
 八幅二尺長さ六尺五寸の両面物にて小裁羽織の裁ち方

裁ち切り寸法

袖 丈	一尺五寸	同 幅	七寸五分	後 丈	二尺
前 丈	二尺五寸	後 幅	六寸三分	前 幅	四寸七分
衿肩明	一寸六分	衿 丈	四尺三寸	衿 幅	三寸一分

袖口切 一尺一寸

裁ち方圖



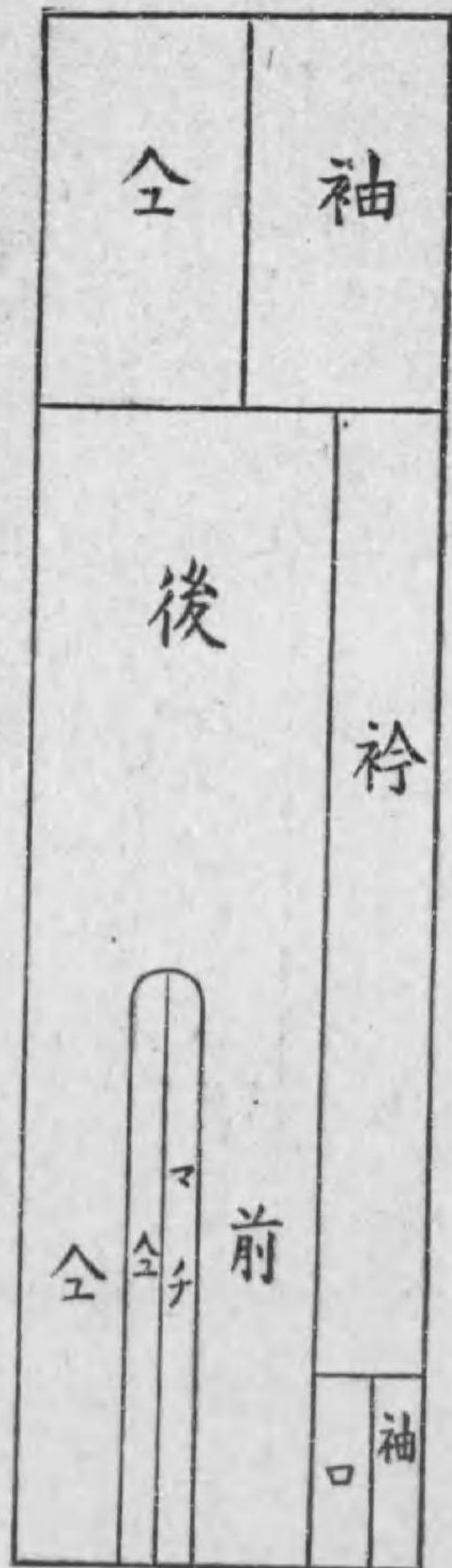
積り方公式

後身丈  $\times 3 +$  後前の差  $=$  總丈  
 (總丈 - 前後の差)  $+ 3 =$  後丈  
 後丈  $+ 前$  後の差  $=$  前丈

九幅一尺八寸長さ九尺の用布にて中裁羽織の裁ち方  
 裁ち切り寸法

- |     |      |    |      |     |      |
|-----|------|----|------|-----|------|
| 袖丈  | 一尺六寸 | 同幅 | 九寸   | 後丈  | 二尺六寸 |
| 前丈  | 三尺二寸 | 後幅 | 一尺四寸 | 前幅  | 五寸   |
| 衿肩明 | 二寸   | 衿幅 | 四寸   | 袖口切 | 一尺二寸 |
| 襦幅  | 二寸   |    |      |     |      |

裁ち方圖



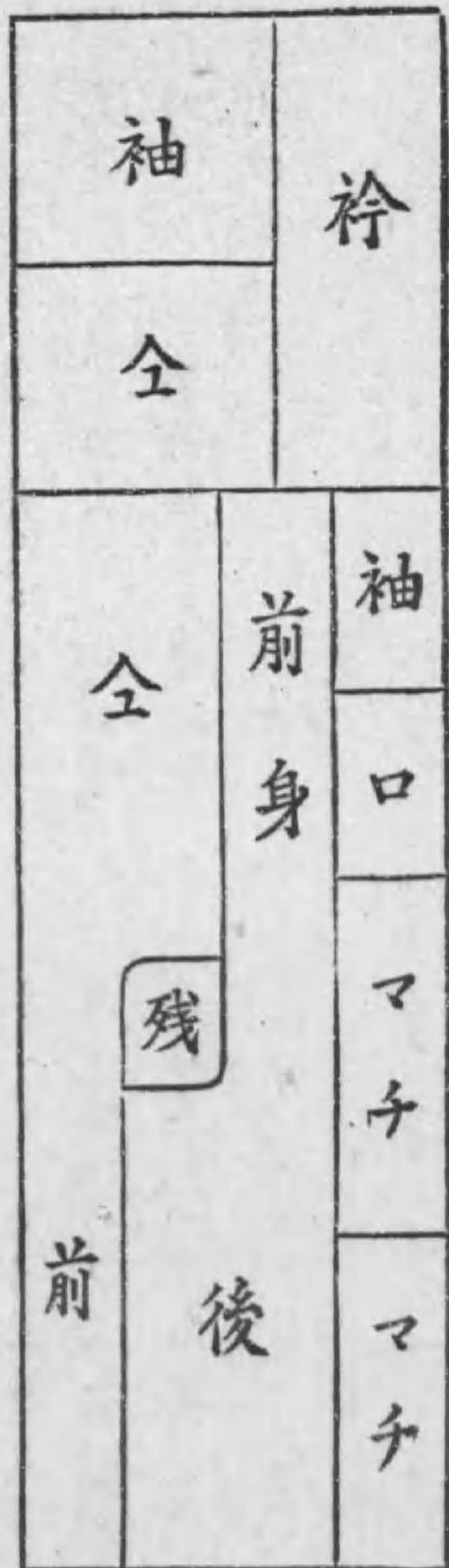
袖丈  $\times 2 +$  後丈  $\times 2 +$  前後の差 = 總丈  
 (總丈 - (袖丈  $\times 2 +$  前後の差))  $\div 2 =$  後丈  
 總丈 - (後丈  $\times 2 +$  前後の差)  $\div 2 =$  袖丈  
 後丈 + 後前の差 = 前丈

十、幅一尺六寸五分長さ一丈五尺の用布にて本裁女物羽織の裁ち方

裁ち切り寸法

- |     |      |    |      |     |      |
|-----|------|----|------|-----|------|
| 袖丈  | 一尺六寸 | 同幅 | 九寸五分 | 後丈  | 三尺九寸 |
| 前丈  | 四尺七寸 | 後幅 | 八寸五分 | 前幅  | 五寸八分 |
| 衿肩明 | 二寸六分 | 衿幅 | 七寸   | 袖口丈 | 一尺六寸 |
| 同幅  | 二寸四分 |    |      |     |      |

裁ち方の圖



積り方公式

袖丈  $\times 4 +$  後丈  $\times 2 +$  前後の差 = 總丈  
 (總丈 - (袖丈  $\times 4 +$  前後の差))  $\div 2 =$  後丈  
 後丈 + 後前の差 = 前丈

$(\text{袖丈} - (\text{後丈} \times 2 + \text{前後の差})) + 4 = \text{前丈}$

十一、幅一尺八寸長さ一丈四尺の用布にて本裁女物被布の裁ち方  
裁ち切り寸法

袖丈	一尺五寸五分	同幅	九寸五分	後丈	三尺八寸
前丈	四尺	後袖	九寸	前幅	六寸二分
衿肩明	二寸八分	小衿丈	一尺四寸	小衿幅	八寸五分
衿口幅	二寸七分	衿口丈	一尺六寸		

裁ち方圖



積り方公式

$\text{袖丈} \times 4 + \text{後丈} \times 2 + \text{前後の差} = \text{總丈}$

$(\text{總丈} - (\text{袖丈} \times 4 + \text{前後の差})) \div 2 = \text{後丈}$  後丈 + 後前の差 = 前丈

$(\text{總丈} - (\text{後丈} \times 2 + \text{後前の差})) \div 4 = \text{袖丈}$

### 第二十四章 大人被布合羽女物

#### 第一 裁ち方積り方

用布 並幅長さ二丈八尺(二区)

袖丈 一尺六寸五分 身丈 三尺七寸五分 衿口丈 一尺五寸

衿肩明 二寸七分 小衿丈 一尺三寸二枚 袖口丈 一尺五寸

裁ち方





積り方公式

袖丈 × 4 + 身丈 × 6 - 堅衿下り × 2 = 總丈

(總丈 - 袖丈 × 4) + 堅衿下り × 2) ÷ 6 = 身丈

身丈 - 堅衿下り = 堅衿丈

(總丈 - 身丈 × 6 - 堅衿下り × 2) ÷ 4 = 袖丈

又反物の總丈長さか或は身の丈低き人は前身をかゝずして次ぎの如き裁ち方にするを可とす



注意 小衿丈を二尺取りたるは衿を道行形に仕立つる時の便利なるが爲なり、即ち道行衿は總丈二尺七八寸を要するなり、されば右二尺を縦に二つに切りて左右とも堅衿下りの縫ひ合す所にて接ぐを可とす。

第二 仕立方

一、普通仕立上げ寸法(單衣合羽)

袖丈	一尺五寸七分	袖口明	六寸乃至六寸五分	袖附	六寸七分
袖幅	八寸七分	身丈	三尺四寸	身八つ口	三寸
衿肩明	二寸五分	後幅	八寸乃至七寸五分	肩幅	八寸
前幅	六寸	堅衿	下六寸	堅衿幅	上下四寸
小衿丈	いつぱい	小衿幅	一寸八分		上下三寸八分

注意 小衿道行形ならば幅を七八分に仕立上ぐべし。

二、標附け方

- 一、袖
- 二、後身頃
- 三、前身頃
- 四、堅衿
- 五、小衿

三、縫ひ方順序

- 一、袖
- 二、背縫
- 三、肩當
- 四、堅衿
- 五、脇縫
- 六、裾新
- 七、小衿
- 八、袖附
- 九、飾紐

四、裕合羽

裕合羽縫ひ方の順序法は前に述べたる單衣合羽と異なるものあり

- 一、袖袷袖と同様に袖を縫ふ
- 二、身頃四裾を表裏縫合し、折りは裏に、かくし襷たすきをす。
- 三、兩脇別々表裏を縫ひ、縫込を開きとじ附く。
- 四、表裏の身頃に袖をはさみ、一針抜に四縫となす、(袖附)
- 五、身八つ口を縫ひ折を附け、引返し表裏を良く合す。
- 六、堅衿の上下を縫ひ折りは、裏に返し表裏の身頃と三つ縫になす。折は堅衿の方に附け、裏にて細かく紵る。
- 七、但し前幅丸幅なる時は、單衣にても衿にても、堅衿を附の標より二分先きを折り、裏の方に返し標の通り堅衿を附く、其折込は單なら、表の方にあらく縫縫つけ置くべし。

### 第二十五章 女衿長襦袢

#### 第一 裁ち方積り方

一、並幅物にて裁ち方

用布 普通幅 二丈七尺四寸

裁ち切り寸法

袖丈 一尺五寸五分 後身丈 三尺五寸

前身丈 三尺五寸五分

衿肩明 二寸三四分 衿丈 四尺

裁ち方圖



積り方

袖丈×6+身丈×5+前下り×2+衿肩明及び縫代

{總丈-(袖丈×6前下り×2+衿肩明及び縫代)}÷5=後丈

後丈+前下り=前丈

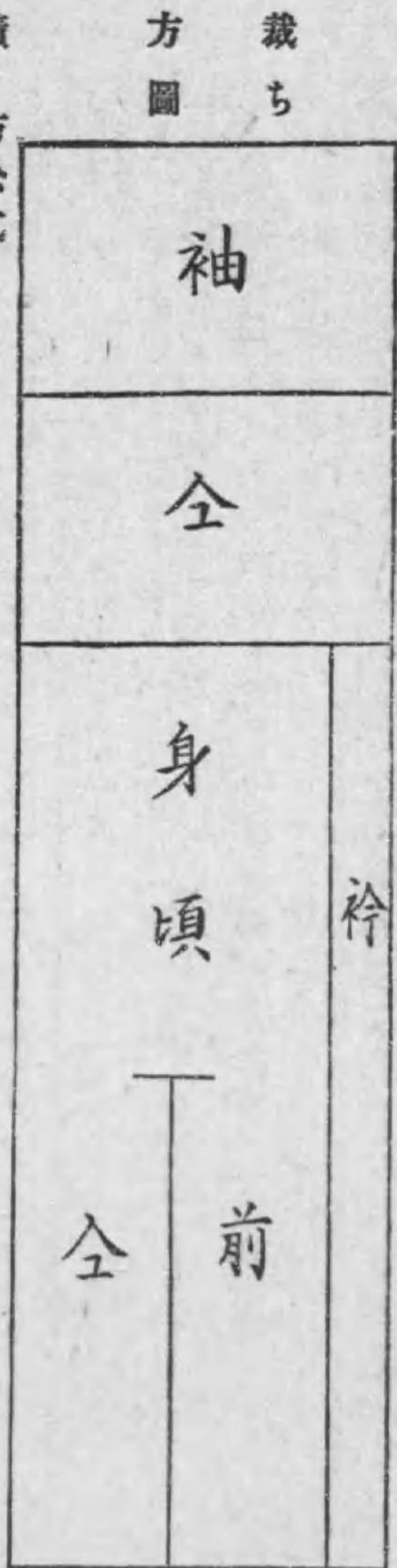
{總丈-(身丈×5+前下り×2+衿肩明及び縫代)}÷6=袖丈

二、大幅物にての裁ち方

用布 幅一尺六寸五分長さ一丈三尺二寸五分

裁ち切り寸法

袖丈身丈前下り袖幅衿幅等の寸法は前題に同じ



裁ち方圖

積り方公式

$$\text{袖丈} \times 4 + \text{後丈} \times 2 + \text{前下り} = \text{總丈}$$

$$\text{總丈} - (\text{袖丈} \times 4 + \text{前下り}) \div 2 = \text{後丈}$$

$$\text{總丈} - (\text{後丈} \times 2 + \text{前下り}) \div 4 = \text{袖丈}$$

注意 右に掲げたる寸法は、何れも普通の場合を示したるものなれば、袖丈は上著の袖丈より、三分乃至五分短く裁ち、身丈は着用者の身長に準じて定むべきなり。又用布の都合によりては、長く裁ち置き内縫を成し置も可なり。又前下りは人々の好みにより、八分乃至一寸位下げ置く事あり。

第二 仕立方

一、普通仕上げ寸法

袖丈 一尺五寸内外(着物より二分づめ) 袖附 六寸(着物より三分づめ)

袖幅 八寸三分(着物より一分づめ) 身丈 三尺三四寸

身八つ口 前三寸五分 衿肩明 二寸一二分 後幅 八寸内外

肩幅 八寸三分 前幅 六寸五分内外 衿幅 上一寸四分

衿幅 一分 衿幅 一尺六寸四五分 下一寸八分

注意 總て襦袢の寸法は長著に準じ定むべきこと尙ほ地質にも關係するものなれば袖丈の詰め方の合せ方等よく斟酌して定むべきなり

二、襟附け方

一、袖 二、表後身頃 三、表前身頃 四、裏後身頃 五、裏前身頃 六、裾廻し衿

三、縫方順序

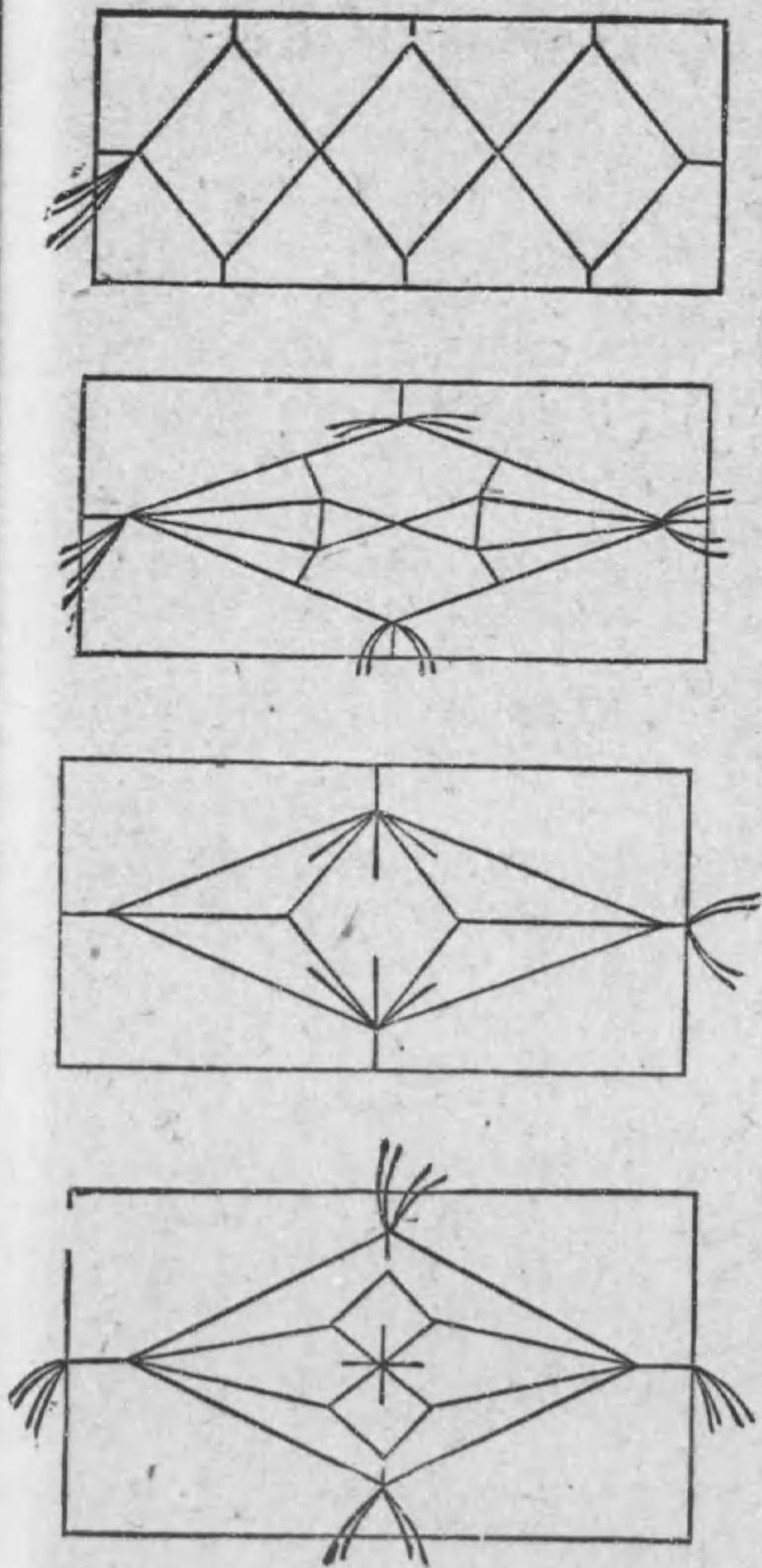
一、袖 二、表身頃 三、裏身頃 四、裾廻し 五、表裏の裾合せ 六、裾芯及び假綴  
七、脊脇の縦綴 八、身八つ口 九、袖附 一〇、衿附及び衿新 一一、半衿

### 第二十六章 腹合帯

#### 第一寸法

腹合帯は何れも両側の異りたる物を縫合す物にして其長さは九尺内外。一丈一尺幅は九寸内外なり。而して仕立上げの幅は時の流行により異れど、大方七寸五分又は八寸五分位とす。(一名晝夜帯と云ふ)

方け掛糸飾帯



但し、飾糸の掛け方は、圖中何れを用ふるも可なり

#### 二、仕立方

縹子又は博多の類と縮緬とを合す時は、最初縮緬の伸び方を調べおき、其分だけ丈幅共に縮緬の方を弱り目に合すべし。

總て地質の軟き品若くば、伸易き物は上に載せ、稍々弱り目にして、襷をなし縫目の處には二三分幅の細紙をあて縫ふべし。紹若くば鹿の子絞等の帯側は薄き金幅の裏打をなし、おき後片側と合せて襷をなすべし。

但し裏打切は何れも弛になし置き、又鹿の子等は先づ適當に伸しおき裏打切をなし、裏より細き糸にてこまかく留め置くべし。

### 第二十七章 絹布毛織單衣仕立方

#### 第一 絹布仕立方

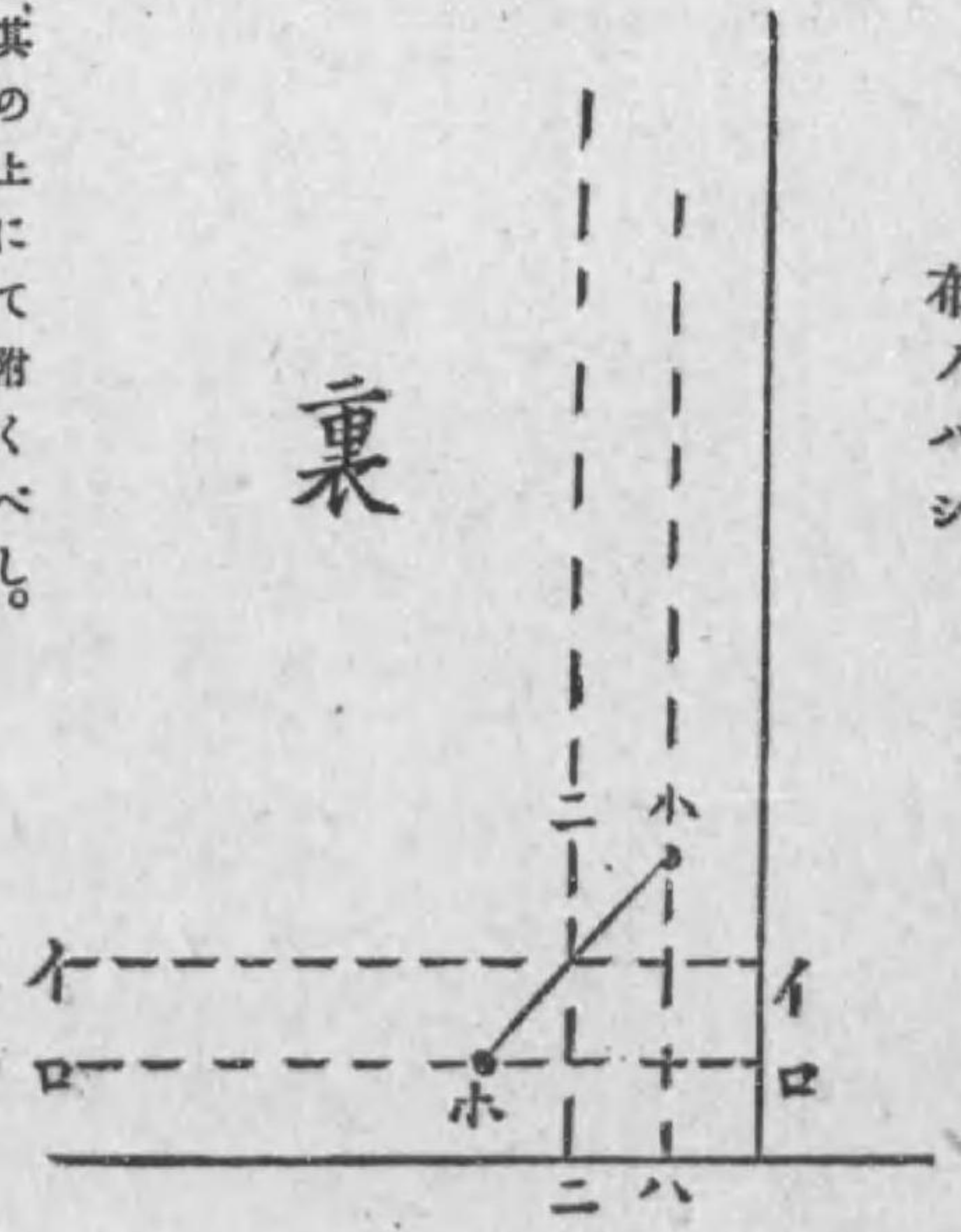
絹布單衣裁ち方、積り方、標附け方等總綿と布單衣に同じ。只縫方に於て異なるのみなり。但し篋附の時角篋かくべらを用ひず、烙鏝はくべらを暖め、其尖にて附くるか又燒篋はくべらにて標すをよしとす。

一、袖 二、各部綴り方 肩當及び居敷當は端を三つ折り筋になし、衿の衿下を三つ折にし、袷をかけ、袷先の處は圖の點線の如く、裾筋の折りを附け、裾筋のイロの點線の幅を衿下のハに移し、(イの點線より計る)衿下のハニの幅を、裾筋のホに移し、(ニの點線より計る)此の間圖の直線の如く折りを附け、ハホを合せて折り裏の方より細き糸にて返し針に縫ひ之を開きて左右に割りおくべし。

注意 總て絹布類の標附をなすには、裁板の上に綿子ル等の如き厚地の品を敷き、其の上にて附くべし。

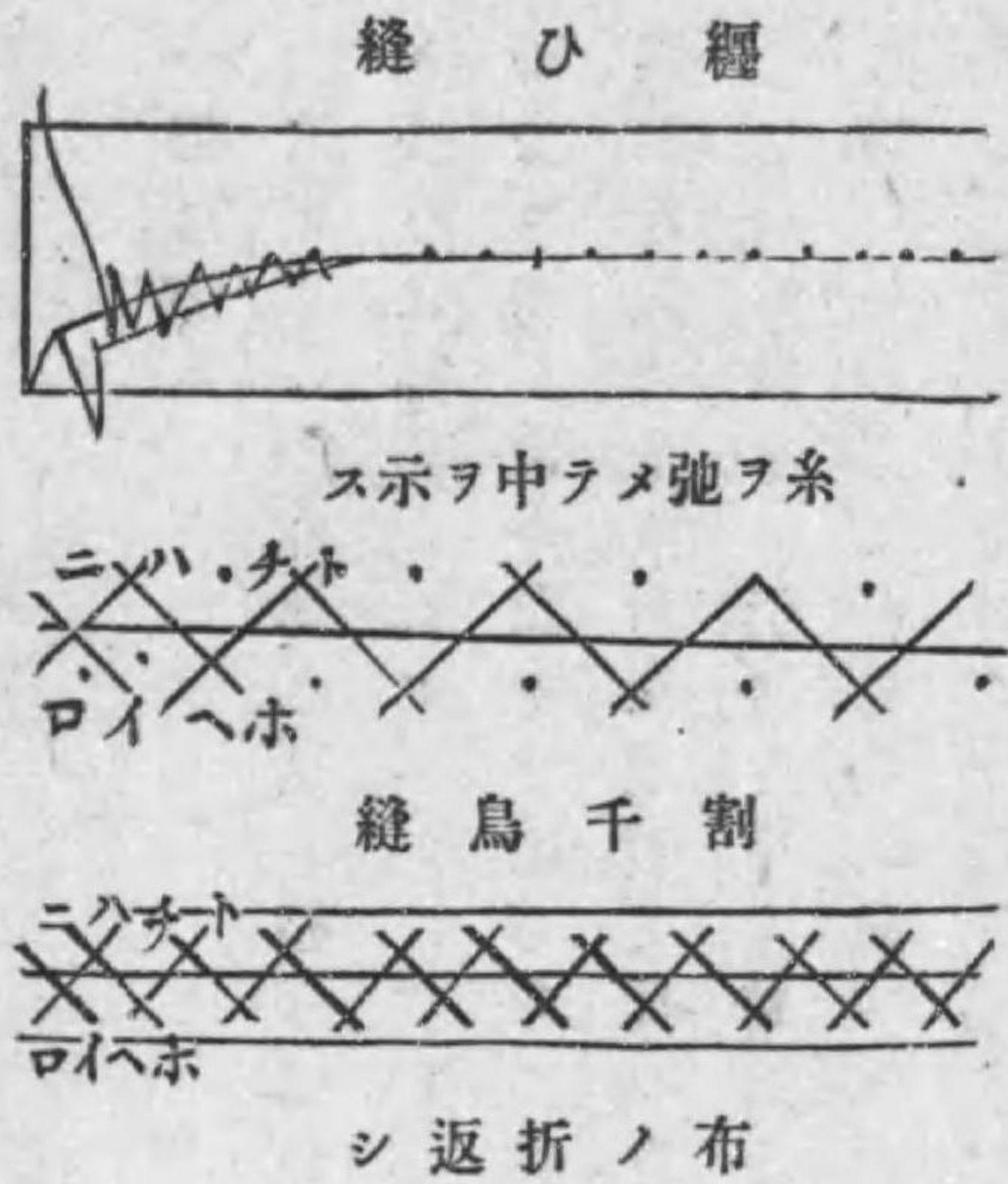
### 第二 毛織仕立方

毛織物單衣も其の裁ち方、積り方、標附け方等木綿物に同じ、若し大幅なるときは本裁大幅物の裁ち方に等しきを以て、茲には只其の異なる部分即ち毛織物取り扱



ひ方及び縫ひ方順序方法につき述ぶべし。

總て毛織物は濕氣に遇へば、多少收縮するものなれば、之を仕立つるにあたり先づ、布地の兩端を合せ縫ひ輪になし、數時間水或は微温湯に浸し置き、日光強からぬ處にかけ、時々上下を廻しながら之を乾し、稍々濕りある内に取り入るべし。セルメリンス等の如き地薄の物は、此の限にあらす、又標附をなすにはなるべくチヨクを用ふるを可とす。角筈等を強く用ふるときは、地質の損する虞あり、袖の標附けをなすには、外袖を一分程長くし二つに折り後兩袖を重ね標すべし。



シ返折ノ布

- 一、袖
- 二、肩當居敷當の裁ち目伏せ方
- 三、脊縫
- 四、肩當腰揚居敷當
- 五、衿附
- 六、衿附
- 七、脇縫
- 八、衿下及裾筋
- 九、袖附

### 第三 絹布繕ひ方

#### 一、接ぎ方

接ぎ方には、片返し割り接ぎ、掛け接ぎ、織り接ぎ、寄せ接ぎ等の數種あり、片返し、割り接ぎは綿布と同じ。

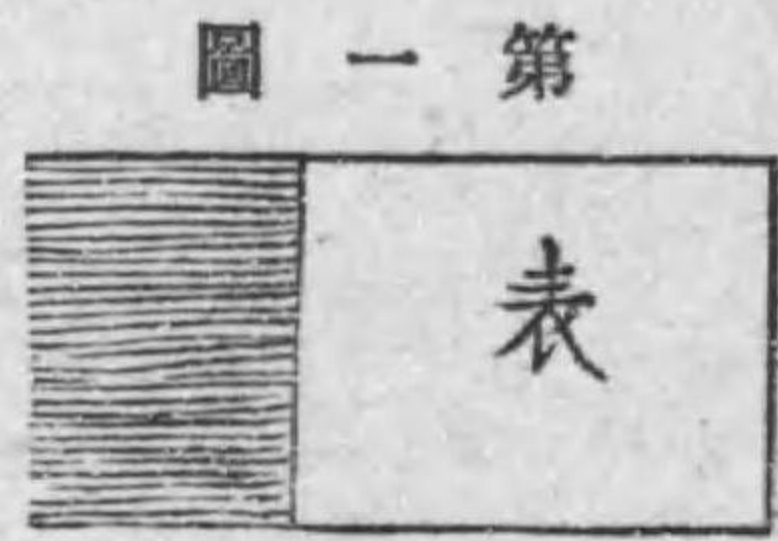
掛接ぎ、織り接ぎ、及寄せ接ぎなど成すに用ふ針はメリケン十二番或は細き針にて糸は地質の解糸ほろ糸か又地質と同じ色に染め、四五本燃り之れを用ふるなり。

掛け接ぎ 縫代を定め縞目を正しく折り、表を中に合せ、裏をかけ一方を掛針に掛け、裏の方より見て地糸一本づつを抄ひ掛け行くべし。此の時向側を少しく右方によせ糸をかくるなり、然らざれば表を返し表縞合はざるものなり。

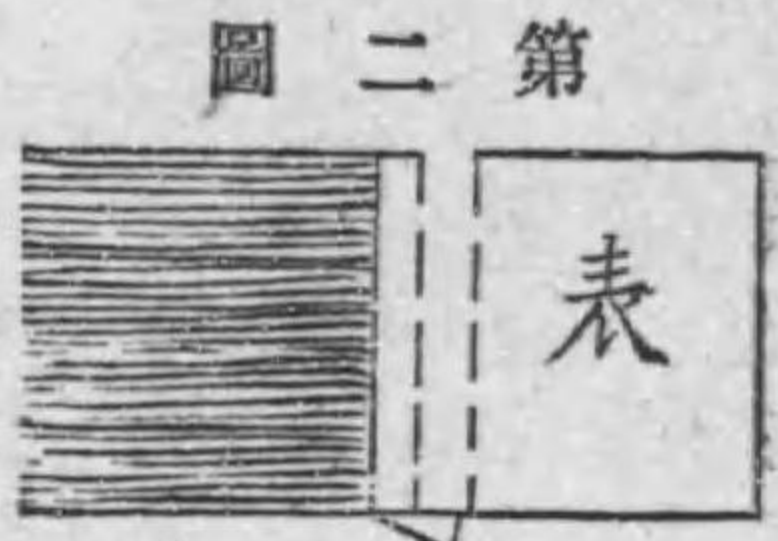
又縮緬等の如き伸び易き品を掛け接ぎにするには、縫代の處に別に三分程の細き布を縫ひつけ、之を掛針にて張り接ぎ目の伸びぬ様に掛け行くべし。

終らば、裏を取り縫目を開き、裏より筆にて少しく濕りを取り丸烙まろをかくべし。

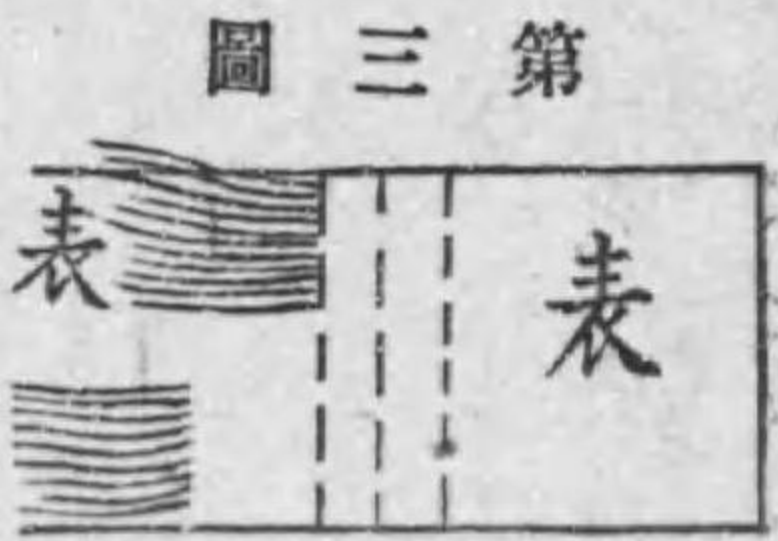
織り接ぎ 裏にも縫目の顯はれぬ様、接ぐ仕方にして先づ接ぎ合すべき一方の布の横糸を第一圖の如く、二三寸解しおき、之と他の一方の布とを、第二圖の如く



第一圖



第二圖



第三圖

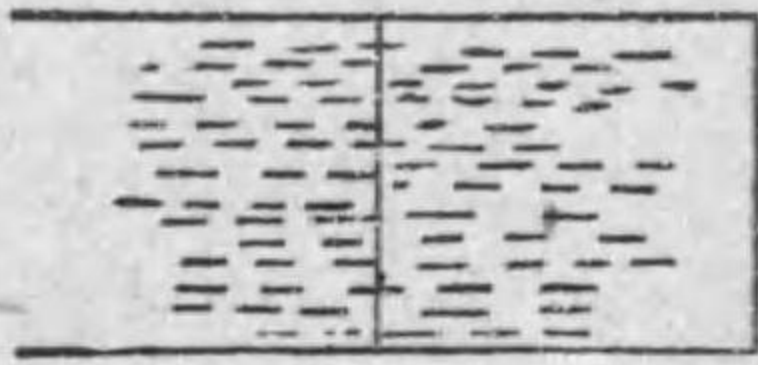


第四圖

五分程重ね、裏をかけ、解したる方の縦糸一本づつを針に通し、今一方の布に第三圖の如く、五分或は七分程の間を織りたる如く、さし行き、後四圖の如く、其殘

りの糸及び布を切り烙烙をかくるなり。

寄せ接ぎ 此の接ぎ方は、一般に適用すべき事能はざれども、縮緬類の衿肩等の裂けたる場合又は、大人物を小供物に、直さんとする時に施す方法なり。



二、繼ぎ方

其の仕方は、先づ接ぎ目にはつれあらば、之を綺麗に切り取り、衝き合せになしおき、裏より細かに、圖の如く糸を掛け行き、後烙烙をかけ仕上をなす

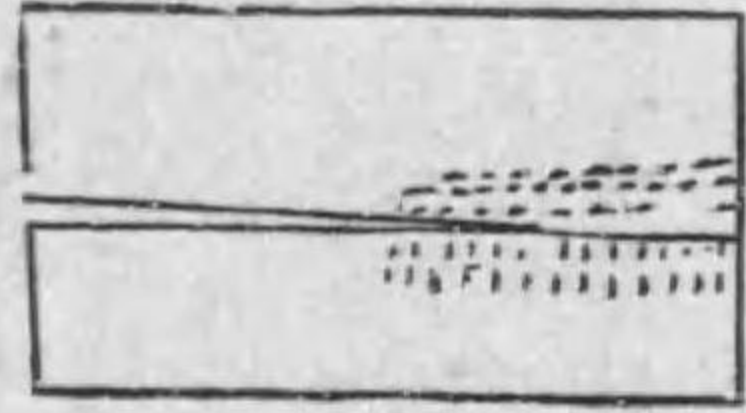
繼ぎ方には、綿布類と同じく、しきし刺し、穴つき、等あり而してしきし、刺しつぎ等

は、其の方法殆んど綿布類に同じく、只しきし縫ぎに於て、綿布類は雌針雄針になせども、絹布類は之れを二目おとし或は、三つ目落とし等になすの差あるのみなり。

穴縫ぎ 先づ木綿の通り裏に共切をあて、表より細かにまどひ行き終らば、縫ぎ切の方にも廻りに鉄を入れ、開き掛はぎの如くなし、縫目に濕りをおきて、烙鏝をかけ仕上す。

### 第四 毛織の繕ひ方

毛織類の接ぎ方は先づ、接ぐべき布の兩端を平に切りて、正しく衝き合せ、共色の細き絲にて、地質の間を抄ひつぎめの處のみ、少しく表に掛けて、圖の如く七八分程を細かに、刺し置くべし。又毛の短かくして、接ぎ目顯れ易き品なれば、はぎめの處に別に糊にて毛をつけ、其の部を被ふも可なり。



しきし縫ぎも、なるべく針目の表に出でざる様、地質の間を抄ふべし。又穴つぎは、先づはぐべき穴及び布を四角或は丸く裁ち切り、裁ち目を合せて鉄をかけ、次ぎにはぎ方と同じ仕方にてつくべし。

注意 右は何れも、毛織類中地質の品に、就きて云へるこゝにして、メリンス等の如き地質の品は、綿布或は絹布類と同じ方法にて補綴すべし。

## 第二十八章 男袴

### 第一 十番馬乘袴 裁ち方積り方

用布 並幅長さ 二丈四尺二分

普通裁ち切り寸法

後丈 二尺五寸五分 内幅八寸三分の處より切り上げ三分

後奥 二尺五寸二分 内切上げ一寸三分 上の幅五寸 襠の高さ一尺四寸

前布 二尺五寸五分 内切り上げ八分

前奥 二尺四寸七分 内切り上げ八分

腰布 六寸

紐丈 一尺八寸乃至二尺

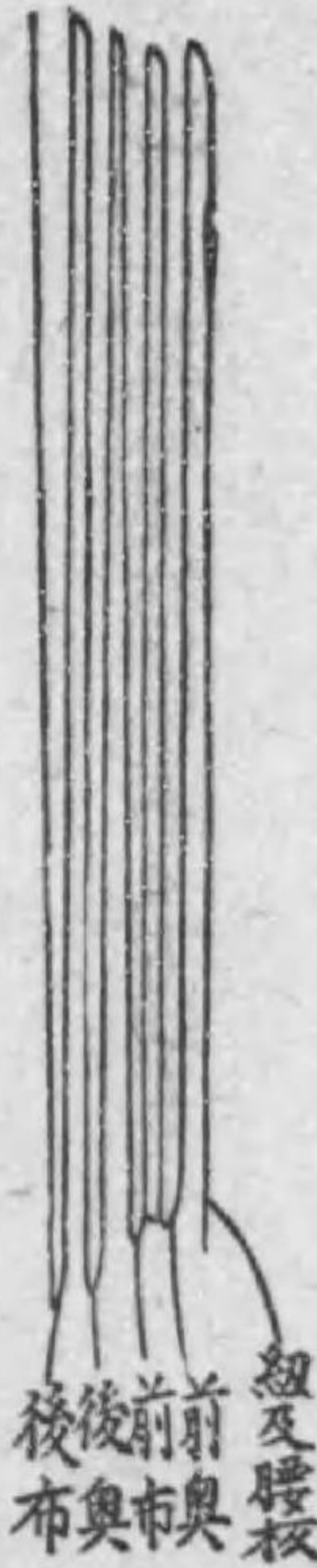
小襠丈 一尺六寸 内襠の高さ一尺四寸





紐丈 一尺八寸

裁ち方圖



積り方公式

後丈を知り總丈を求むるとき

$$\text{後丈} \times 8 - \text{裁違} + \text{紐丈} + \text{腰布} = \text{總丈}$$

$$3.8 \times 8 - 1.8 + 18 = \text{總丈}$$

總丈を知りて後丈を求むるとき

$$[\text{總丈} - (\text{紐丈} + \text{腰布}) + \text{裁違}] \div 8 = \text{後丈}$$

$$[18 - (1.8 + 0.6) + 0.6] \div 8 = \text{後丈}$$

獨鉗入男袴の裁ち方

用布 並幅長さ二丈四尺九寸四分にての裁ち方



十布遣男袴の裁ち方

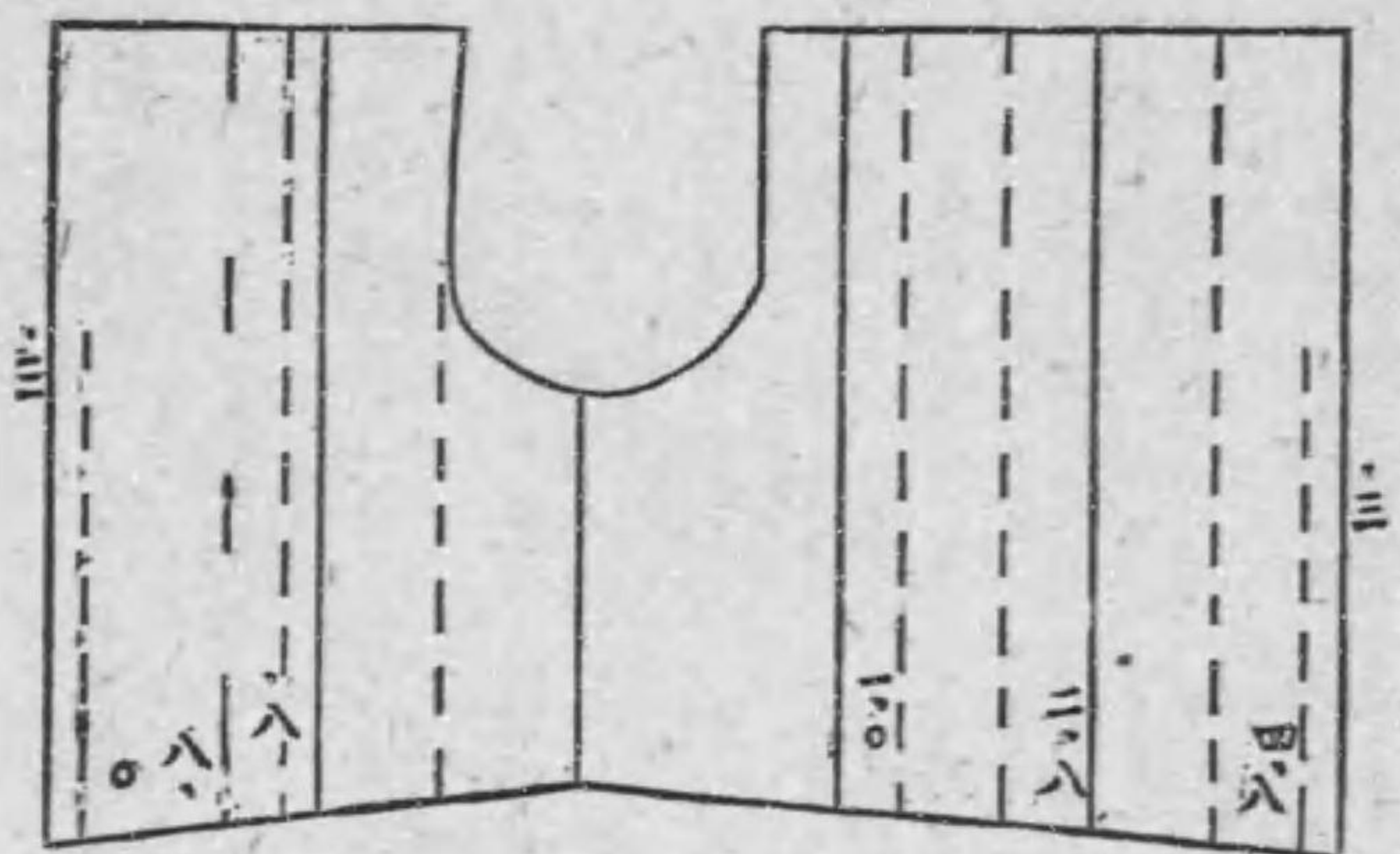
用布 並幅二丈八尺にて十布遣男袴の裁ち方



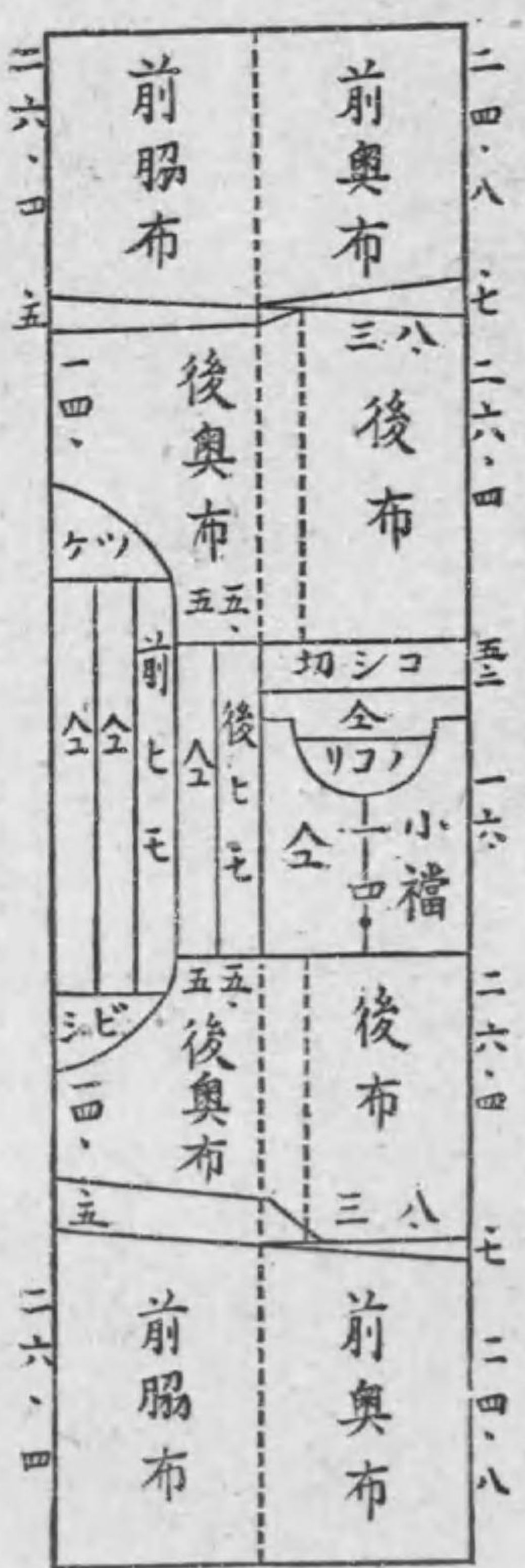
積り方公式

〔總丈一後紐丈+腰布(裁遣)+10=後丈  
280. 20. 9 7 25.8

方り取並び及方合せ縫



二尺幅縞セルにて裁ち方  
用布 幅二尺長さ一丈二尺五寸



注意 兩面物なるときは前布及び前奥を裁遣するもよしとす。

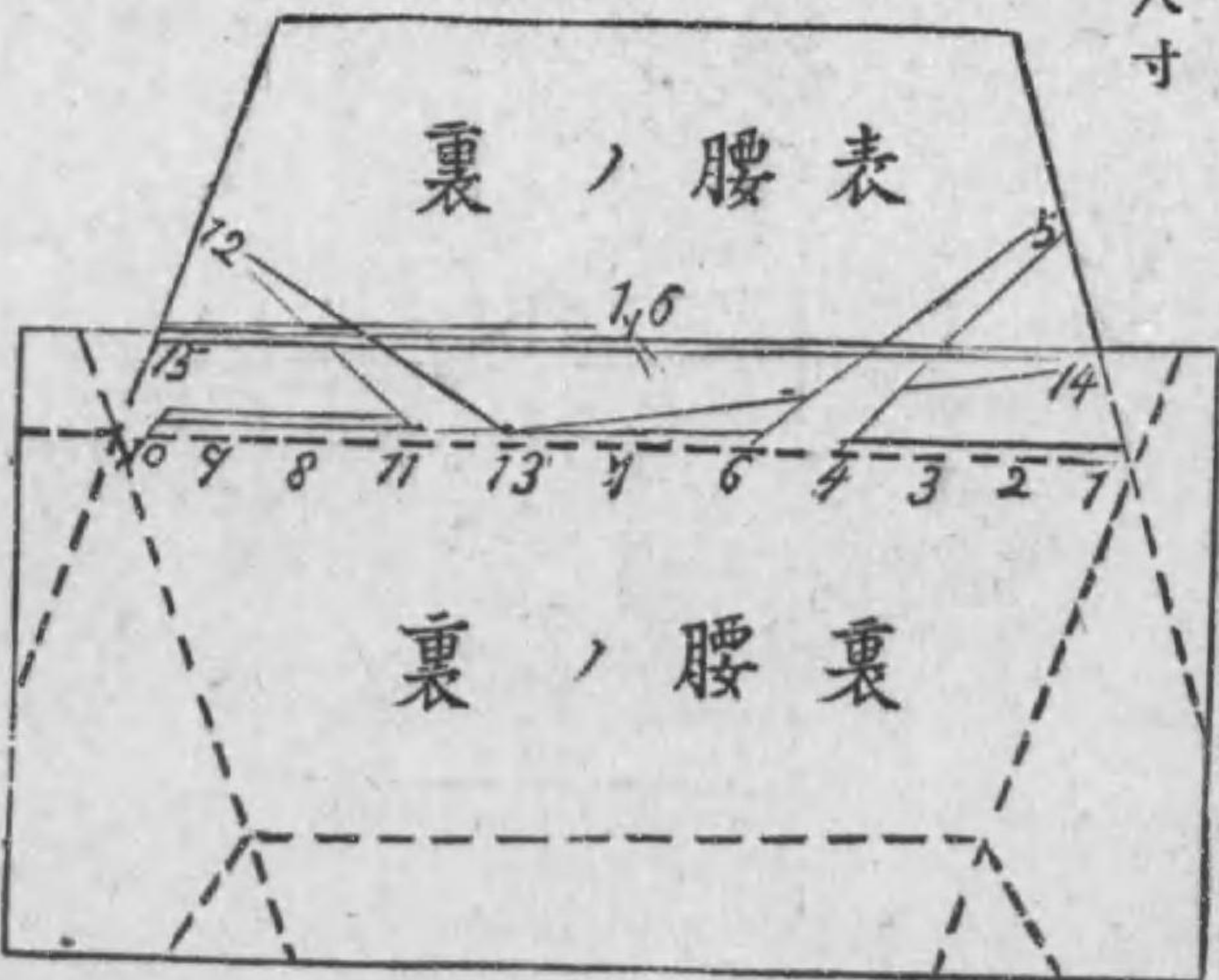
第三 男袴裁ち方寸法割り出し方

男袴裁ち方の寸法は、前に示したる如くなれども、尙ほ便利のため大凡の割出し方を述べし。

丈即ち紐下 著物の著丈に、コンマの六を乗じ之れに上下の縫代凡一寸五分以上

を加へ裁つべし。  
 襠の高さ 大人物は紐下の三分の二より、一寸を減じ子供物は二寸若くば二寸五分を減す。  
 乗馬大人物は八寸乃至一尺とし、中裁物は八寸  
 内外小裁物は六寸内外とす。

### 第四 腰立糸掛の順序



### 第五 大人男袴仕立方

#### 一、普通仕立上げ寸法

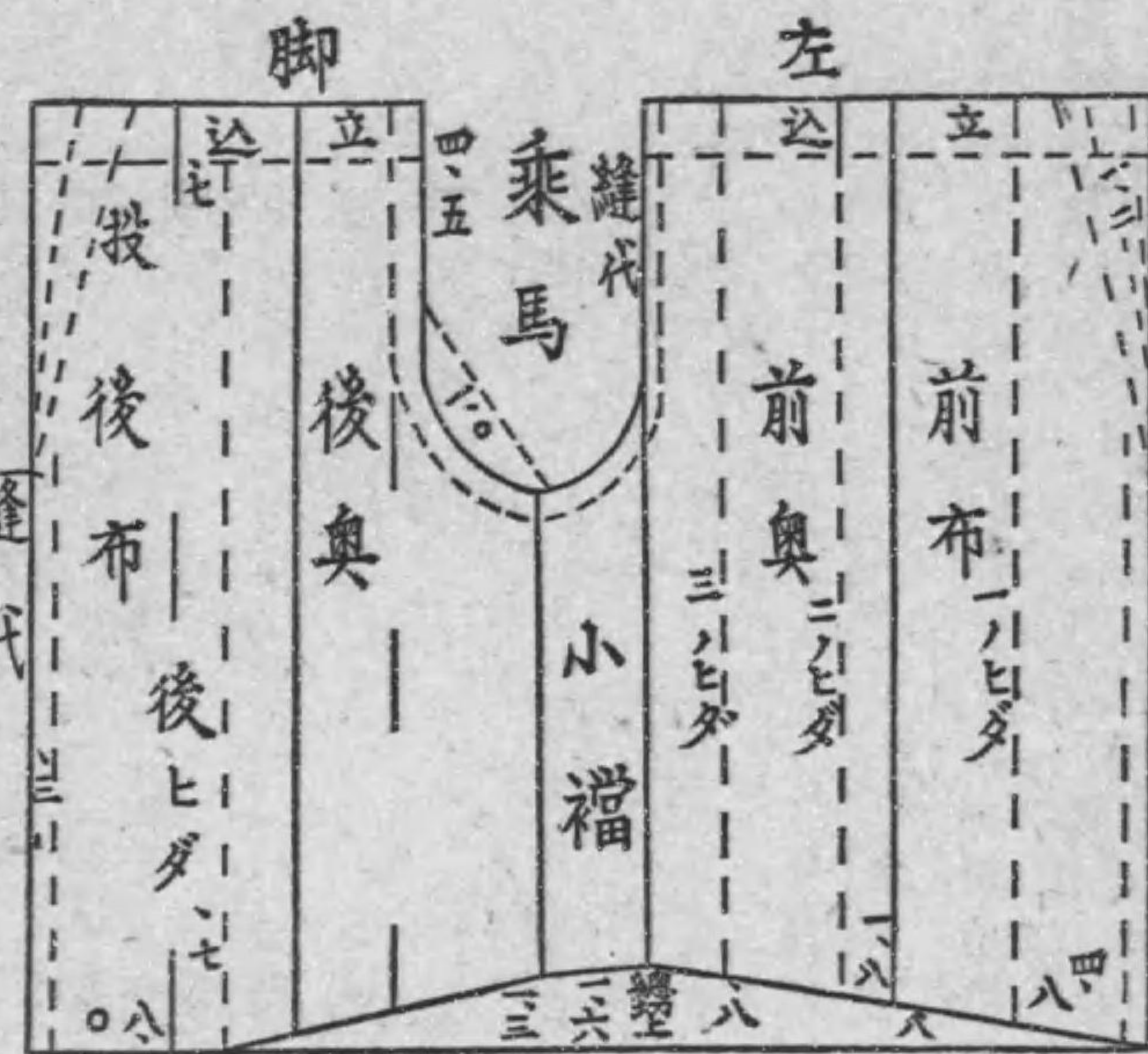
紐下	二尺二寸	相引	一尺五寸
後幅	八寸	後腰幅	六寸五分
後の重	七分	前脇袖	四寸八分
前腰幅	八寸	笹襷幅	一寸二分
寄せ襷幅	上八分 下一寸五分	懐の重	懐襷の半分
腰板幅	上四寸三分 下四寸五分	同高	二寸三分
附菱幅	二寸二分	同高	一寸四分

#### 二、縫ひ方順序

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 一、投      | 二、後布の縫合せ  | 三、前布の縫ひ合せ |
| 四、小襠     | 五、相引      | 六、裾紵及び門留  |
| 七、乗馬     | 八、後前襷の折り附 | 九、後襷取り    |
| 一〇、前襷取り  | 一一、笹襷及び壓  | 一二、腰扱拵へ   |
| 一三、後前の紐紵 | 一四、前紐附    | 一五、腰立     |
| 一六、仕上    |           |           |

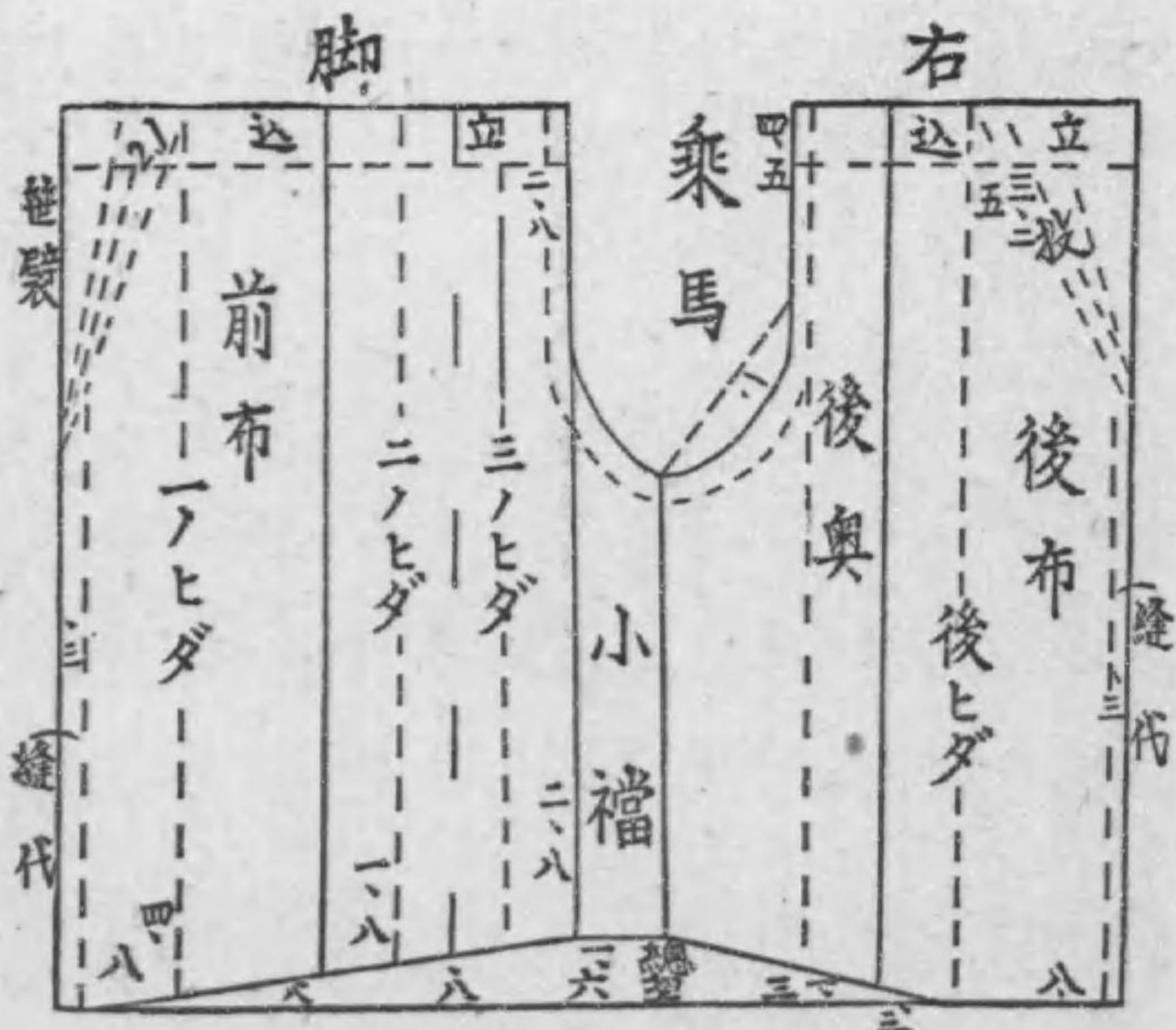
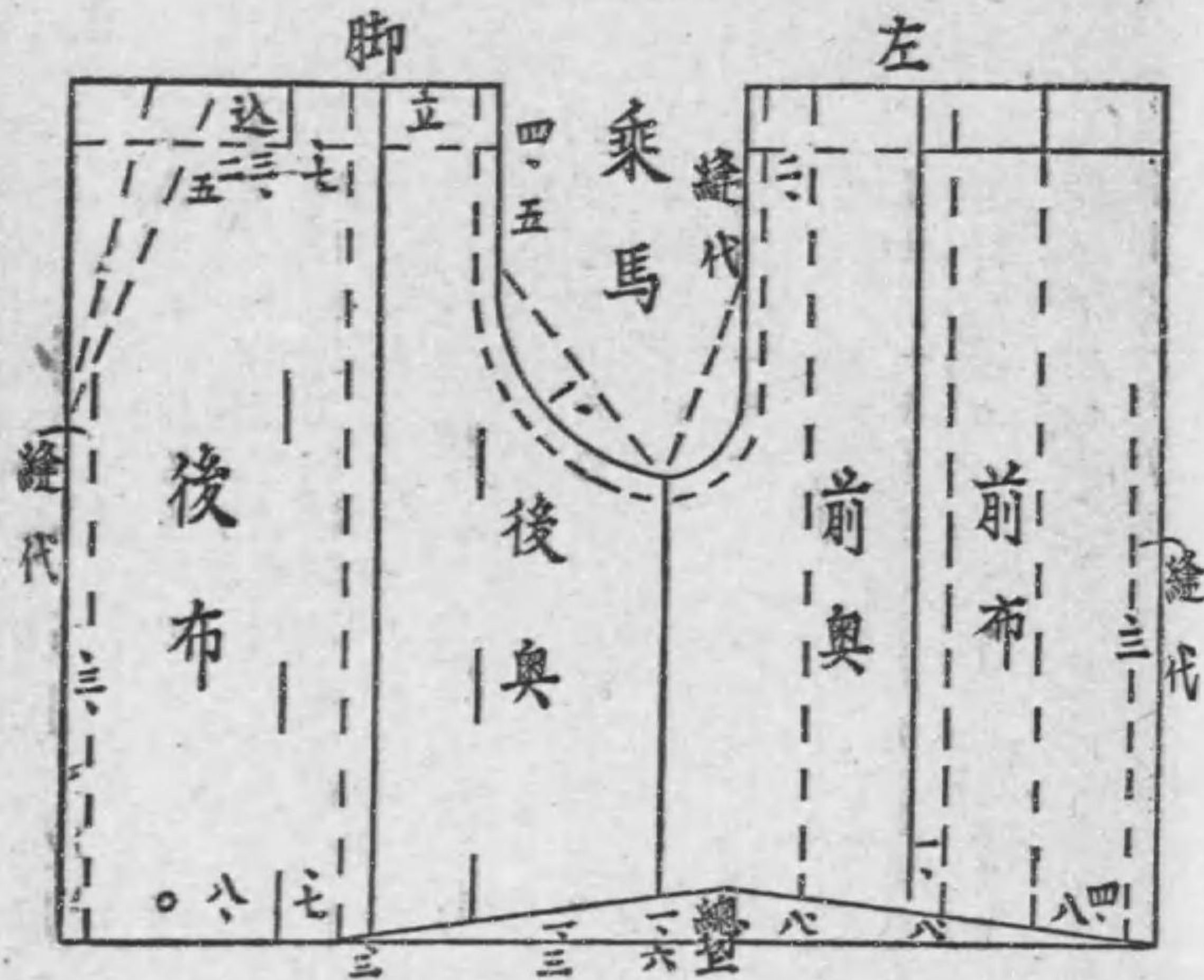
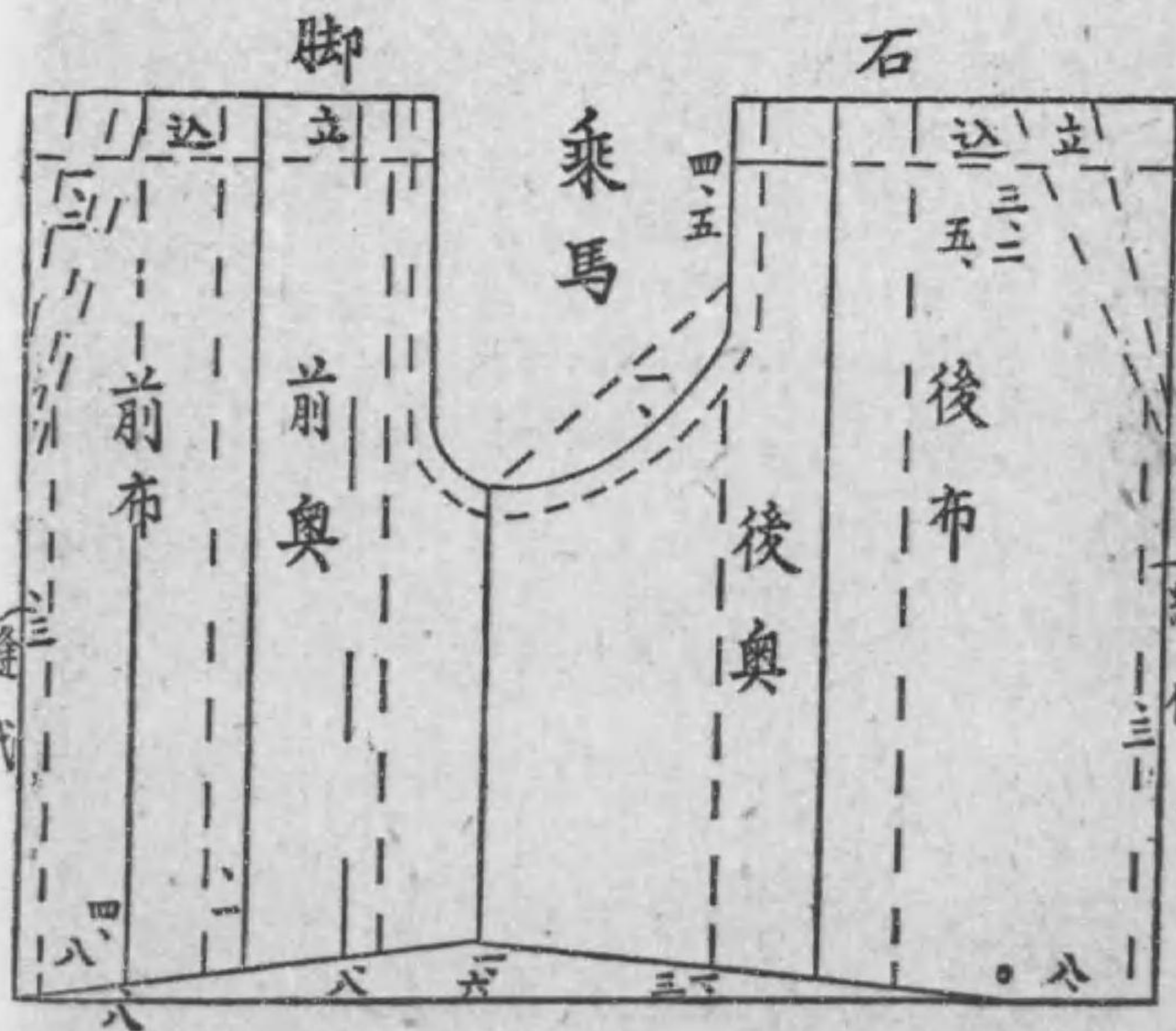
三十番馬乗袴取方

縫代



並馬乗袴取方

縫代



### 第二十九章 小裁・中裁男袴

小裁中裁男袴も女袴の如く、丈幅共に廣狹長短あり、從て襷取りの寸法等も異なるものなれば左に之れを述ぶべし。  
但し縫ひ方の順序方法は何れも大人物に同じ。

#### 第一 小裁男袴

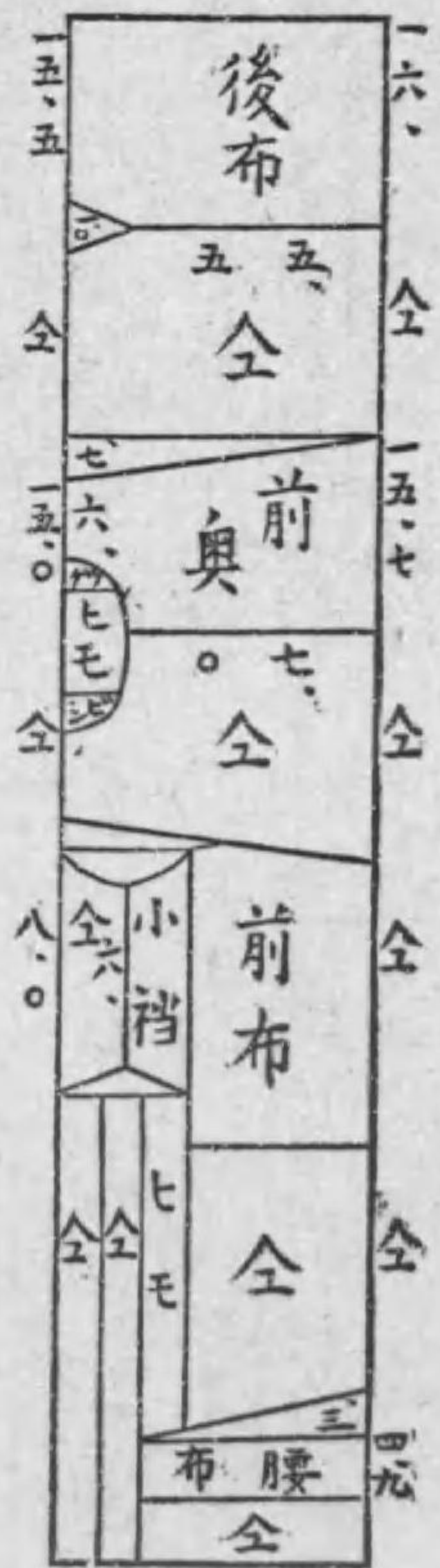
一、並幅長さ一丈の用布にて、五六歳男兒用袴の裁ち方及び襷取り方裁ち切り寸法

- 後丈 一尺六寸 内幅五寸三分の處より切上げ五分
- 前布 一尺六寸 内切り上げ三分
- 前奥 一尺五寸七分内切り上げ七分 上の幅七寸 襷の高さ六寸
- 小襠 八寸 内切り上げ五分 襷の高さ六寸
- 腰布 四寸九分
- 後紐丈一尺四寸

後紐幅布幅の六分の一  
前紐丈六尺  
前紐幅後紐幅と同寸

裁ち方の圖

積り方公式



後丈×6-裁違+腰布=總丈  
(總丈-腰布+裁違)÷6=後丈

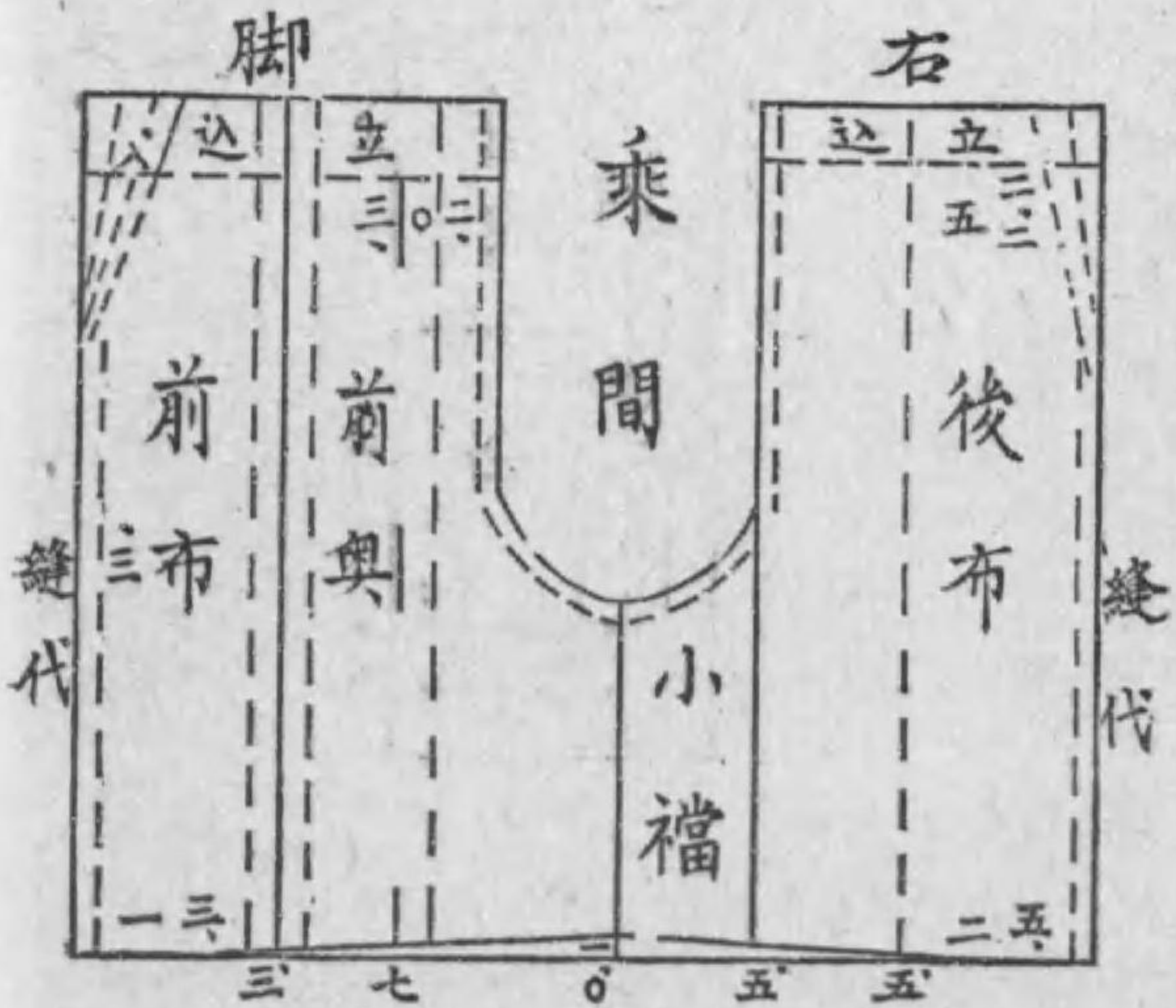
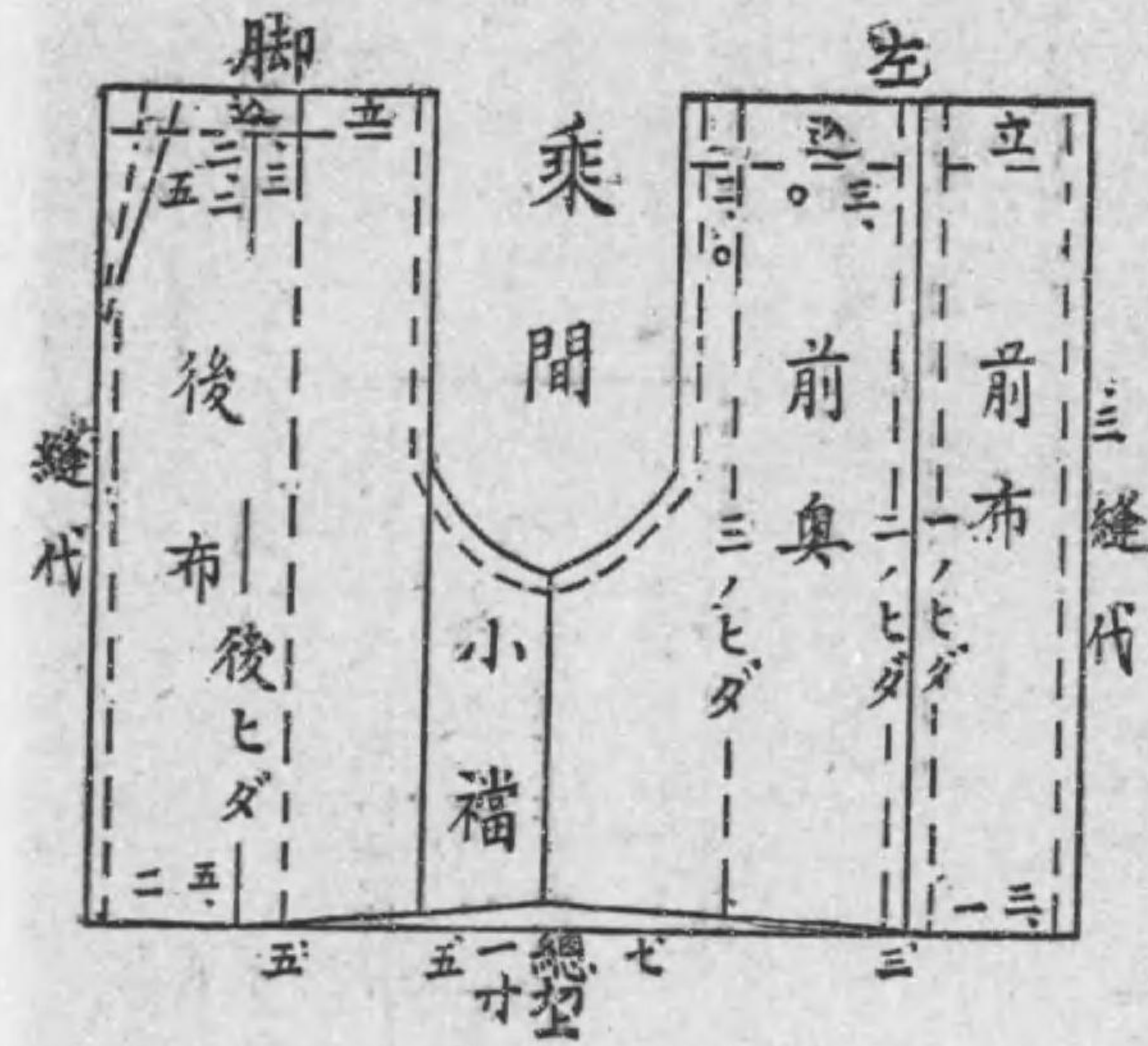
仕立上げ寸法

- 紐 下 一尺二三寸 相引 八寸五分乃至九寸
- 後幅 五寸二分 後腰幅 四寸五分
- 後の重 五分 前脇幅 三寸一分
- 前腰幅 五寸五分 襷幅 八分

寄腰幅 上五分 下四分  
 腰板幅 上四分 下五分  
 附菱幅 一寸五分

懐重 懐腰の半分  
 腰板高 一寸七分  
 同高 九分

縫ひ合せ及び取のり圖



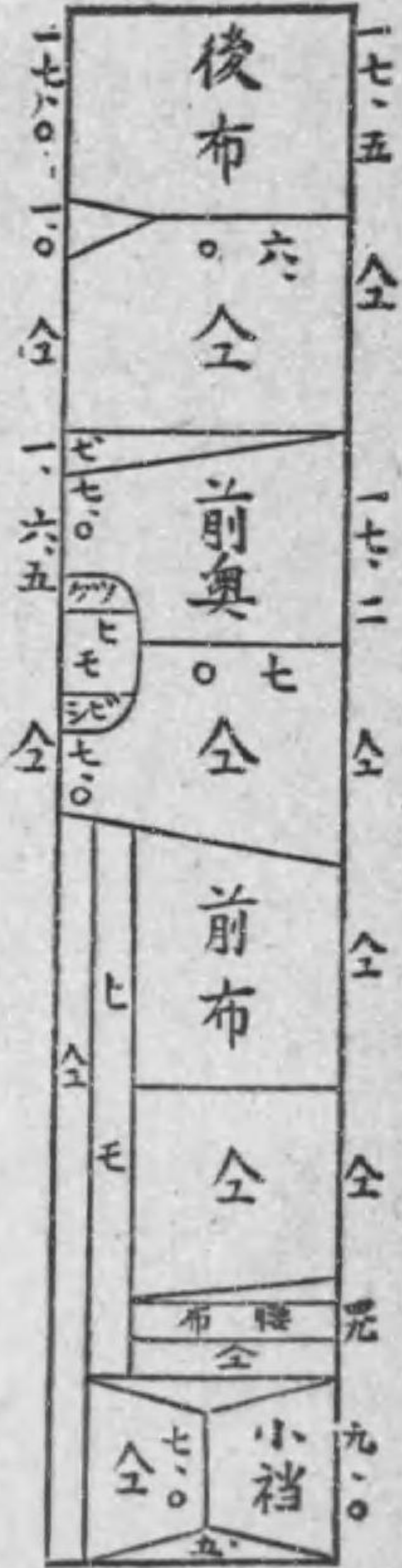
仕立方

仕立方は前章大人物に同じきを以て之れを略す、以下中裁物も同様なり。  
 二、並幅長さ一丈一尺八寸の用布にて七八歳男兒用袴の裁ち方  
 裁ち切り寸法

- 後丈 一尺七寸五分内幅六寸の處より切り上げ五分
- 前布 一尺七寸五分内切り上げ三分の一
- 前奥布 一尺七寸二分内切り上げ七分上の幅七寸、襠の高七寸
- 小襠 九寸 切り上げ六分、襠の高七寸
- 腰布 四寸九分
- 後紐丈 一尺五寸
- 後紐幅 布幅の六分の一
- 前紐丈 七尺
- 前紐幅 布幅の六分の一

裁ち方の圖

積り方公式



後丈  $\times 6 +$  腰布 + 小襠 - 裁違 = 總丈

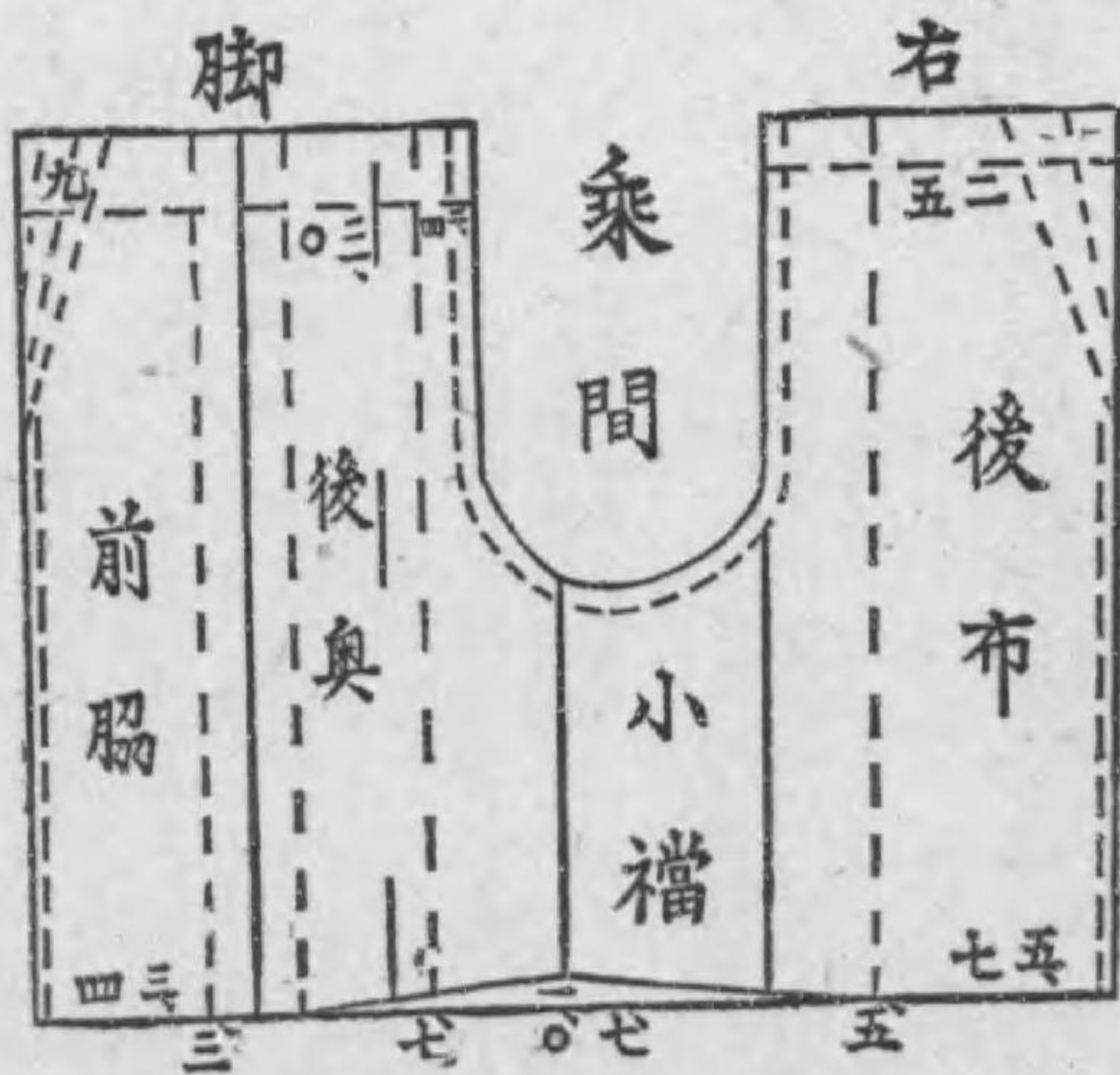
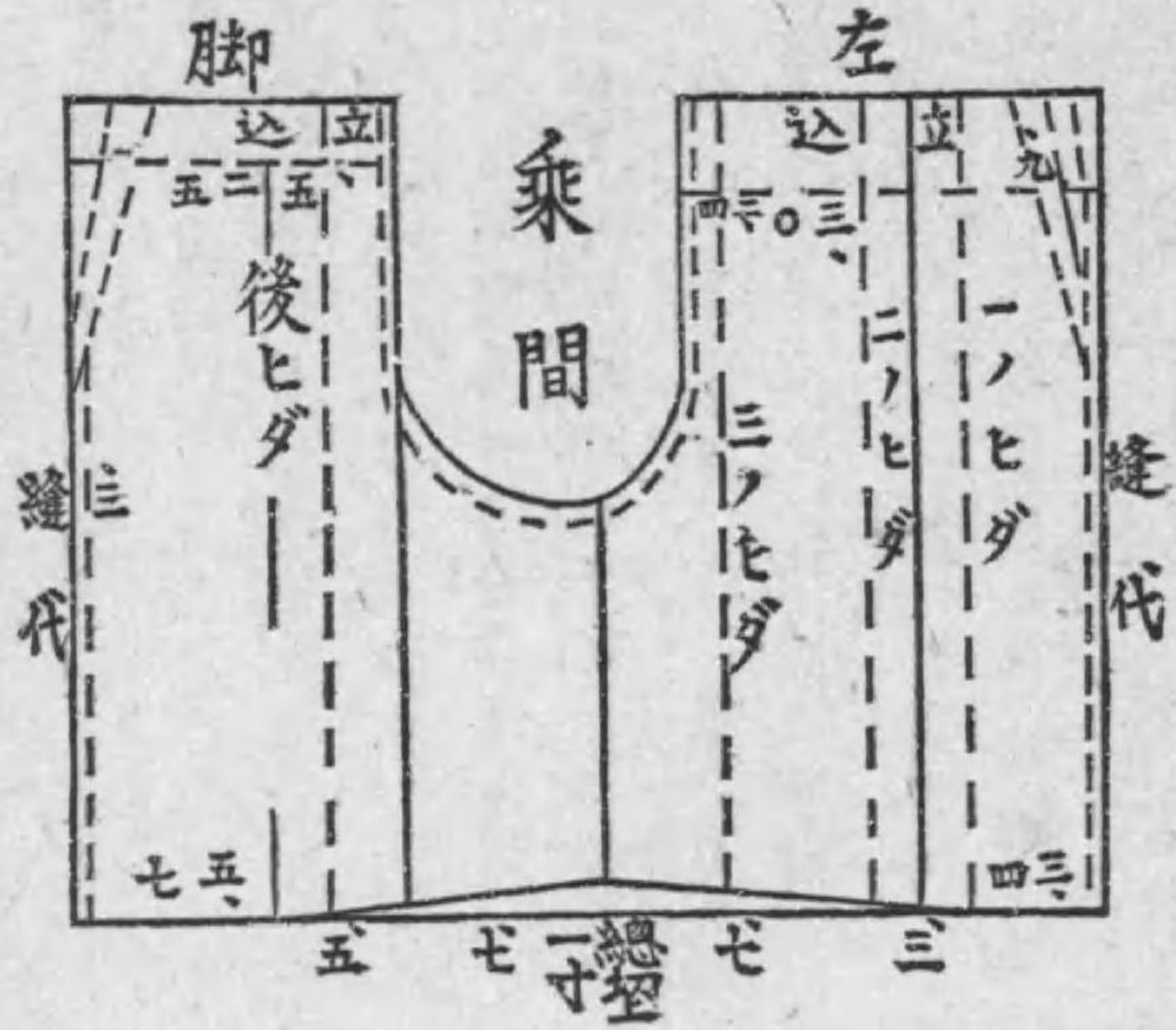
總丈 - (小襠 + 腰布) + 裁違 = 後丈

仕立上げ寸法

紐下	一尺五寸	相引	一尺
後の幅	五寸七分	後腰幅	五寸
後の重	五分	前脇幅	三寸四分
前腰幅	六寸二分	笹襷幅	九分
寄せ襷幅	上六寸一分 下一寸四分	懐の重	懐襷幅の半分
腰板幅	上三寸四分 下五寸	同高	一寸八分

附菱幅 一寸七分 同高 一寸

縫ひ合せ及び襷取のり圖

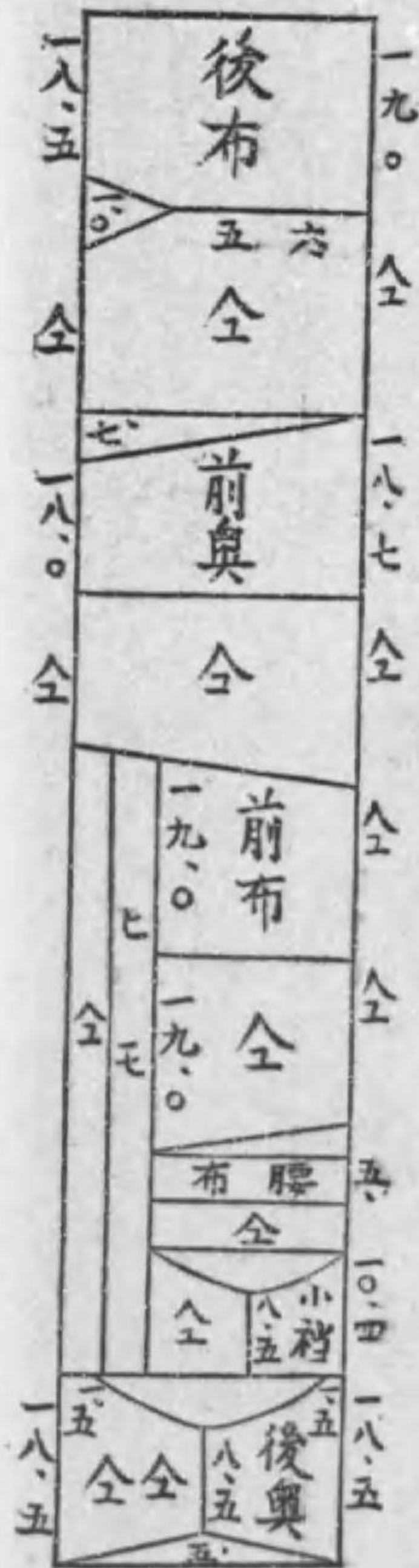


### 第二 中裁男袴

一、並幅長さ一丈四尺七寸の用布にて、十歳前後の男児用袴の裁ち方  
裁ち切り寸法

- 後丈 一尺九寸内幅六寸三分の處より切り上げ五分
- 前布 一尺九寸内切り上げ三分
- 後奥 一尺八寸五分内切り上げ五分上の幅一寸五分襠の高八寸五分
- 前奥 一尺八寸七分切り上げ七分
- 小襠 一尺四分
- 腰布 五寸
- 後紐丈一尺六寸
- 前紐丈七尺五寸
- 後紐幅 布幅の六分の一
- 前紐幅 布幅の六分の一

裁ち方の圖



積り方公式

$$\text{後丈} \times 7 + \text{腰布} + \text{小襠} - \text{裁違} = \text{總丈}$$

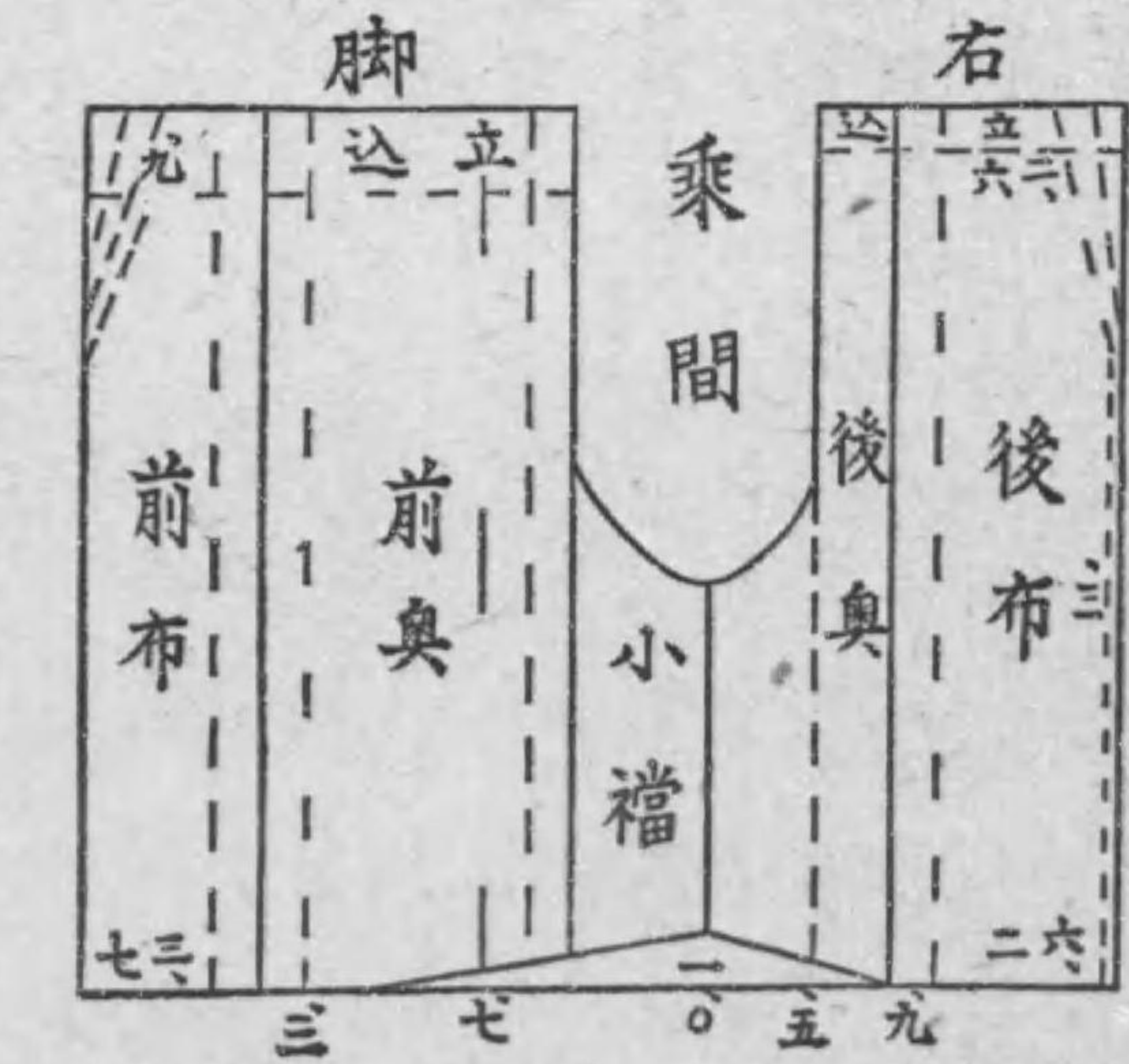
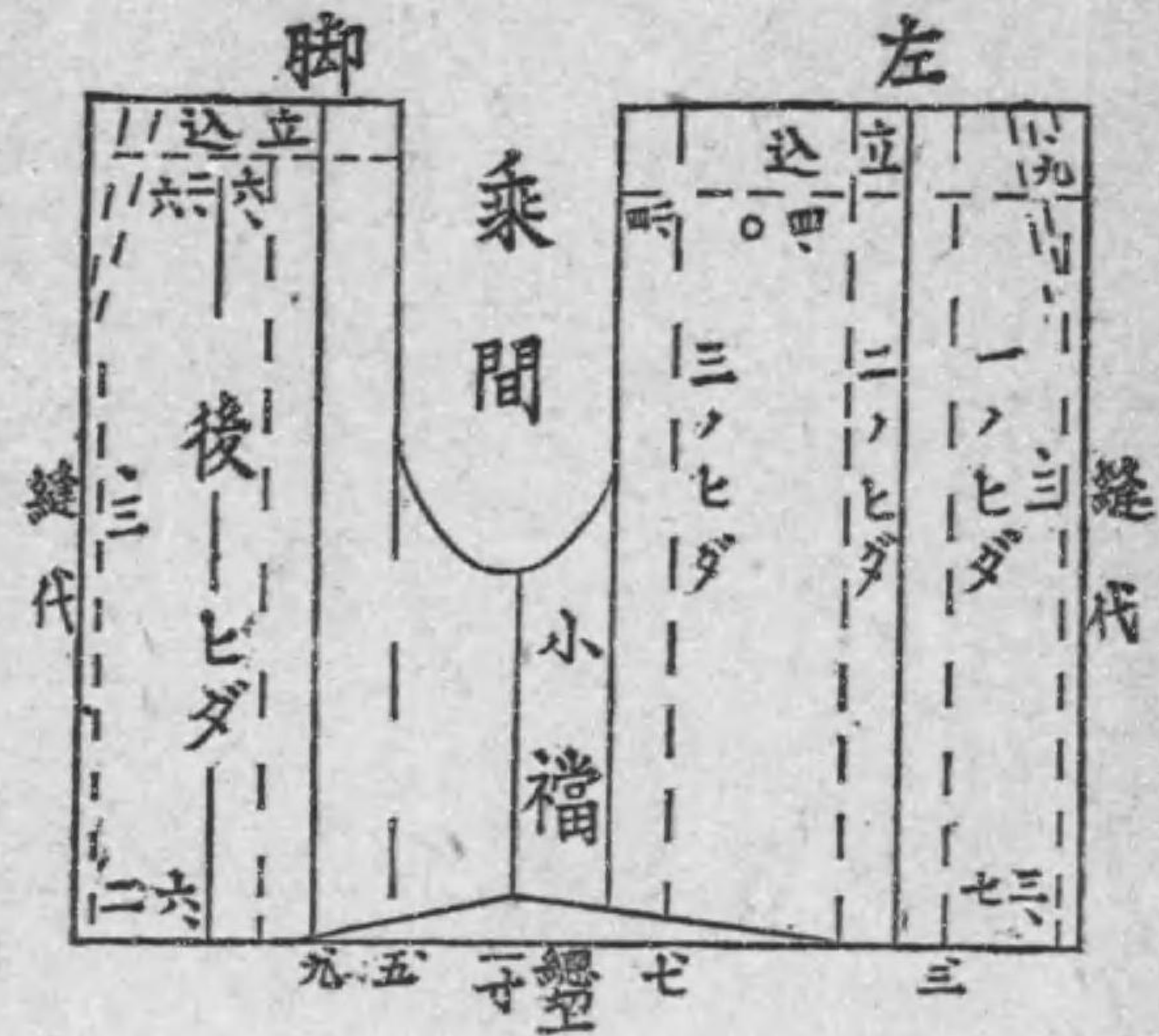
$$\text{〔總丈} - (\text{腰布} + \text{小襠}) + \text{裁違} \times 7 = \text{後丈}$$

仕立上げ寸法

紐 下	一尺六寸五分	相 引	一尺一寸
後 幅	六寸二分	後 腰 幅	五寸二分
後 の 重	六分	前 脇 幅	三寸七分
前 腰 幅	六寸五分	笹 襷 幅	九分
寄 せ 襷 幅	上六分 下一寸二分	懷 の 重	懷 襷 幅 の 半 分
腰 板 幅	上三寸五分 下五寸二分	同 高	一寸九分
附 菱 幅	一寸七分	同 高	一寸一分



縫ひ合せ及び取のり圖

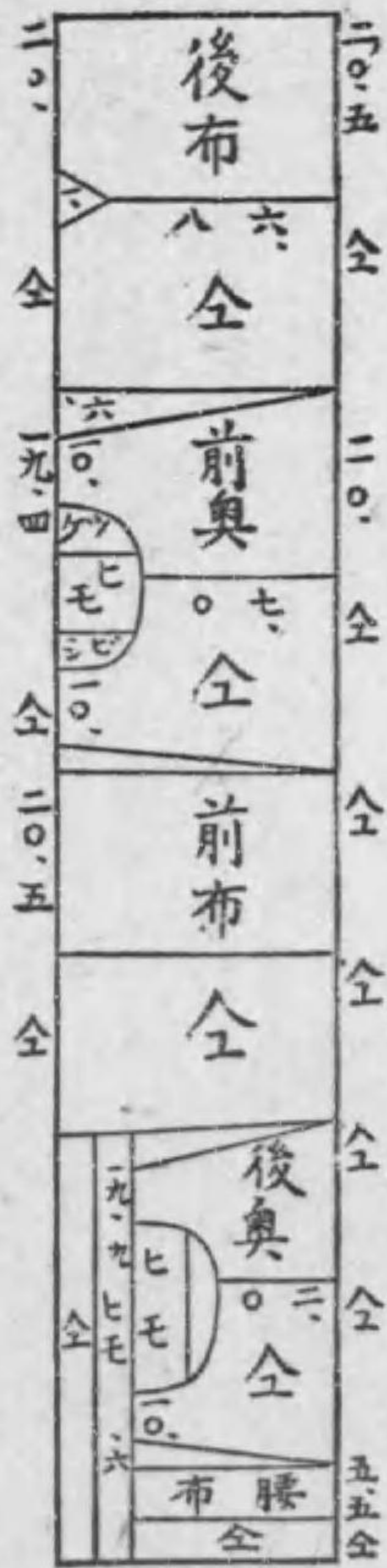


二、並幅長さ一丈六尺六寸五分の用布にて十二三歳男兒用袴の裁ち方  
 裁ち切り寸法

後丈 二尺五分内幅六寸八分の處より切り上げ五分

- 前布 二尺五分内切り上げ五分
- 後奥 二尺内切り上げ六分上の幅二寸襠の高一尺
- 前奥 二尺内切り上げ六分上の幅七寸襠の高一尺
- 腰布 五寸五分
- 後紐丈 一尺七寸
- 後紐幅 布幅の六分の一
- 前紐丈 七尺五寸
- 前紐幅 布幅の六分の一

裁ち方の圖



積り方公式

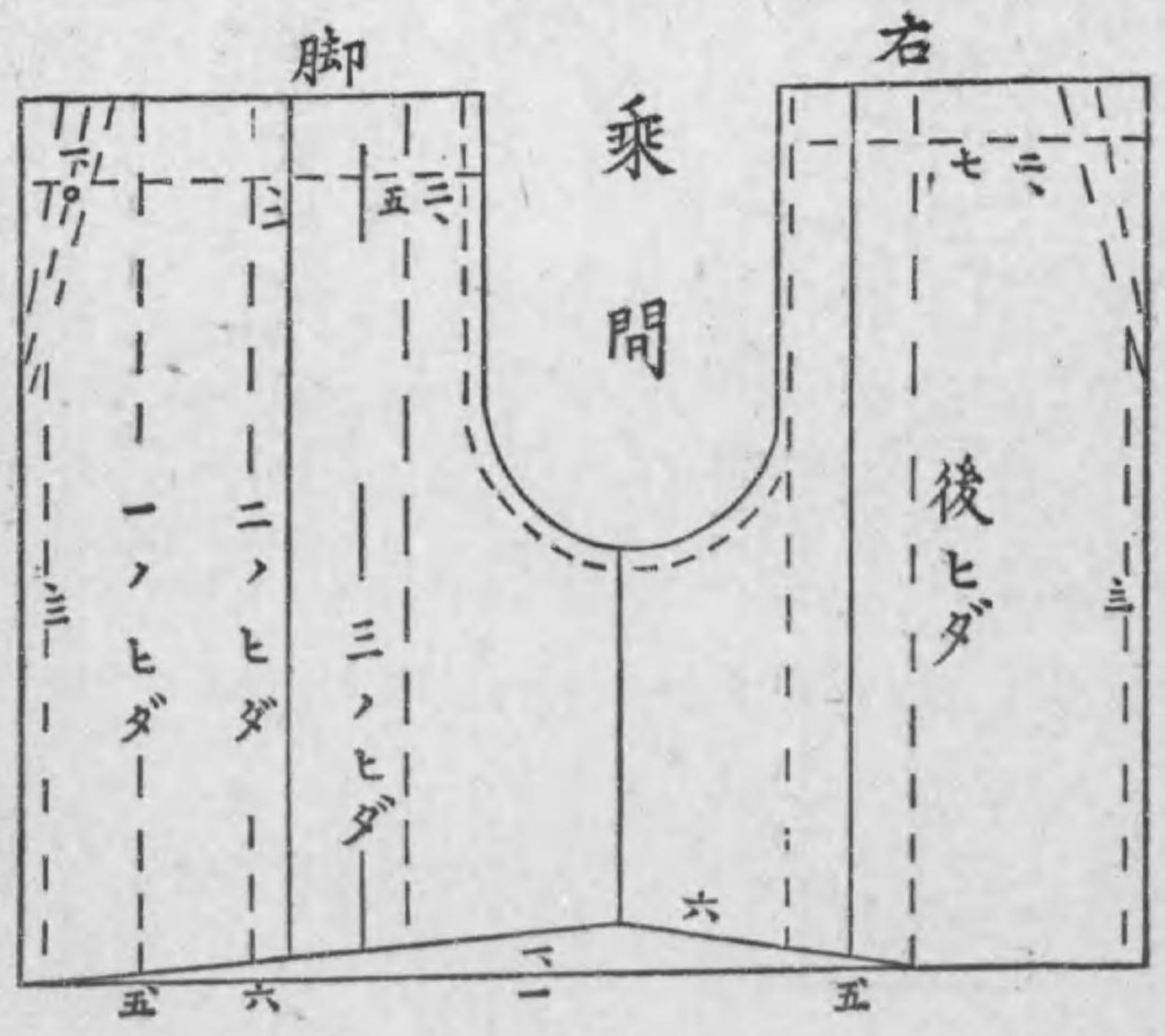
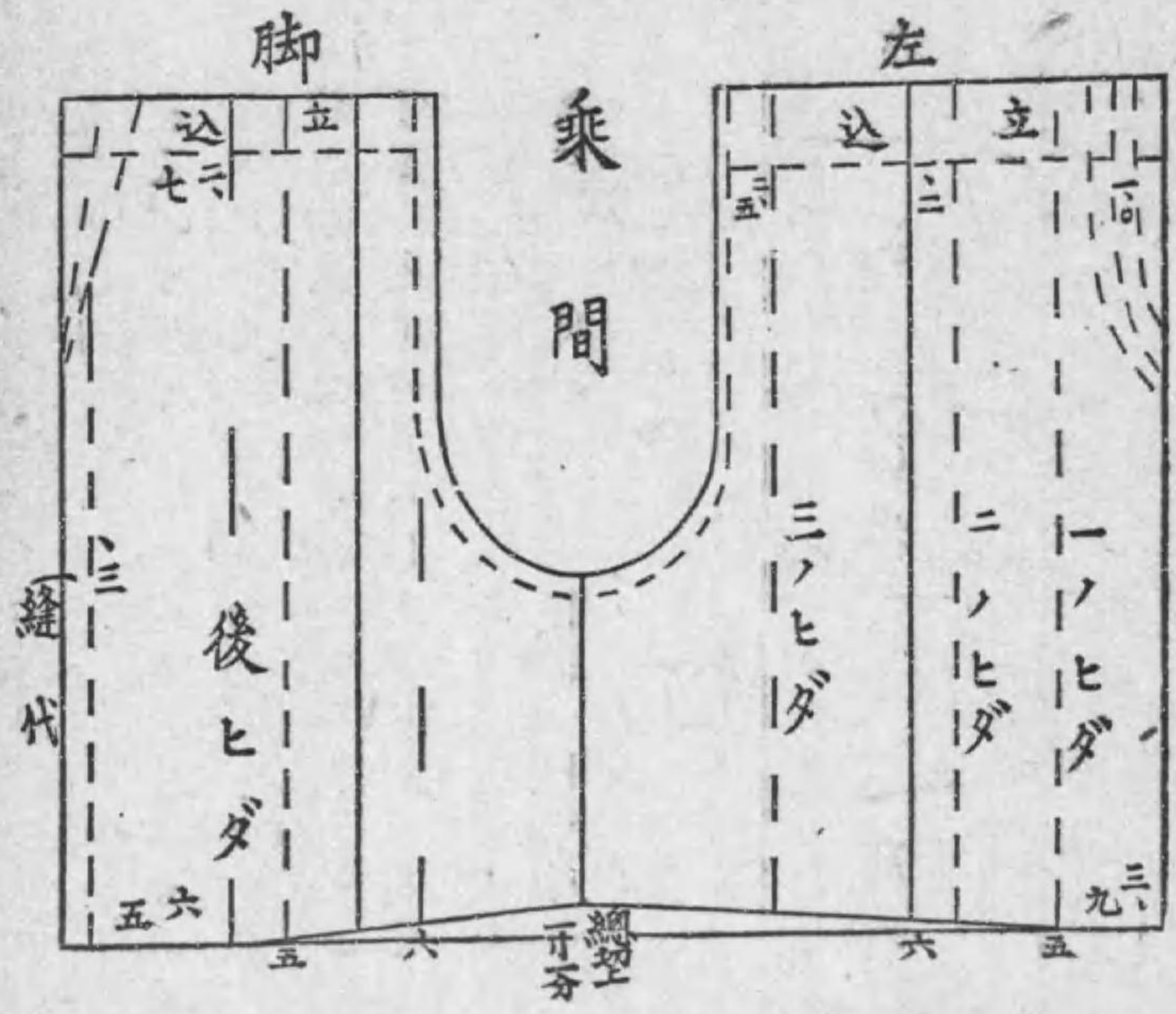
後丈  $\times 8 + \text{腰布}$  裁造 = 總丈  
 $5.5 \times 3$

(總丈一腰布+裁違)÷8=後丈  
5.5 3.

仕立上げ寸法

紐 下	一尺八寸	相 引	一尺二寸
後 幅	六寸五分	後腰幅	五寸四分
後の重	六分	前脇幅	三寸九分
前腰幅	六寸八分	笹襷幅	一寸
寄せ襷幅	上六分 下一寸三分	懐の重	懐の襷の半分
腰板幅	上三寸六分 下五寸四分	腰板高	二寸
附菱幅	一寸八分	附菱高	一寸一分

縫ひ合せ及び取のり圖



三、並幅長さ一丈九尺二寸の用布にて十四五歳男児用袴の裁ち方  
裁ち切り寸法

- 後丈 二尺二寸五分内幅七寸六分の處より切り上げ四分
- 前布 二尺二寸五分内切り上げ七分
- 後奥 二尺二寸一分内切り上げ一寸の襦の高一尺一寸
- 前奥 二尺一寸八分内切り上げ七分上の幅七寸五分
- 附菱 三寸
- 腰布 五寸七分
- 後紐 一尺七寸
- 前紐 七尺八寸

裁ち方の圖



積り方公式

後丈 $\times 7$  - 裁違 $\div 3.2$  + 附菱丈 + 襦の高 + 後紐丈並 = 腰布 = 總丈  
 (總丈 - (附菱丈 + 襦の高 + 紐丈並 = 腰布) + 裁違)  $\div 7$  = 後丈 $\div 23.7$

仕立上げ寸法

紐 下	一尺九寸五分	相 引	一尺三寸
後 幅	七寸三分	後 腰 幅	六寸
後 の 重	六分	前 脇 幅	四寸三分
前 腰 幅	七寸三分	襦 腰 幅	一寸一分
寄せ 襦 幅	上七寸三分 下一寸三分	懷 の 重	懷 襦 幅 の 半 分
腰 板 幅	上四寸 下六寸	腰 板 高	二寸一分
附 菱 幅	二寸		
附 菱 高	一寸二分		

部分の名稱	年齢	紐下	相引	後幅	後腰幅	後の重	前脇幅	前腰幅	笹襷幅	寄せ襷幅	懐の重	後紐丈
紐下	五六歳	一尺二寸三分	八寸五分	五寸二分	四寸五分	五寸五分	三寸一分	三寸五分	八寸	上五分	下五分	一尺三寸四分
相引	七八歳	一尺五寸	一尺	五寸七分	四寸五分	五寸五分	三寸四分	三寸二分	八寸	上六分	下六分	一尺五寸
後幅	十歳前後	一尺六寸五分	一尺一寸	五寸二分	四寸五分	五寸五分	三寸七分	三寸五分	八寸	上六分	下六分	一尺六寸
後腰幅	十二三歳	一尺八寸	一尺二寸	五寸五分	四寸五分	五寸五分	三寸九分	三寸七分	八寸	上六分	下六分	一尺七寸
後の重	十四五歳	九寸五分	一尺三寸	五寸七分	四寸五分	五寸五分	三寸四分	三寸五分	七寸	上七分	下七分	一尺七寸
前脇幅	十七八歳	二尺五分	一尺四寸	五寸五分	四寸五分	五寸五分	三寸五分	三寸五分	七寸五分	上八分	下八分	一尺八寸
前腰幅	大人	二尺二寸	一尺五寸	五寸五分	四寸五分	五寸五分	三寸五分	三寸五分	八寸	上八分	下八分	一尺八寸
笹襷幅												乃至二尺
寄せ襷幅												乃至二尺
懐の重												乃至二尺
後紐丈												乃至二尺

第三 各種男袴普通仕上げ寸法表

縫ひ合せ及び襷取のり圖

